はじめに

このたびは、「SoftBank 706P」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 706P をご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

SoftBank 706P は、3G 方式と GSM 方式に対応しております。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

□706P 本体

□ 電池パック（PMBAA1）

□ 急速充電器（PMCAA1）

□ microSD™ メモリカード（64MB）／
カードアダプター [試供品]

□ 取扱説明書（1 部）
□ ファーストステップガイド（1 部）
□ ユーティリティーソフトウェア
（CD-ROM）※

※ ユーティリティーソフトウェアは、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。なお、ユーティリティーソフトウェアの最新版は、ソフトバンクホームページ「http://www.softbank.jp」よりダウンロードいただけます。

- その他付属品・オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。
- 電池パック、急速充電器は、オプション品としても取り扱っています。
- 本書では、「microSD™ メモリカード」を、以降「メモリカード」と記載いたします。

目次

1. ご利用になる前に

2. 基本的な操作のご案内

3. 文字の入力方法

4. アドレス帳

5. TV コール

6. カメラ

7. ディスプレイ／音の設定

8. その他の設定

9. エンタテイメント

10. データ管理

11. 外部接続

12. セキュリティ

13. 便利な機能

14. オプションサービス

15. メール

16. ウェブ

17. S! アプリ

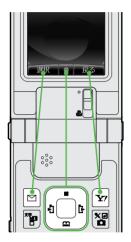
18. Abridged English Manual

19. 付録

本書の見かた

本書では、「SoftBank 706P」を「706P」と表記しています。

ナビゲーションボタン／ソフトボタンについて

画面下部に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタンを押します。

ナビゲーションボタンの表記について

本書では、ナビゲーションボタンを押す操作を次のように表記しています。

1 箇所以上を押す可能性のある場合は、次のように表記しています。

- または を押す…
- または を押す…
- 、 、 または を押す…

ソフトボタンの表記について

本書では、ソフトボタンを押す操作を次のように表記しています。

左ソフトボタン：**[選択]**

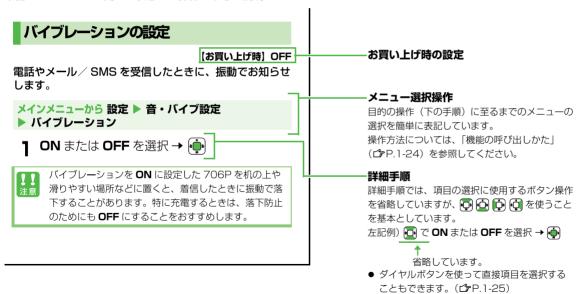
右ソフトボタン：**[戻る]**

- **[選択]**、**[戻る]** の表示は左記画面の例です。表示は画面表示によって変わります。

画面表示について

本書の説明用画面は、実際の画面と字体や形状および表示などが異なる場合があります。また、周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさが異なる場合があります。

操作手順の表記について

本書では、706P を開いた状態での操作を中心に説明しています。

安全上のご注意

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	ぬれた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

706P、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

危険

指示

706P に使用する電池パックおよび充電器は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
電池パック PMBAA1、卓上ホルダー PMEAA1、急速充電器 PMCAA1、シガーライター充電器 PMJAA1

水ぬれ禁止

ぬらさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱や感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、706P や充電器を入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、706P、充電器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させたりする原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

引火ガスが発生する場所では、必ず事前に電源をお切りください。ガスに引火する恐れがあり、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所ではソフトバンク携帯電話の電源も切り、充電もしないでください。

注意

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかを注意してください。
けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認してください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックを706Pに接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子を針金などの金属類で接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破壊、発火させる原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、706P から取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからソフトバンクショップにお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

706P の取り扱いについて

警告

禁止

USIM カード、microSD™ メモリカード、microSD™ メモリカードアダプターを乳幼児の手の届く所に置かないでください。

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。

交通事故の原因となります。運転をしながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、706P の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※注意していただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響について確認してください。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯しないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、ヘッドホンの音量を上げないでください。また、周囲の交通、路面状態には気をつけてください。

事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、706P の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での携帯電話の使用は法律で禁止されています。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

706P を医用電気機器などの近くで使用すると、電波の影響で医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

注意

指示

706P を長時間使用すると、706P が熱くなることがあります。また、706P を長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。気温や室温が高い場所では、特にご注意ください。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

ストラップなどを持って 706P をふり回さないでください。

本人や他の人などに当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、706P でメロディを再生しているときなどはスピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量に気をつけてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

禁止

人の近くや顔を近づけて、ワンプッシュオープンで 706P を開かないでください。

本人や他の人に当たり、けがの原因となります。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

706Pで使用している各部品の材質は次のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="2">使用箇所</th><th>材質</th><th>表面処理</th></tr>
<tr><td rowspan="2">外装ケース</td><td>ディスプレイ面、操作ボタン面、サブディスプレイ面、電池面</td><td>PC樹脂</td><td>アクリル系UV硬化塗装処理</td></tr>
<tr><td>電池カバー</td><td>ABS樹脂</td><td>アクリル系UV硬化塗装処理</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネジカバー（電池カバー面）</td><td>ABS樹脂</td><td>アクリル系UV硬化塗装処理</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネジカバー（ディスプレイ下）</td><td>PET樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">赤外線ポート</td><td>アクリル樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">LEDレンズ</td><td>アクリル樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスプレイ窓</td><td>ベース：PC樹脂、表面：アクリル樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">外側カメラ透明窓、サブディスプレイ面透明パネル</td><td>アクリル樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボタン</td><td>アクリルウレタン樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">マクロスイッチ</td><td>POM樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">イヤホンマイク端子キャップ</td><td>PC樹脂/エラストマー樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部接続端子キャップ</td><td>エラストマー樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">電池カバー面ヒンジカバー</td><td>ABS樹脂</td><td>アクリル系UV硬化塗装処理</td></tr>
<tr><td colspan="2">microSDカードスロットキャップ</td><td>PC樹脂</td><td>アクリル系UV硬化塗装処理</td></tr>
<tr><td colspan="2">ワンプッシュオープンヒンジボタン</td><td>ABS樹脂</td><td>クロムメッキ（下地ニッケルメッキ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">サイドボタン</td><td>ABS樹脂</td><td>クロムメッキ（下地ニッケルメッキ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">充電端子</td><td>りん青銅</td><td>金メッキ（下地ニッケルメッキ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">キー面メッシュシート</td><td>PET樹脂</td><td>アクリル系UV硬化塗装処理</td></tr>
<tr><td colspan="2">キー面開閉ストッパーシート</td><td>アクリルウレタン樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネジ（電池収納部）</td><td>SWCH16A（アルミキルド鋼）</td><td>3価クロメート処理</td></tr>
<tr><td colspan="2">電池収納面</td><td>ステンレス</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電池端子</td><td>電池端子コネクター本体</td><td>PPS樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td>電池端子</td><td>ベリリウム銅</td><td>金メッキ（下地ニッケルメッキ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電池パック</td><td>電池パック本体</td><td>樹脂部：PC樹脂、ラベル：PET樹脂</td><td>—</td></tr>
<tr><td>端子部</td><td>ガラスエポキシ基板</td><td>金メッキ（下地ニッケルメッキ）</td></tr>
</table>

指示

屋外で使用中に雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

磁気カードやフロッピーディスクなどを706P に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

カメラのレンズに太陽光などの強い光を長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

禁止

万一ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどに触れないでください。
ディスプレイ部やカメラのレンズはガラスが飛び散りにくい構造となっていますが、誤って割れた切断面などに触れるとけがの原因となります。

指示

706P を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

ワンプッシュオープンで 706P を開く際、本体上側の回転部分とアンテナ部分の間にストラップや指を挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

充電器の取り扱いについて

警告

禁止

充電器のコードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

指示

充電中は、充電器および卓上ホルダー（オプション品）を安定した場所においてください。また、充電器および卓上ホルダーを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
706P が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となったりします。

禁止

充電器や卓上ホルダー（オプション品）は、風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。
感電の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で充電器のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
急速充電器：AC100V ～ 240V
シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

雷が鳴り出したら、706P、充電器には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

シガーライター充電器（オプション品）はマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災の原因となります。

指示

充電器をコンセントに差し込むときは、針金などの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

指示

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書で確認してください。

電源プラグを抜く

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。
感電や発煙、火災の原因となります。

指示

プラグについたほこりは、ふき取ってください。
火災の原因となります。

注意

禁止

充電器のコードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやソケットから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

指示

充電器をコンセントやソケットから抜く場合は、充電器コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因となります。

指示

ぬれた電池パックを充電しないでください。
発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

 警告

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成 13 年 3 月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から 22cm 以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には携帯電話を持ち込まないでください。
- 病棟内では、携帯電話の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、携帯電話の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより706Pやメモリカードに登録したデータ（アドレス帳・画像・音楽など）が消失・変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なアドレス帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 706Pは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 706Pを公共の場所でご利用いただくときは、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。
- 706Pは電波法に定められた無線局です。従って、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 傍受にご注意ください。

  706Pは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときは第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。

  傍受（ぼうじゅ）とは

  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。
- 706Pをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 706Pを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機内での携帯電話の使用は法律で禁止されています。

お取り扱いについて

- 706Pの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 706Pは温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。

  極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。

- 使用中や充電中は 706P や電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 706P を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- 706P は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 706P のディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけたりしないようご注意ください。
- 706P を閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- ステレオヘッドホンは音が外にもれることがあります。周囲の方の迷惑にならないように注意してください。
- 706P は防水仕様にはなっていません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩いたりしないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめると、洗面所に落としたり、水でぬらしたりする原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、バッグなどに入れて、海水がかかったり、直射日光が当たらないようにしてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。手や身体の汗が 706P の内部に浸透し、故障の原因になることがあります。
- 706P に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 706P をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - 荷物のつまった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 銘板をはがさないでください。修理をお受けできないことがあります。

- 電池パックを取り外すときは、必ず706Pの電源を切ってから取り外してください。急速充電器を接続して充電しているときは、必ず急速充電器を取り外したあと、706Pの電源を切ってから取り外してください。またデータの登録やメール／SMSの送信などの動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますのであらかじめご了承ください。
- 706Pのイヤホンマイク端子に指定品以外のものは取り付けないでください。誤動作を起こしたり、706Pが破損することがあります。

機能制限について

706Pを機種変更、解約したときは、下記の機能が利用できなくなります。また、706Pを長時間使用しなかった場合も利用できなくなる可能性があります。その際はネットワーク自動調整を行ってください。(☞P.1-22)

・カメラ

・メディアプレイヤー

・S! アプリ

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされるときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

アプリックス、microJBlend 及び JBlend、並びに、アプリックスまたは JBlend に関連する商標並びにロゴは、米国、日本国及びその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

「ComicSurfing®」は、株式会社セルシスの商標または登録商標です。

microSD ロゴは商標です。

着うた®、着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

下記の一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations ;

4,901,307	5,490,165	5,056,109	5,504,773	5,101,501
5,506,865	5,109,390	5,511,073	5,228,054	5,535,239
5,267,261	5,544,196	5,267,262	5,568,483	5,337,338
5,600,754	5,414,796	5,657,420	5,416,797	5,659,569
5,710,784	5,778,338			

Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

Powered by MascotCapsule®
MascotCapsule® is a registered trademark of HI CORPORATION ©2007 HI CORPORATION. All Rights Reserved.

SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

TV コール、S! アプリ、S! ループ、ちかチャット、ムービー写メールはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。

CP8 PATENT

本製品は、InterDigital technology 社からのライセンスに基づき生産・販売されています。

CE0168

- この製品は日本国内でのみ販売されています。
- この製品の欧州 RTTE、US FCC 認定は、SoftBank 706P（本体）を PMBAA1（電池パック）、EB-CAX800（海外向け急速充電器）、PMJAA1（シガーライター充電器）と組み合わせて使用した場合に限定されます。

706PのBluetooth® 機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth® 機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2 万一、Bluetooth® 機能の使用にあたり、706Pと「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth® 機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクお客さまセンター
ソフトバンク携帯電話から　157（無料）
※　一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先」（☞P.19-32）を参照してください。

2.4 FH 1

この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。

その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

706Pに搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないで下さい。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

706Pの電波比吸収率（SAR）について

この機種706Pの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機706PのSARは、0.850W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SAR ポリシー」について

＊ボディ（身体）SAR とは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6 分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。

当社では、ボディ SAR に関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.5 センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのホームページからも内容をご確認いただけます。

http://www.softbankmobile.co.jp/corporate/legal/emf/emf03.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行なった結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6W/kg となっています。

測定試験は機種ごとに FCC が定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は 0.324W/kg です。

身体装着の場合：この携帯電話機 706P では、一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCC の電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.5 センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCC の電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) のホームページ

http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話 706P は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR 許容値は 2W/kg で、身体に装着した場合の SAR の最高値は 0.477W/kg※です。

SAR 測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行なうように設計されているためです。

世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のホームページをご参照ください。

（http://www.who.int/emf）（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験は FCC が定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

ご利用になる前に

代表的な機能

便利な通話機能

TV コール

TV コール対応のソフトバンク携帯電話どうしで、お互いの画像を見ながら通話できます。

P.5-1

国際ローミング対応

3G 方式と GSM 方式に対応しています。日本国内／海外で 1 つの電話番号でご利用いただけます。

P.2-16

ウェブ／ダウンロード機能

ウェブ

ウェブに接続して、知りたい情報、画像やメロディなどを入手できます。

P.16-1

S! アプリ

ウェブからゲームなどのソフトをダウンロードし、利用できます。

P.17-1

カメラ機能

カメラ

静止画や動画を撮影できます。

P.6-1

メール機能

メール

ソフトバンク携帯電話、E メール対応携帯電話、パソコンなどと文字メッセージや画像、音楽ファイルなどのやりとりができます。

P.15-2

SMS

ソフトバンク携帯電話どうしで文字メッセージのやりとりができます。

P.15-2

マナー機能

マナーモード

周囲に迷惑がかからないように、音を鳴らさないなどの設定にボタンひとつで切り替えられます。

P.2-19

オフラインモード

電源を入れたままで、電波の送受信を停止します。電話の発着信やメール／SMSの送受信など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。

P.2-20

スケジュール／アラーム機能

カレンダー（スケジュール）

指定した日時に予定を知らせるように設定できます。

P.13-2

アラーム

指定した時刻をアラームでお知らせします。

P.13-8

画面表示機能

壁紙設定

お好みの画像を待受画面にできます。

P.7-2

サブディスプレイ

本体を閉じているとき、着信状態や電池残量などを確認できます。

P.1-12

メインメニューアイコン

メインメニュー画面の各アイコンや背景を変更できます。

P.7-4

Language/言語設定

画面表示や入力言語を英語に切り替えられます。

P.7-6

海外時計

指定した海外の都市の時刻を表示できます。

P.7-3

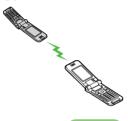
データ通信

Bluetooth® 通信

Bluetooth® 通信対応機器とデータのやりとりができます。

P.11-4

赤外線通信

赤外線通信を利用して、データのやりとりができます。

P.11-2

USB

USB 対応機器とデータのやりとりができます。

P.11-10

エンタテイメント機能

メディアプレイヤー

音楽ファイルや動画ファイルを再生できます。

P.9-2

コミックサーフィン

電子コミックを読むことができます。

P.9-12

ちかチャット

半径約 10 メートルの範囲内にあるちかチャット対応機どうしで、文字メッセージのやりとりができます。

P.9-13

オープン／クローズ機能

オープン着信応答設定

706P を開くだけで、かかってきた電話に応答できます。

P.8-4

クローズ通話終了設定

706P を閉じるだけで、通話を終了できます。

P.8-4

データ管理

データフォルダ

いろいろなデータをまとめて管理できます。

P.10-2

メモリカード

microSD™メモリカードに対応しています。

P.10-19

録音／再生機能

ボイスレコーダー

通話内容や自分の声などを録音して音声メモを作成できます。

P.13-10

簡易留守録

電話に出られないときに、相手のメッセージを706Pに録音できます。

P.2-7

ロック機能

誤操作防止

誤操作を防ぐために、ボタン操作ができないようにします。

P.12-4

キー操作ロック

他の人が使用できないように、操作用暗証番号を入力しないと706Pの操作ができないようにします。

P.12-4

オプションサービス

転送電話サービス

電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。

P.14-2

留守番電話サービス

電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。

P.14-4

割込通話サービス

【別途お申し込みが必要です】
通話中の相手を保留にして、別の相手からの電話を受けられます。

P.14-6

多者通話サービス

【別途お申し込みが必要です】
自分も含め最大で6人同時に通話できます。

P.14-7

発着信規制サービス

電話の発着信を状況に合わせて制限できます。

P.14-8

発信者番号通知サービス

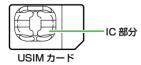
お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。

P.14-10

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIM（ユーシム）カード（以下「USIMカード」）は、電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。USIMカードが取り付けられていないときは、電話の発着信、メール、ウェブなどの機能が利用できません。

- USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードはソフトバンクが指定したものを使用してください。指定以外のものを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となり、当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

USIMカード

- 706Pを落としたり、強い衝撃を与えると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。その場合、「USIMをリセットします　お待ちください」と表示され、リセット終了後に待受画面に戻りますが、故障ではありません。また、「USIM未挿入です」と表示された場合は、電源を切り、USIMカードが正しく装着されているか確認のうえ、電源を入れ直してください。

その他ご注意

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 解約・休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- 紛失・破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- USIMカードや、ソフトバンク携帯電話（USIMカード装着済）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。
- 別のUSIMカードを挿入すると、お買い上げ時に登録されているS!アプリ／コミックサーフィン／ちかチャットが利用できなくなる場合があります。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。

解約／機種変更をしたときやUSIMカードを変更したとき、706Pを修理したときは、706PやメモリカードにR保存した着うた®／着うたフル®／音楽／静止画／動画／S!アプリ／ブックなどのファイルが利用できなくなることがあります。あらかじめご了承ください。

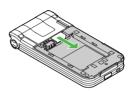
USIMカードを取り付ける／取り外す

● 必ず電源を切り、電池パックを取り外してから（☞P.1-18）、行ってください。

取り付ける

1 金色のIC部分を下にして、下図に示す向きでUSIMカードをゆっくりと奥まで差し込む

取り外す

1 USIMカードをスライドさせながら、ゆっくりと引き抜く

● 無理な取り付け／取り外しを行うと、USIMカードや706Pが破損することがありますので、ご注意ください。
● 取り外したUSIMカードは紛失しないよう、ご注意ください。
● USIMカードの取り付け／取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷を付けたりしないでください。IC部分に汚れなどが付着すると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。

PIN コード

USIM カードには、「 PIN1 コード」と「 PIN2 コード」という 2 つの暗証番号があります。

PIN1 コード

【お買い上げ時】9999

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための 4 ~ 8 桁の暗証番号です。

- PIN1 コードは変更できます。(☞P.12-3)
- PIN 入力の ON / OFF 設定(☞P.12-2)を **ON** にすると、電源を入れたときに PIN1 コードを入力しないと 706P を使用することができなくなります。

PIN2 コード

【お買い上げ時】9999

通話料金の各設定(☞P.2-14)に使用する暗証番号です。

- PIN2 コードは変更できます。(☞P.12-3)

PIN ロック解除コード(PUK コード)

PIN1 コードまたは PIN2 コードの入力を 3 回間違えると、PIN コードがロックされます。「 PIN ロック解除コード(PUK コード)」は、この PIN ロックを解除(☞P.12-3)するための暗証番号です。

- PIN ロック解除コードについては、お問い合わせ先(☞P.19-32)までご連絡ください。

- PIN ロック解除コードの入力を 10 回間違えると、USIM カードがロックされ、706P が使用できなくなります。PIN ロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIM カードがロックされた場合は、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先(☞P.19-32)までご連絡ください。
- PIN 入力の ON/OFF 設定(☞P.12-2)が **ON** で電源を入れた場合に表示される PIN コード入力画面では、緊急電話番号(110 / 119 / 118)への発信はできません。

各部の名称と機能

本体

正面図
イルミネーション／充電ランプ
電話着信やメール／ SMS 受信を点滅してお知らせします。充電中は点灯します。
受話口
ディスプレイ
接写モードスイッチ
静止画撮影時に接写／通常モードを切り替えます。
スピーカー
左ソフトボタン
画面左下に表示された操作を行います。
TV コール／文字ボタン
番号を入力したあと、TV コール発信を行います。文字入力画面では、文字入力モードを切り替えます。
文字
クリアボタン
入力した文字などを消したり、各種メニューをキャンセルします。
クリア/メモ
開始ボタン
電話をかける／受けるときに押します。
A/a
＊ ／記号ボタン
「＊」を入力します。文字入力画面では、記号／絵文字一覧を表示します。
記号/絵
送話口
SoftBank
Panasonic
内側カメラ
撮影された画像が TV コールをしている相手に送られます。
ナビゲーションボタン
で上下左右にカーソルを移動したり、待受画面からショートカット機能を呼び出します。
センターボタン で項目の選択や決定を行います。カメラ使用時は、シャッターや録画スタートボタンとして使用します。
右ソフトボタン
画面右下に表示された操作を行います。
Y!
カメラ／改行／マイクオフボタン
カメラを起動します。文字入力画面では、改行します。また、TV コール通話中に自分の声が相手に聞こえないようにします。
電源／終了ボタン
HLD
電源を入れる／切るときや通話を終了するとき、待受画面に戻るときに押します。
ダイヤルボタン
0 わをん ～ 9 WXYZ 電話番号や文字を入力します。
／マナーモードボタン
「#」を入力します。また、マナーモードを設定／解除します。

背面図

赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。
サブディスプレイ
外側カメラ
静止画や動画を撮影するときに使用します。
フォトライト
外側カメラ使用時の補助光として使用します。
ストラップ取り付け穴
microSD カードスロット
microSD™ メモリカードを挿入します。（☞P.10-20）
充電端子
充電端子／外部接続端子
急速充電器や各種オプション品などを接続します。
ワンプッシュオープンボタン
ボタンを押すだけで 706P を開くことができます。
● 706P 本体を閉じるときは、手で閉じます。閉じられない場合は一度完全に開いてから閉じてください。
● オープン／クローズ設定を ON にすると、本体の開閉で通話を開始／終了できます。（☞P.8-4）
内蔵アンテナ部分
スピーカー
ライト／
着信音ミュートボタン
ライトを点灯させます。
また、着信音を消すときに使用します。
イヤホンマイク端子
ステレオイヤホンマイク（オプション品）を接続します。
SoftBank
706P

簡単ボタン操作一覧

■ 待受画面からの操作

1 回押し（1 秒以下）		メインメニューを開く／誤操作防止解除
		Yahoo! ケータイメニュー一覧を開く※
		アドレス帳を開く
		着信履歴を開く
		発信履歴を開く
		メールメニューを開く
		ウェブ上の Yahoo! ケータイメインメニューに接続する
		全通話履歴を開く
		簡易留守録リストを開く
		カメラを起動する
	（左側面）	706P を閉じた状態で、サブディスプレイの表示を切り替える

※ を押して開くメニューは変更できます。（ショートカットボタンの設定 ☞P.8-3）

■ 待受画面からの操作（つづき）

長押し（1 秒以上）		誤操作防止設定
	／	受話音量調節画面を開く
		電源を切る（2 秒以上）
		留守番電話センターのメッセージを聞く
	-	それぞれのボタンに登録された電話番号に発信する（スピードダイヤル）
		＋（国際コード）を入力
		P（ポーズ）を入力
		マナーモードの設定／解除
		簡易留守録の設定／解除
	（左側面）	フォトライトの点灯／消灯

■ 音声通話中の操作

1 回押し（1 秒以下）	／	受話音量を上げる
	／	受話音量を下げる
		オプションメニューを開く
	／	通話を終了する
	（左側面）	相手の声を録音する

ディスプレイ

ディスプレイ表示

● 706P を閉じると点灯し、約 15 秒後に消灯します。左側面の （ライト／着信音ミュートボタン）を押すと点灯し、表示を切り替えられます。

ディスプレイアイコン

マナーモード
ユーザーモード
アウトドアモード
運転中モード
音量設定がサイレント
バイブレーションが ON
音量設定がサイレントでバイブレーションが ON
ソフトウェア更新中／開始通知／結果通知
メモリカード装着中
使用できないメモリカード（☞P.10-20）
非対応のメモリカード
未読メール／ SMS あり
シークレットモードが ON
アラームが ON
スケジュールアイコン（☞P.13-5）
メールがいっぱいのため、サーバーに未受信メールあり
SMS がいっぱいです
Bluetooth® 通信が ON
Bluetooth® 機器接続中
706P 公開中
赤外線通信が ON
転送電話または留守番電話サービスが ON
留守番電話サービスのメッセージあり
S! アプリ実行中／一時停止中
ローミング中
パケット通信接続中
パケット通信接続中（モデムとして利用時）
電話回線利用時のデータ通信中（モデムとして利用時）
セキュリティで保護されている情報画面に接続中
TV コール中
ストリーミング中／一時停止中
BGM 再生中／一時停止中
USB ケーブル接続中
簡易留守録設定が ON
留守メッセージがいっぱいです
未確認留守メッセージあり
未確認留守メッセージあり＆留守メッセージがいっぱいです
00:00
01/01（月）

サブディスプレイアイコン

インフォメーション表示について

待受画面にインフォメーションを表示して、いろいろな情報をお知らせします。

1 内容を確認するには、Ⓞ でインフォメーションの項目を選択 → Ⓞ または ✉ **[表示]**

● インフォメーションで表示されるお知らせ内容は次のとおりです。

不在着信	応答しなかった電話があります。(☞P.2-11)
メール	メール／ SMS を受信しました。(☞P.15-11)
簡易留守録	簡易留守録にメッセージがあります。(☞P.2-8)
留守電メッセージ	留守番電話センターに新しい伝言メッセージがあります。(☞P.14-5)
ソフトウェア更新結果	ソフトウェア更新の結果をお知らせします。(☞P.19-12)

● インフォメーション表示中は発信などの通常の操作はできません。表示を消すには Y! **[終了]**、HLD または クリア/メモ を押してください。

インフォメーション表示中も緊急電話番号（110 ／ 119 ／ 118）への発信はできます。ただし、番号を入力しても表示されません。番号を間違えた場合、HLD を押して、最初から入力し直してください。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

充電時間と利用可能時間の目安

項目	3G モード	GSM モード
充電時間	約 160 分	
連続待受時間	約 350 時間	約 290 時間
連続通話時間（音声通話）	約 190 分	約 200 分
連続通話時間（TV コール）	約 90 分	―

● 上記は、電池パック装着時の数値です。

● 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波を正常に送受信できる状態で算出した、通話に使用できる時間の目安です。

● 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、706P を折りたたんだ状態で通話や操作をせず、電波を正常に受信できる状態で算出した、時間の目安です。

● 電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境や利用場所の電波状態などにより、ご利用可能時間が変動します。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
※推奨使用温度：5 ℃～ 35 ℃
- 指定品以外の充電器で充電しないでください。電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）となる可能性があります。また、完全に充電できない、電源が入らない等の原因になることがあります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 電池パック単体で充電することはできません。706P に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 電源を入れた待受状態でも充電できますが、充電時間は長くなります。
- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電中に充電器や電池パック、706P が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器を雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

使用時のご注意

- 電池パックや 706P、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。電池パックが使用できなくなることがあります。長期間保管・放置されるときは、半年に 1 回程度、電池パックの補充電を行ってください。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

電池パックの持ちについて

- 次のような場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。
  - ・極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき
  - ・706P や電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき
  - ・電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受にしているとき
  - ・音楽などを再生したり、S! アプリを起動しているときなど
- 次のような機能を設定することによって、電池パックの消耗を軽減できます。
  - ・ディスプレイのバックライトの点灯時間を短くする（☞P.7-6）
  - ・ボタンの確認音量を**サイレント**にする（☞P.8-2）／バックライトを **OFF** にする／点灯時間を短くする（☞P.8-3）

  など

電池が切れたら

● **通話中以外のとき**

電池残量が不足している旨のメッセージが表示され、電池アラーム音が「プープー…」と鳴り、約2分後に電源が切れます。電池アラーム音が鳴っているときに HLD、Y! または クリア/メモ を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。電池パックを充電してください。

・マナーモード設定中やエラー音設定が **OFF** の場合は、電池アラーム音は鳴りません。
・2分以内に充電を開始すると、電源は切れません。
・706Pを閉じているときは、左側面の ▯ を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。

● **通話中のとき（音声電話／TVコール共通）**

電池残量が不足している旨のメッセージが表示され、受話口またはスピーカーから電池アラーム音が「プープー…」と鳴り、約1分30秒後に通話が終了したあと、電源が切れます。電池パックを充電してください。

・1分30秒以内に充電を開始すると、通話は終了しません。

不要になった電池パックは

● 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

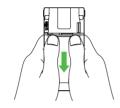
電池レベル表示について

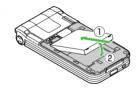
● 電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに変化します。
ディスプレイやサブディスプレイの電池レベル表示（☞P.1-12）とメッセージをご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

電池パックを取り付ける／取り外す

● 電池パックを取り外すときは、必ず電源を切ってから行ってください。

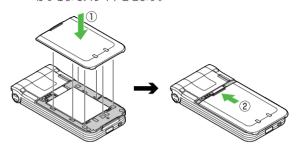
1 電池カバーを外す

電池カバーを両指で軽く押しながらスライドさせ、取り外します。

2 電池パックを取り付ける

印刷面を上にして、本体と電池パックの端子を合わせてはめ込みます。

電池パックを取り外す

電池パックの左右いずれかの引っかけ部を利用して、持ち上げます。

3 電池カバーを取り付ける

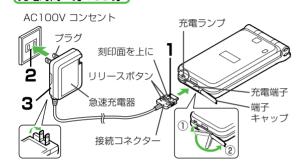
本体の溝に電池カバーのツメを合わせて置き、カチッと音がするまでスライドさせます。

電池パックを取り外すと、まれに直前に行った設定変更の内容が反映されない場合があります。

この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

● リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
● リサイクルのときは、分解したり、ショートさせないようにご注意ください。火災や感電の原因となります。

急速充電器を利用して充電する

必ず付属の急速充電器を使用してください。

充電時間：約 160 分

1 急速充電器の接続コネクターを 706P の充電端子に差し込む

充電端子のキャップは、いったん右上に開けたあと、下方向に 180° 回転させます。

コネクターの刻印がある面を上にして充電端子に差し込みます。

2 急速充電器のプラグを家庭用 AC コンセントに差し込む

プラグを起こしてから AC コンセントに差し込みます。（ご使用後はプラグを倒して保管してください。）

充電ランプが点灯し、充電を開始します。

充電ランプが消灯すれば、充電は完了です。

3 充電が完了したら、急速充電器を外す

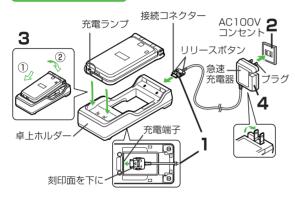
プラグを AC コンセントから抜き、接続コネクターを 706P から抜きます。

接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

抜いたあとは、706P の充電端子のキャップを元に戻してください。

- 急速充電器のコードを強く引っ張ったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因になります。
- 急速充電器は AC100 ～ 240V の家庭用電源に対応しています。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

卓上ホルダーを利用して充電する

卓上ホルダーはオプション品です。
急速充電器は必ず付属のものを使用してください。
充電時間：約 160 分

1 急速充電器の接続コネクターを卓上ホルダー背面の接続端子に差し込む

コネクターの刻印がある面を下にして接続端子に差し込みます。

2 急速充電器のプラグを家庭用 AC コンセントに差し込む

プラグを起こしてから AC コンセントに差し込みます。（ご使用後はプラグを倒して保管してください。）

3 706P を卓上ホルダーに置く

706P の下部を差し込み、上部をカチッと音がするまで押し下げてください。

充電ランプが点灯し、充電を開始します。

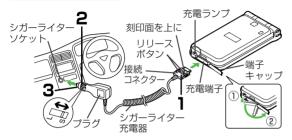
充電ランプが消灯すれば、充電は完了です。

4 充電が完了したら、706P を卓上ホルダーから取り外し、急速充電器のプラグを AC コンセントから抜く

卓上ホルダーから接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

シガーライター充電器を利用して充電する

シガーライター充電器はオプション品です。

充電時間：約 160 分

1 シガーライター充電器の接続コネクターを706P の充電端子に差し込む

充電端子のキャップは、いったん右上に開けたあと、下方向に 180°回転させます。

コネクターの刻印がある面を上にして充電端子に差し込みます。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む

プラグのサイズが合わない場合は、一度取り外し、差し込み口付近にあるスイッチ（L[固い] ⇔ S[ゆるい]）で調節してください。

車のエンジンをかけてください。

充電ランプが点灯し、充電を開始します。

充電ランプが消灯すれば、充電は完了です。

3 充電が完了したら、シガーライター充電器を外す

プラグをシガーライターソケットから抜き、接続コネクターを 706P から抜きます。

接続コネクターを抜くときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

抜いたあとは、706P の充電端子のキャップを元に戻してください。

- シガーライター充電器はマイナスアース車専用です（12V、24V 両用）。プラスアース車では使用しないでください。
- シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。また、自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。

詳しくは、シガーライター充電器の取扱説明書をご覧ください。

電源を入れる／切る

1 706Pを開く

2 HLDを長く押す（3秒以上）

ディスプレイが点灯し、待受画面が表示されます。

3 電源を切るには HLDを長く押す（2秒以上）

ディスプレイが消灯します。

初めて電源を入れたとき

日付と時刻の確認画面が表示されます。日付と時刻を入力して を押してください。

- 日付と時刻を入力しなかった場合は、自動的に「2007年1月1日 00:00」に設定されます。

ネットワーク自動調整

お買い上げ後、初めて 、 、 、 を押すと、確認画面が表示されます。 を押してネットワーク自動調整を行ってください。

- ネットワーク自動調整をすると、メールやウェブなどのネットワークを利用するサービスが利用できます。
- ネットワーク情報は、手動で取得することもできます。
  メインメニューから **設定** ▶ **外部接続** ▶ **ネットワーク自動調整**

- USIM カードを装着していても「USIM 未挿入です」と表示されるときは、電源を切ったあと USIM カードが正しく装着されているか、IC 部分が汚れていないか確認したうえで、電源を入れ直してください。
- 第三者による無断使用を防ぐために、電源を入れたときに必ず PIN1 コードを入力するよう設定できます。(☞P.12-2)
- 706P を開いたまま操作しない状態が続くと、電池の消耗を抑えるため、自動的に画面が暗くなります。
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間、通話履歴や保存されているメールや SMS の宛先などは、アドレス帳に名前を登録していても、電話番号やメールアドレスで表示されます。この場合は、一度待受画面に戻り、しばらくしてから再確認すると名前が表示されます。

日付／時刻の設定

画面に表示される日付／時刻を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ ホーム時計設定 ▶ 日時設定

1 日付を入力 → [決定]

2 時刻（24 時間制）を入力 → [決定]

曜日は自動的に設定されます。

入力を間違えたとき

変更したい場所にカーソルを移動して、正しい数字を入力してください。

- 時計表示は次のような設定／変更が可能です。
  - ・世界各国の都市の時計表示（海外時計）(☞P.7-3)
  - ・サマータイムの設定（☞P.7-2、P.7-3）
  - ・時刻の時間制（24 時間／ 12 時間）や日付の表示形式（年／月／日の順番）の変更（☞P.7-4）
- 本機能で設定できるのは、2006 年 1 月 1 日 00 時 00 分から 2099 年 12 月 31 日 23 時 59 分までです。

機能の呼び出しかた

メインメニューから機能を呼び出す

メインメニュー

1 待受画面で ● を押す

メインメニューが表示されます。

2 ◎ でアイコンを選び、● を押す

各項目内のメニューが表示されます。

待受画面に戻るには

各画面で [HLD] → 待受画面に戻ります。

メインメニューの項目について

S! アプリ S! アプリの起動、設定を行います。	**Yahoo! ケータイ** ウェブに接続します。	**カメラ** 静止画や動画の撮影を行います。
メール メールや SMS の作成や送受信を行います。	**データフォルダ** 画像や音楽ファイルなどのデータの保存、管理を行います。	**エンタテイメント** メディアプレイヤー、コミックサーフィンなどが利用できます。
ツール アラームやカレンダーなど便利な機能が利用できます。	**アドレス帳** 電話をかけたりメールや SMS を送る相手の情報を登録し、利用できます。	**設定** 各種設定を行います。

補足

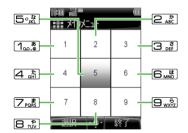
メインメニューの各アイコンや背景をお好みの画像に変更できます。（☞P.7-4）

メニュー番号で機能を呼び出す

メインメニュー画面から、ダイヤルボタンを使ってすばやく機能や項目を選択できます。

各項目に番号がない場合

各項目に番号がない画面（メインメニューやメインメニューで選んだ項目の最初の画面）でも、その順番でダイヤルボタンが割り当てられています。

例 1）メインメニューで**設定**を選ぶには、9 を押す

メインメニューの割り当て数字

例 2）例 1 で表示された設定画面で**ディスプレイ設定**を選ぶには、3 を押す

設定画面（例）の割り当て数字

各項目に番号がある場合

項目に番号が付いている画面（設定画面や [メニュー] を押したあとのサブメニュー画面）では、番号のダイヤルボタンを押すとその項目が選択されます。

例 1）ディスプレイ設定画面で**事業者名表示**を選ぶには、6 を押す

暗証番号

706Pのご使用にあたっては、「操作用暗証番号」と「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

操作用暗証番号

【お買い上げ時】9999

4桁の暗証番号で、706Pの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「＊」で表示されます。
- 操作用暗証番号は706Pの操作で変更できます。（☞P.12-2）

交換機用暗証番号

ご契約時の4桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作するときや、ウェブの有料情報の申し込みの際に使用します。

- 交換機用暗証番号は706Pの操作では変更できません。交換機用暗証番号を変更するときは、手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の4桁の暗証番号で、706Pで発着信規制サービス（☞P.14-8）の設定を行うときに使用します。

- 入力を3回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。
- 発着信規制用暗証番号は706Pの操作で変更できます。（☞P.14-9）

- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、お忘れにならないようご注意ください。また、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 暗証番号について詳しくは、お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。

基本的なご操作のご案内

電話をかける

- 日本国内から国際電話をかける（☞P.2-4）
- 海外で電話をかける（☞P.2-18）
- TV コールをかける（☞P.5-3）

日本国内で音声電話をかける

まず確認！

待受画面で

- 電波状態を確認する。（☞P.1-12）
- 表示を確認する。
  「圏外」「 」「 」「 」
  → ご利用になれません。（☞P.19-10）

1 市外局番から電話番号を入力する

- 同一市内でも必ず市外局番からダイヤルしてください。

2 電話番号を確認し、 A/a を押す

電話がかかります。

3 通話が終わったら、 HLD を押す

通話時間の目安が表示されます。

電話番号通知 / 非通知の設定

- ダイヤルしたあとに **[メニュー] → 発信者番号設定**を選択 → → **通知**または**非通知**を選択 →
- 常に通知／非通知にするときは（発信者番号通知サービス ☞P.14-10）

電話番号を間違えたとき

- でカーソルを消したい数字の後ろに移動して クリア/メモ を押し、正しい数字を入力します。
  クリア/メモ を長押し（1 秒以上）すると、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

- 内蔵アンテナ部分（☞P.1-10）には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
- 体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなることがあります。

- 706P を閉じると通話が切れるように設定できます。（オープン／クローズ設定 ☞P.8-4）
- 累積通話料金の目安を確認できます。（☞P.2-14）
- 通話中と通話終了後に通話料金を表示できます。（☞P.2-15）
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間に電話をかけると、アドレス帳に相手の名前を登録していても電話番号で表示されます。この場合は、通話中も電話番号が継続して表示されます。

以前かけた電話番号にもう一度かける（発信履歴）

以前かけた電話の日時や電話番号を最新の 50 件まで記憶しています。発信履歴を使って電話をかけられます。

1 待受画面で ⓘ

新しい履歴から順に一覧表示されます。アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号を選択 → [A/a]

音声電話がかかります。

- TV コールや国際電話をかける、または電話番号の通知／非通知を選択してかけるには（☞P.2-12 手順 2 以降）

- 同じ番号に 2 回以上電話をかけたときは、最後にかけた日時のデータだけが記憶されます。
- 電源を切っても発信履歴の記憶は消えません。
- 50 件を超えたときは、古いものから削除されます。

日本国内から国際電話をかける

- 国際電話の利用には、別途お申し込みが必要です。詳しくは、「サービスガイド（3G）」を参照してください。
- ソフトバンク携帯電話にかけるときは、相手のいる国にかかわらず、ソフトバンク携帯電話番号だけでかけられます。
- 海外で電話をかけるには（☞P.2-18）

1 電話番号を入力

2 [**メニュー**] → **国際発信**を選択 →

国名リストが表示されます。

3 相手の国を選択 → →

国番号などを直接ダイヤルする場合

（1 秒以上）で「+（国際コード）」を表示させる → 国番号を入力 → 電話番号を入力（先頭の「0」を除く）→

- 国際コードは、お買い上げ時は「0046010」に設定されていますが、変更することもできます。（☞P.8-4）
- イタリア（国番号 39）にかける場合は、市外局番の「0」は省かずに入力してください。

国名リストにない国にかける場合

利用したい国番号がリストにない場合は、その場で追加できます。

手順 3 で [**メニュー**] → **追加**を選択 → → 国名を入力 → → 国番号を入力 →

緊急電話（110 ／ 119 ／ 118）発信について

706P の各機能を利用して発信を制限しているときでも、110 番（警察）、119 番（消防・救急）、118 番（海上保安庁）へは発信できます。

次の場合は発信できませんので、ご注意ください

- オフラインモードが **ON** のとき（☞P.2-20）
- PIN コード入力画面が表示されているとき（PIN 入力設定が **ON** で電源を入れたとき）（☞P.12-2）
- USIM カードが挿入されていないとき（発信してもつながりません）

海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、706P の機能設定状態、USIM の状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

電話を受ける

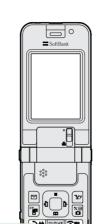
電話がかかってくると

着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。

相手が電話番号を通知してきたときは、サブディスプレイとディスプレイに電話番号が表示されます。アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

1 [A/a] を押し、相手と話す

2 通話が終わったら、[HLD] を押す

通話時間の目安が表示されます。

着信音を消すには

着信中に、左側面の を押します。

相手の声の大きさを調節するには

通話中に [◁▷] または [△▽] で調節します。

補足

- 706P を開くだけで電話を受けられるように設定できます。（オープン／クローズ設定 ☞P.8-4）
- [0]～[9]、[*]、[#]、[文字]、[カメラ]、[◎] でも電話を受けられるように設定できます。（エニーキーアンサー ☞P.8-3）
- 相手の電話番号が通知されてこなかったときは、「非通知」と表示されます。
- 迷惑電話などを防止するために、非通知などの着信や特定の電話番号からの着信を拒否できます。（着信拒否 ☞P.12-5）
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間に電話がかかってくると、アドレス帳に相手の名前、着信音、イルミネーション、画像を登録していても、電話番号で表示され、着信音とイルミネーションは通常設定連動となり、画像は表示されません。この場合は、通話中も電話番号が継続して表示されます。

かけてきた相手にかけ直す（着信履歴）

以前かかってきた電話の日時や電話番号を最新の50件まで記憶しています。着信履歴を使って電話をかけられます。

1 待受画面で ◎

新しい履歴から順に一覧表示されます。アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

2 電話番号または名前を選択

→

音声電話がかかります。

- TVコールや国際電話をかける、または電話番号の通知／非通知を選択してかけるには（☞P.2-12 手順2以降）

- 電源を切っても着信履歴の記憶は消えません。
- 50件を超えたときは、古いものから削除されます。

電話に出られないとき

着信を保留にする（応答保留）

すぐに電話に出られないときなどに着信を保留にできます。

1 電話がかかってきたら、［HLD］

相手には電話に出られない旨のガイダンスが流れます。

- 応答保留中でも通話料金がかかります。

2 電話に出るには、［A/a］

着信を拒否する

かかってきた電話を拒否できます。

1 電話がかかってきたら、［Y!］**[拒否]**

着信を転送する

あらかじめ転送電話サービスを開始しておけば、かかってきた電話を登録した電話番号に転送できます。

- 転送電話サービスについて（☞P.14-2）

1 電話がかかってきたら、［✉］**[転送]**

- 転送電話サービスを開始していない場合は、［✉］**[転送]** を押すと着信は拒否されます。

メッセージを録音する（簡易留守録）

あらかじめ設定しておくと、かけてきた相手のメッセージを最大８件まで706Pに録音できます。

- 簡易留守録を設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- 簡易留守録は、電源が切れているとき、オフラインモード設定中や「圏外」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。（☞P.14-4）

簡易留守録を設定／解除する

【お買い上げ時】OFF

1 待受画面で クリア/メモ（1秒以上）

- 解除するときは、もう一度 クリア/メモ（1秒以上）

電話がかかってきたときに設定するには

簡易留守録が **OFF** の状態で電話がかかってきたときに を押すと、簡易留守録が **ON** になり、録音を開始します。その後も設定は保持されます。

- **メインメニューから ツール ▶ 簡易留守録 ▶ 設定 ▶ ON/OFF** でも設定／解除できます。
- 録音が８件を超えているときは、待受画面にインフォメーションが表示されます。不要なメッセージは削除してください。
- TVコール着信は簡易留守録を利用できません。

応答時間を設定する

【お買い上げ時】８秒

電話がかかってきてからガイダンスが流れるまでの時間を設定します。

メインメニューから ツール ▶ 簡易留守録 ▶ 設定 ▶ 応答時間

1 応答時間（1～30秒）を入力→

応答時間とサービスの優先順位

- 簡易留守録をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと合わせてご利用になるときは、応答時間の設定により、優先順位が変わります。
  例）簡易留守録の応答時間…８秒／
  　　各サービスの応答時間…15秒
  と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
- 簡易留守録を優先していても、録音件数がいっぱいになると転送電話／留守番電話サービスが優先されます。

録音されたメッセージを聞く

新しいメッセージが録音されると、待受画面にインフォメーションと「 」が表示されます。

● インフォメーション表示について（☞P.1-15）

1 インフォメーションの**簡易留守録**を選択 →

簡易留守録リストが表示されます。

2 メッセージを選択 →

メッセージが再生されます。

録音した相手に電話をかけるには
メッセージを選択 → **[メニュー]** → **発信**を選択 →

メッセージを消去するには
メッセージを選択 → **[メニュー]** → **削除**または**全件削除**を選択 → → 確認画面で **[YES]**

録音した相手をアドレス帳に登録するには
メッセージを選択 → **[メニュー]** → **アドレス帳へ登録**を選択 →

待受画面で クリア/メモ を押す、または **メインメニューから ツール ▶ 簡易留守録 ▶ 簡易留守録リスト** からでも再生できます。

通話中の操作

音声通話中の操作を説明します。

● TV コール通話中の操作（☞P.5-5）

通話中は消費電力を抑えるために、約 1 分で通話画面を消灯します。（通話は継続されます。）消灯中でも HLD で通話を終了できますが、その他のボタンは画面を再度点灯させるだけの動作となります。通話中の操作は、画面を点灯させてから行ってください。

相手の声の大きさを調節する（受話音量）

【お買い上げ時】レベル 4

1 通話中に または で音量を調節

● 通話終了後や電源を切っても、変更した音量は保持されます。

通話中でなくても、待受画面で または を長押し（1 秒以上）すると受話音量調節画面が表示され、音量を変更できます。

通話を録音する（ボイスレコーダー）

通話内容を録音できます。（1 件あたり最大 60 秒）

1 通話中に、706P 左側面の ▯

「ピッ」と鳴って、録音が始まります。

2 録音を終了するときは、●

録音した音声は着うた・メロディフォルダに保存されます。

補足　通話中に ✉ **[メニュー] → 録音**を選択 → ● でも録音できます。

ハンズフリー通話に切り替える

スピーカーから相手の声が聞こえるように切り替えることによって、ハンズフリーで通話ができます。

1 通話中に、✉ **[メニュー] → スピーカー ON** を選択 → ●

ハンズフリー通話ができます。

- 元に戻すには：✉ **[メニュー] → スピーカー OFF** を選択 → ●

Bluetooth® 対応機器でハンズフリー通話中は、次の操作で切り替えられます。
✉ **[メニュー] → Bluetooth へ切替**、**本体（スピーカー ON）へ切替**または**本体（スピーカー OFF）へ切替**を選択 → ●

その他通話中にできること

プッシュトーンを送信する

通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュトーンが送信されます。自動音声応答サービスなどの各種プッシュホンサービスがご利用になれます。

1 通話中に 0わをん〜9wxyz、＊、または #

ダイヤル入力でメモをとる（メモ機能）

通話中に電話番号などを一時的にメモすることができます。（最大40桁まで表示）
メモした内容は通話終了後に確認でき、電話番号の場合はそのメモを使って電話をかけられます。

- 使用可能なダイヤルボタンは 0わをん〜9wxyz、＊、# です。

1 通話中に電話番号などを入力

入力した番号が画面左下に表示されます。

2 HLD で通話を終了

通話中に入力した電話番号などが表示されます。

3 **表示された番号に音声電話をかける場合**

表示された番号に TV コールをかける場合

アドレス帳を確認する

通話中にアドレス帳を確認できます。

1 通話中に、✉ **[メニュー]** → **アドレス帳**を選択 →

アドレス帳が開きます。

通話を保留にする

通話を保留にすると、相手には保留音が流れます。

- 保留の利用には、割込通話サービス（☞P.14-6）または多者通話サービス（☞P.14-7）のお申し込みが必要です。

1 通話中に、A/a

通話が保留され、相手に保留音が流れます。

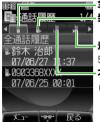
- 保留を解除するには：もう一度 A/a

補足

✉ **[メニュー]** → **保留**または**保留解除**を選択 → でも保留／解除できます。

通話履歴の確認

以前かけた電話、かかってきた電話、応答しなかった電話などの日時や電話番号を記憶しています。

1 待受画面で [A/a] → [ナビゲーションキー] で履歴の種類を選択

全通話履歴：すべての発着信履歴

発信履歴：かけた電話の履歴（最大 50 件）

着信履歴：かかってきた電話の履歴（最大 50 件）

不在着信履歴：応答しなかった電話の履歴（最大 20 件）

2 個々の履歴の詳細を確認するには、[ナビゲーションキー] で履歴を選択 →

- 同じ番号に 2 回以上電話をかけたときは、最後にかけた日時のデータだけが全通話履歴と発信履歴に記憶されます。
- 電源を切っても通話履歴の記憶は消えません。
- 最大件数を超えたときは、古いものから削除されます。
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間通話履歴は、アドレス帳に名前を登録していても電話番号で表示されます。この場合は、一度待受画面に戻り、しばらくしてから再確認すると名前が表示されます。
- 通話履歴は **メインメニューから アドレス帳 ▶ 通話履歴** でも表示できます。
- 待受画面で [ナビゲーションキー] を押すと発信履歴、[ナビゲーションキー] を押すと着信履歴を直接表示できます。

通話履歴を利用する

履歴を利用して電話をかける

1 → で履歴の種類を選択

2 で利用する履歴を選択 → [メニュー] → **発信**を選択 →

3 **音声**、**TV コール**または**国際発信**を選択 →

4 手順 3 で**国際発信**を選択した場合は、相手の国を選択 → →

電話番号の通知／非通知を選択してから電話をかけるときは
手順 3 で**番号通知**または**番号非通知**を選択 → → [メニュー] → **発信**を選択 → → **音声**または **TV コール**を選択 →

履歴を利用してメール／ SMS を作成する

1 → で履歴の種類を選択

2 で利用する履歴を選択 → [メニュー] → **メール新規作成**を選択 →

3 **メール**または **SMS** を選択 → → メール／ SMS 作成の操作を行う（メール ☞P.15-7 手順 2 以降／ SMS☞P.15-9 手順 2 以降）

履歴を利用してアドレス帳に登録する

1 → で履歴の種類を選択

2 で利用する履歴を選択 → [メニュー] → **アドレス帳へ登録**を選択 →

3 **新規登録**または追加登録する相手を選択 → → 登録の操作を行う（☞P.4-4 手順 1 以降）

通話履歴を消去する

1 → で履歴の種類を選択

2 **1件消去する場合**

消去したい履歴を選択 → **[メニュー]** → **削除**を選択 → → 確認画面で

すべて消去する場合

[メニュー] → **全件削除**を選択 → → 確認画面で **[YES]** → 操作用暗証番号（4桁）を入力 →

- 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

通話時間／通話料金表示

通話時間を確認する

706Pから発信した累積通話時間の目安を表示します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 累積発信通話時間

1 **累積通話時間をリセットするには**

→ 確認画面で

電源を切っても通話時間の記憶は消えません。

通話料金を確認する

残課金を確認する

設定した通話料金の上限（☞P.2-14）の残課金を表示します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話料金表示 ▶ 残課金

累積料金を確認する

706P から発信した通話の累積料金の目安を表示します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話料金表示 ▶ 累積料金

1 **累積料金をリセットするには**
→ 確認画面で → PIN2 コードを入力
→

補足 電源を切っても累積料金の記憶は消えません。

通話料金の表示通貨／換算単位を設定する

通話料金に表示される通貨単位と換算単位を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話料金表示 ▶ 通話料金表示単位

1 → PIN2 コードを入力 →

2 通貨単位（3 文字）を入力 →

3 表示単位を入力 →

通話料金の上限を設定する

設定した通話料金の上限（限度額）を超えると、発信できなくなります。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話料金表示 ▶ 通話料金上限

1 **[メニュー]** → **編集**を選択 →
- 上限を設定しない場合は、**OFF** を選択します。

2 PIN2 コードを入力 →

3 限度額を入力 →

限度額を超えて発信ができなくなったら
累積料金をリセットすると（☞ 左記）、発信できるようになります。

- 通話料金の上限を累積料金以下の値に設定すると、設定直後から発信ができなくなります。その場合、累積料金をリセットする（☞ 左記）か、通話料金の上限を累積料金より高い値に再設定してください。
- 限度額を超えたときでも緊急電話番号（110 ／ 119 ／ 118）への発信はできます。

通話料金を表示する

【お買い上げ時】OFF

通話中と通話終了後に通話料金を表示します。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話料金表示 ▶ 料金表示 ON/OFF

1 **ON**（表示する）または **OFF**（表示しない）を選択 → [●]

自分の電話番号を確認する

オーナー情報（☞P.4-14）を呼び出し、自分の電話番号を確認できます。名前やメールアドレスなど、登録している情報も同時に確認できます。

1 待受画面で [●] [0 わをん ー＋]

オーナー情報が表示されます。

海外での利用（国際ローミング）

706P では、日本以外の国や地域に行っても、音声通話などが利用できます。

- 国際ローミングのしくみ、使用できる国や地域、料金などの詳細については、「国際ローミングガイド」を参照してください。また、使用できる機能や制限などについては、お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。
- 国際ローミングのご利用には、別途お申し込みが必要です。
- 海外にお出かけになるときは、「国際ローミングガイド」を携帯してください。

ネットワークモードを切り替える

【お買い上げ時】3G

国や地域によっては、ネットワークモードを切り替える必要があります。

自動	日本国内と海外の 3G/GSM サービスエリアで使用できます。お使いの場所（ネットワークの状態）に応じて自動的にモードが切り替わります。
3G	日本国内と海外の 3G サービスエリアで使用できます。「3G」が表示されます。
GSM	海外の GSM サービスエリアで使用できます。日本国内では使用できません。「GSM」が表示されます。

メインメニューから **設定** ▶ **外部接続** ▶ **ネットワーク設定** ▶ **3G/GSM 選択**

1 **自動**、**3G** または **GSM** を選択 →

使用する通信事業者の設定

通信事業者を登録する

使用する通信事業者を優先順に登録できます。登録内容は編集できます（追加、挿入、編集、削除）。

● 登録できる件数はUSIMカードによって異なります。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ ネットワーク設定 ▶ 事業者設定

1 ✉[**メニュー**] → **追加**、**挿入**、**編集**または**削除**を選択 →

● **追加**を選択すると、優先順リストの最後に追加されます。（追加を選択するときは、優先順リストの一番下の通信事業者にカーソルを当てた状態で行ってください。）

● **挿入**を選択すると、カーソルのある通信事業者の上に挿入されます。

ここで設定した通信事業者は常に最優先では使用されません。使用される通信事業者はネットワークの状態に依存します。

通信事業者を選択する

【お買い上げ時】自動

使用する通信事業者は、自動または手動で選択できます。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ ネットワーク設定 ▶ 自動・手動選択

1 **自動**または**手動**を選択 →

「手動」に設定した場合

「手動」設定時に圏外から圏内に復帰した場合、待受画面に戻ったタイミングで、使用できる通信事業者を自動的に検索します。前回まで使用していた通信事業者が見つからなかった場合のみ、使用可能な通信事業者のリストを待受画面に表示します。使用する通信事業者を選んで を押してください。

通信事業者を切り替える

通信事業者の受信地域やローミングの状態によっては、通話状態を良くするために別の通信事業者に切り替えられます。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ ネットワーク設定 ▶ ネットワーク検索

1 使用する通信事業者を選択 →

海外で電話をかける

滞在国内から日本や他国に電話をかける

1 待受画面で 0 わをん ー＋ （1 秒以上）

「＋（国際コード)」が表示されます。

2 国番号と電話番号（市外局番の「0」を除く）を入力 → ●

● イタリア（国番号 39）にかける場合は、市外局番の「0」は省かずに入力してください。

補足
● 国際コードは、お買い上げ時は「0046010」に設定されていますが、変更することもできます。（☞P.8-4）
● よく利用する国番号がリストにない場合は、追加できます。（☞P.8-5）

滞在国内の一般電話／携帯電話に電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力 → ●

マナーモード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

● 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切りましょう。
● レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
● 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
● 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

マナーモード（☞ 右記）	着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、簡単な操作で設定できます。電話がかかってくると、振動でお知らせします。
バイブレーションの設定（☞P.7-8）	電話がかかってきたときやメール／SMSを受信したときなどに、振動でお知らせします。
音量の設定	着信音を**サイレント**に設定すると、電話がかかってきたときやメール／SMSを受信したときの音を鳴らさないようにできます。（☞P.7-7） S! アプリ実行中の音も鳴らさないようにできます。（☞P.17-5）
オフラインモード（☞P.2-20）	電源を入れたままで、電波の送受信を停止します。この場合、電話の発着信、メール／SMSやデータの送受信、ウェブなど、電波のやりとりを行う機能は利用できなくなります。
簡易留守録（☞P.2-7）	電話に出られないときに、相手の用件を706Pに録音できます。
モード設定（☞P.7-9）	会議中や運転中などの状況に合わせて着信音や着信音量などを設定できます。

マナーモードを設定／解除する

着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、簡単な操作で設定できます。電話がかかってくると、振動でお知らせします。

- マナーモードを設定すると、「 」が表示されます。また「 」（サイレント&バイブレーションON）も同時に表示されます。

1 待受画面で #（1 秒以上）

- 解除する場合：もう一度 #（1 秒以上）

- **メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ モード設定 ▶ マナーモード**でも設定できます。
- マナーモードを設定しても、次の音は鳴ります。
  カメラ撮影時のシャッター音、自動応答での応答音、イヤホンからの着信音（**レベル 1** で鳴ります）
- マナーモード設定中にメディアプレイヤーを起動すると音は鳴りませんが、再生中に音量を変更できます。

オフラインモードを設定／解除する

【お買い上げ時】OFF

電源を入れたままで、電波の送受信を停止します。この場合、電話の発着信、メール／ SMS やデータの送受信、ウェブなど、電波のやりとりを行う機能は利用できなくなります。

- オフラインモードを **ON** にすると、電波状態表示が「」に変わります。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ オフラインモード

1 **ON** または **OFF** を選択 →

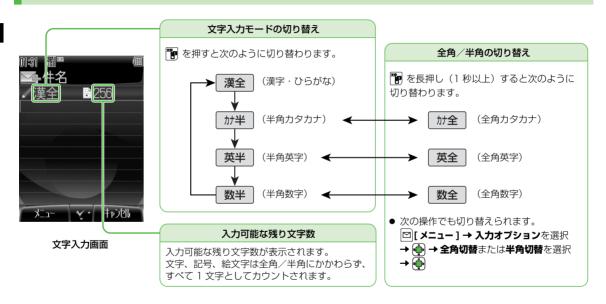
- オフラインモードを **ON** にすると、自動的に Bluetooth® と赤外線通信が無効になります。
- オフラインモード設定中は、ヘッドセットなどの Bluetooth® 通信を使用するハンズフリー機器は利用できません。
- オフラインモード設定中は緊急電話番号（110 ／ 119 ／ 118）への発信はできません。

文字の入力方法

文字入力について

706P では、ひらがな、漢字、カタカナ、英数字、記号、絵文字が入力できます。

文字入力画面と文字入力モード

文字入力画面

ダイヤルボタンの割り当て

文字入力中のダイヤルボタンには次の文字や記号などが割り当てられています。

- 文字入力モードまたは全角／半角の切り替えについて（☞P.3-2）
- 0～9 を長押し（1 秒以上）すると、文字入力モードにかかわらず、そのボタンの数字が半角で入力されます。（漢字・ひらがなモードでは確定していない文字がない状態で行ってください。）ただし、半角数字モードで 0 を長押し（1 秒以上）すると「+」が入力されます。

ボタン	文字入力モード				
	漢字・ひらがな [全角]	カタカナ [全角／半角]	英字 [全角／半角]	数字 [全角／半角]	
1	あいうえおぁぃぅぇぉ1	アイウエオァィゥェォ1	. - @ _ / : ~ 1	1	
2	かきくけこ2	カキクケコ2	a b c A B C 2	2	
3	さしすせそ3	サシスセソ3	d e f D E F 3	3	
4	たちつてとっ4	タチツテトッ4	g h i G H I 4	4	
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	j k l J K L 5	5	
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	m n o M N O 6	6	
7	まみむめも7	マミムメモ7	p q r s P Q R S 7	7	
8	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8	t u v T U V 8	8	
9	らりるれろ9	ラリルレロ9	w x y z W X Y Z 9	9	
0	わをんゎー（半角スペース）0	ワヲンヮ※1ー（半角スペース）0	（半角スペース）0	0 【長押し】+※2	

※ 1「ヮ」は全角カタカナモードでのみ入力できます。
※ 2「+」は半角数字モードでのみ入力できます。

ボタン	文字入力モード			
	漢字・ひらがな ［全角］	カタカナ ［全角／半角］	英字 ［全角／半角］	数字 ［全角／半角］
	゛ ゜ 記号一覧／絵文字一覧	゛ ゜	記号一覧※3／絵文字一覧	＊
	【長押し】定型文一覧		【長押し】メールアドレス／URL 一覧※4	
	、。・！？		，！？￥＆（）＊＃”’＝ ＾＋；	＃-，！？￥＆（）”’＝ ＾＋；
	文字入力モード切替			
		【長押し】全角／半角切替		
	改行／逆順表示※5			改行
	大文字／小文字切替※6			
	カーソルが文中の場合、カーソル後 1 文字消去／カーソルが文末の場合、カーソル前 1 文字消去			
	【長押し】カーソルが文頭・文中の場合、カーソル後全消去／カーソルが文末の場合、全消去			

※ 3 半角英字モードでは半角の記号一覧（半角 1、半角 2）から先に表示されます。
※ 4 メールアドレスや URL の一部が表示されます。
※ 5 カーソルが当たっている文字を逆順に表示します。（例：「え」にカーソルが当たっている場合、「え」→「う」→「い」→「あ」…）
※ 6 カーソルが当たっている文字を大文字／小文字に切り替えます。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

例：「ネコの鈴」と入力する

1 文字の入力画面で 文字 (1 回)

半角カタカナモードに切り替わります。

- 全角カタカナを入力する場合：文字 (1 秒以上)

2 5 な JKL (4 回) ➜ 2 か ABC (5 回)

「ネコ」と入力されます。

3 文字 (3 回)

漢字・ひらがなモードに切り替わります。

4 5 な JKL (5 回) ➜ ●

「の」と入力されます。

5 3 さ DEF (3 回) ➜ ◯ でカーソルを移動する※ ➜ 3 さ DEF (3 回) ➜ ✱ 記号/絵 (1 回)

「すず」と入力されます。

※ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、カーソルを移動させます。

6 ◯ ➜ ◯ で「鈴」を選択 ➜ ●

「鈴」と入力されます。

漢字・ひらがな変換候補について

漢字・ひらがな変換時に表示される候補には、**全候補**、**通常変換候補**、**関係予測候補**があります。詳しくは P.3-9 を参照してください。

文字を逆順で表示するには

カーソルの当たっている文字を、割り当て表（☞P.3-3）とは逆順に表示できます。

例）「え」にカーソルが当たっているときに 📷 を押すと、「え」➜「う」➜「い」➜「あ」…

3

文字の入力方法

小文字（っ、ッなど）を入力する

例）「っ」を入力する

手順	1	2
ボタン	4 (3 回)	A/a
表示	つ	っ

● 入力を確認したら で確定してください。

● 小文字のある行のボタンを押し続けると大文字に続いて小文字も表示されます。

濁点（゛）／半濁点（゜）を入力する

例）「ば」または「ぱ」を入力する

手順	1	2	3	4
ボタン	6	*	*	*
表示	は	ば	ぱ	は

● 入力を確認したら で確定してください。

● 半角カタカナモードのときは濁点／半濁点が半角で入力されます。

改行を入力する

1 改行したい位置で

スペースを入力する

文末に半角スペースを入れる	
文中に半角スペースを入れる	半角スペースが表示されるまで 0 を押す※1 → で確定

※1 0 を押す回数は入力モードによって違います。

● 記号一覧を利用して、全角スペース（全角 1）または半角スペース（半角 1）を入れることもできます。（☞P.3-7）

● 英字モードで文中に半角スペースを入れた場合は、 で確定するか、続けて文字を入力してください。

● 数字モードでは文中にはスペースを入力できません。

英数字を入力する

英字モードまたは数字モードで、全角または半角での入力ができます。

● 文字入力モードまたは全角／半角の切り替えについて（☞P.3-2）

例）英字モードで「Call」を入力する

手順	1	2	3	4	5	6
ボタン	2 (3 回)	A/a	2	5 (3 回)	※2	5 (3 回)
表示	c	C	Ca	Cal	Cal	Call

※2 英字モードで同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、 で前の一文字を確定してから次の文字を入力します。

記号／絵文字を入力する

- 絵文字を入力したメールや SMS などを送信した場合、絵文字非対応のソフトバンク携帯電話や E メールでは表示されません。

1 漢字・ひらがなモードまたは英字モードで［記号/絵］

記号一覧が表示されます。

［記号/絵］を押すたびに記号一覧と絵文字一覧が切り替わります。

これまでに入力した記号／絵文字がある場合はそれぞれの履歴一覧がまず表示されます。

2 ［メール］で一覧を選択 → ［十字キー］で記号を選択 → ［決定］

- 記号一覧：記号履歴、全角 1 ～ 13、半角 1、2（☞P.19-21）
- 絵文字一覧：絵文字履歴、絵 1 ～ 16（☞P.19-22）
- ［文字］／［カメラ］で一覧を前後に切り替えることもできます。

3 入力が終わったら、［Y!］**[閉じる]** で一覧を閉じる

記号／絵文字の入力履歴がある場合の一覧画面

14:04 件名 漢全 253 わたし 記号履歴 1/16 &@★ 全角1 閉じる

［記号/絵］

14:06 件名 漢全 253 わたし 絵文字履歴 1/17 絵1 閉じる

［メール］または［文字］ ［カメラ］

14:08 件名 漢全 253 わたし 全角1 2/16 全角2 閉じる

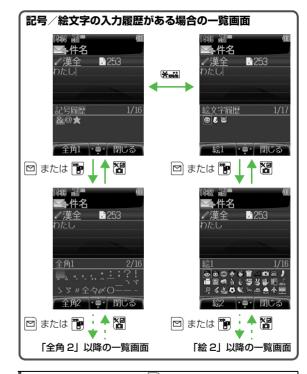
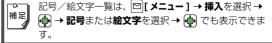
14:02 件名 漢全 253 わたし 絵1 1/16 絵2 閉じる

［メール］または［文字］ ［カメラ］

「全角 2」以降の一覧画面

「絵 2」以降の一覧画面

補足

記号／絵文字一覧は、［メール］**[メニュー]** → **挿入**を選択 → ［決定］ → **記号**または**絵文字**を選択 → ［決定］ でも表示できます。

メールアドレス／URL の一部を簡単に入力する

メールアドレス／URL 一覧から選ぶだけで、下記のメールアドレスや URL の一部を簡単に入力できます。

.ne.jp	.or.jp	http://www.
.co.jp	.com	https://www.

1 英字モードで [＊記号/絵]（1 秒以上）

メールアドレス／URL 一覧が表示されます。

2 メールアドレス／URL の一部を選択 → [●]

全角／半角モードにかかわらず、半角で入力されます。

定型文を利用する

あらかじめ登録されている定型文を利用できます。

1 漢字・ひらがなモードまたは全角／半角カタカナモードで [＊記号/絵]（1 秒以上）

- 定型文一覧が表示されます。

2 利用したい定型文を選択 → [●]

- 定型文一覧は、[✉]**［メニュー］** → **挿入**を選択 → [●] → **定型文**を選択 → [●] でも表示できます。
- よく使用する文章は定型文に登録できます。
（☞P.10-18）

区点コードで入力する

4 桁の区点コードで漢字を入力できます。

1 文字の入力画面で [✉]**［メニュー］** → **入力オプション**を選択 → [●]

2 **区点入力**を選択 → [●] → 区点コード（4 桁 ☞P.19-13）を入力 → [●]

アドレス帳／オーナー情報の内容を利用して入力する

アドレス帳やオーナー情報に登録している電話番号などを、作成中の文章に挿入できます。

- 利用できる項目は「名前（姓／名）」、「電話番号 1 ～ 3」、「E メールアドレス 1 ～ 3」、「住所」、「メモ」です。

1 文字の入力画面で [✉]**［メニュー］** → **挿入**を選択 → [●] → **アドレス帳データ**または**オーナー情報**を選択 → [●]

- **オーナー情報**を選択した場合は手順 3 へ。

2 利用したいアドレス帳の登録を選択 → [●]

3 利用したい項目を選択 → [●]

文字の変換機能

予測変換を利用する

下記の候補リストが、文字の変換中または確定後に表示されます。

変換中に表示	全候補	入力した文字で始まると予測される候補（予測候補）と完全一致した候補（通常変換候補）の混在リスト 予測候補の例）「わ」→「私は」「わかった」等 通常変換候補の例）「わ」→「和」「輪」等
	通常変換候補	入力した文字と完全一致した候補リスト 例）「わ」→「和」「輪」等
確定後に表示	関係予測候補	文字確定後に予測される候補リスト 例）「私」で確定した場合、それに続くと予測される「です」「の」「は」等

- 候補リストの順番は常に変化します。
- 全候補リストと通常変換候補リストは [全候補]／[通常] で切り替えられます。
- 予測変換で学習した履歴の内容はリセットできます。（☞P.3-10）
- 関係予測候補リストを表示しないように設定できます。（☞P.3-10）

予測変換を利用して入力する

例）「私の飴」と入力する

1 漢字・ひらがなモードで [わをん]

「わ」が入力され、全候補リストが表示されます。

2 で全候補リストの「私」を選択 →

「私」が入力され、関係予測候補リストが表示されます。

3 で関係予測候補リストの「の」を選択 →

「の」が入力され、関係予測候補リストが表示されます。

4 [1] → [7]（4 回）

「あめ」が入力され、全候補リストが表示されます。

5 **[通常]**

通常変換候補リストが表示されます。

6 で通常変換候補リストの「飴」を選択→

目的の漢字に変換されないときは

でひらがなに戻り、文字の区切りを変更して変換し直します。

例）「はるか」を「はる」と「か」で区切って「春香」に変換する場合

① 「る」にカーソルを移動して「はる」を「春」に変換→

② 「か」を「香」に変換→

一度入力した文字を利用するには

一度入力した文字は、最初の 1 ～ 2 文字を入力すると候補リストに表示されます。

漢字・ひらがなモードのままで英数字に変換するには

ひらがなを入力して を押すと全候補リストが最後から表示されます。

例）「a」を入力する場合、 → で全候補リストを表示→ で「a」を選択→

学習履歴をリセットする

予測変換で学習した内容をすべて消去します。

1 文字の入力画面で **[メニュー]** → **入力オプション**を選択→

2 **学習履歴リセット**を選択→

3 確認画面で **[YES]**

4 操作用暗証番号（4 桁）を入力→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

関係予測候補リストの表示設定

【お買い上げ時】ON

1 文字の入力画面で **[メニュー]** → **入力オプション**を選択→

2 **関係候補表示**を選択→ → **ON** または **OFF** を選択→

よく使う言葉を登録する（ユーザー辞書）

ユーザー辞書には、特殊な読みかたの漢字やよく使う略語などを最大 100 語登録できます。登録した語句を呼び出すには、文字の入力画面でユーザー辞書に登録した読みを入力し、変換します。

ユーザー辞書に登録する

1 文字の入力画面で [メニュー] → **入力オプション**を選択 →

2 **ユーザー辞書**を選択 →

3 [新規登録]

- すでに登録した語句がある場合： [メニュー] → **新規登録**を選択 →

4 単語を入力 →

- 最大 20 文字まで、記号や絵文字も入力できます。

5 読みを入力 →

- 全角ひらがなで最大 10 文字まで入力できます。

登録した語句を編集／削除する

1 文字の入力画面で [メニュー] → **入力オプション**を選択 →

2 **ユーザー辞書**を選択 → → 編集／削除したい語句を選択 → [メニュー]

3 **編集する場合**

編集を選択 → → 単語を編集 → → 読みを編集 →

削除する場合

1件削除または**全件削除**を選択 → → 確認画面で

文字の編集

入力した文字を消去／修正する

1 **文中の文字を消去する場合**

消去したい文字の前にカーソルを移動 → クリア/メモ

カーソルの後ろの 1 文字を消去します。

- クリア/メモ を長押し（1 秒以上）すると、カーソルから後ろの文字をすべて消去します。

文末から文字を消去する場合

カーソルが文末にある状態で クリア/メモ

カーソルの前の 1 文字を消去します。

- クリア/メモ を長押し（1 秒以上）すると、カーソルから前の文字をすべて消去します。

2 正しい文字を入力

コピー／切り取り／貼り付けをする

範囲を指定した文字列を、コピーまたは切り取って、他の場所へ貼り付けることができます。

1 文字の入力画面で ✉ **[メニュー]** → **コピー**または**切り取り**を選択 → ●

2 コピーまたは切り取りを行いたい文字列の先頭（最後）へカーソルを移動 → ● → コピーまたは切り取りを行いたい文字列の最後（先頭）へカーソルを移動 → ●

3 貼り付ける位置へカーソルを移動して、✉ **[メニュー]** → **貼り付け**を選択 → ●

アドレス帳

アドレス帳の便利な機能

よく電話をかけたり、メールや SMS をやりとりする相手の名前や電話番号、メールアドレスなどをアドレス帳に登録しておくと、簡単な操作で発信や送信ができます。

電話番号やメールアドレスの他にも、誕生日や住所など、たくさんの情報が登録できます。

● 赤外線通信（☞P.11-2）や Bluetooth® 通信（☞P.11-4）を利用して、他の機器との間で、アドレス帳のやりとりができます。

サービスダイヤルを利用する

対応している USIM カードを取り付けているとき、あらかじめ USIM カードに登録されているサービスダイヤル番号に発信することにより、各種サービスを利用できます。

メインメニューから アドレス帳 ▶ サービスダイヤル
▶ サービスを選択

● サービスの内容については、各サービス提供事業者にお問い合わせください。

登録した相手の着信音や画像表示を個別に設定でき、だれからの着信かすぐにわかります。

アドレス帳をグループごとに管理できます。

大切なデータを失わないために

アドレス帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化することがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なアドレス帳などは、控えをとっておくことをおすすめします。なお、アドレス帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アドレス帳の登録

アドレス帳に登録できる項目

706P には、本体のメモリに登録する本体アドレス帳と、USIM カードのメモリに登録する USIM アドレス帳があります。

- 本体アドレス帳には最大 500 件の登録ができます。USIM アドレス帳に登録できる件数は USIM カードによって異なります。
- アドレス帳 1 件に登録できる項目は、登録先（本体／ USIM カード）によって異なります。

項目	内容	本体	USIM カード
名前（姓）／（名）	姓・名を登録します。USIM アドレス帳には**姓名**に姓と名の両方を入力します。	○	○
ヨミガナ	名前を入力すると自動的にヨミガナが登録されます。編集もできます。登録されたヨミガナをヨミガナ検索に使用します。	○	○
電話番号	電話番号を登録します。	○（最大 3 件）	○（最大 2 件）
E メールアドレス	E メールアドレスを登録します。	○（最大 3 件）	○（1 件）
誕生日	生年月日を登録します。	○	−
住所	郵便番号、国名、都道府県、市区町村、番地、付加情報を登録します。	○	−
メモ	個人情報などのメモを登録します。	○	−
音声着信音	登録した相手からの音声電話の着信音を設定します。	○	−
TV コール着信音	登録した相手からの TV コールの着信音を設定します。	○	−
メール着信音	登録した相手からのメール／ SMS の着信音を設定します。	○	−
イルミネーション	登録した相手からの電話やメール／ SMS をお知らせするイルミネーションを設定します。	○	−
画像	静止画を登録します。登録した相手から電話がかかると、着信画面に静止画が表示されます。 ● 他の機能を操作しているときなどは、設定した静止画が表示されない場合があります。	○	−
グループ	グループに登録します。アドレス帳から相手を呼び出すときに、グループ単位で検索できます。グループの名前は変更できます。（☞P.4-7）	○	○
シークレット	登録した相手をアドレス帳に表示するかどうかを設定します。**表示しない**に設定している場合は、シークレットモード設定を **ON** にしたときだけ、アドレス帳に表示されます。（☞P.12-6）	○	−

アドレス帳に登録する

本体アドレス帳に登録する

メインメニューから アドレス帳 ▶ 新規登録

1 項目を選択 →

2 次の各項目の操作を行う

	名前（姓）※1	姓を入力（最大 12 文字）※2 →
	名前（名）※1	名を入力（最大 12 文字）※2 →
	ヨミガナ	姓や名を入力すると自動的に登録されます。（最大 12 文字）変更する場合は、修正 →
	電話番号 1 ～ 3 ※1	電話番号を入力（最大 40 桁）※3 →
	E メールアドレス 1 ～ 3※1	E メールアドレス（最大 48 文字）を入力 →
	誕生日	生年月日を入力 →
	住所	**郵便番号**、**国名**、**都道府県**、**市区町村**、**番地**または**付加情報**を選択 → → それぞれの必要事項を入力 → → 住所以外の登録に移る場合は [OK]
	メモ	メモを入力（最大 32 文字）→
	音声着信音	**通常設定連動**※4 を選択 → または **着うた・メロディ**または **ミュージック**を選択 → → ファイルを選択 → [決定]
	TV コール着信音	
	メール着信音	
	イルミネーション	**通常設定連動**※5 または色を選択 →
	画像	静止画を選択 →
	グループ	グループを選択 →
	シークレット	**表示する**または**表示しない**を選択 →

※ 1 いずれかを入力しないとアドレス帳に保存できません。
※ 2 半角英数字のみの場合は最大 25 文字
※ 3「+（国際コード）」を含めた場合は最大 41 桁
※ 4 通常の着信音の設定（☞P.7-7）に従います。
※ 5 通常のイルミネーション設定（☞P.8-2）に従います。

3 必要事項の入力が終了したら、[**保存**]

USIM アドレス帳に登録する

● まず登録先メモリを **USIM** または**毎回確認**に設定してから行ってください。（☞P.4-11）

メインメニューから アドレス帳 ▶ 新規登録（▶ USIM）

1 項目を選択 →

2 次の各項目の操作を行う

	姓名※1	名前を入力（最大 12 文字）※2 →
	ヨミガナ	姓名を入力すると自動的に登録されます。（最大 12 文字）変更する場合は、修正 →
	電話番号 1※1～2	電話番号を入力（最大 40 桁）※3 →
	E メールアドレス※1	E メールアドレス（最大 48 文字）を入力 →
	グループ	グループを選択 →

※ 1 いずれかを入力しないとアドレス帳に保存できません。
※ 2 半角英数字のみの場合は最大 25 文字
※ 3「+（国際コード）」を含めた場合は最大 41 桁（ご利用の USIM カードによっては最大 20 桁、「+」を含めた場合は最大 21 桁となることがあります。）

3 必要事項の入力が終了したら、**[保存]**

緊急電話番号（110 ／ 119 ／ 118）はアドレス帳に登録できません。

通話履歴の電話番号を登録する

全通話履歴や発信履歴、不在着信履歴、着信履歴の電話番号をアドレス帳に登録できます。

1 待受画面で A/a → で履歴の種類を選択

2 履歴を選択 → **[メニュー]** → **アドレス帳へ登録**を選択 →

3 **新規登録する場合**

新規登録を選択 → → 他の必要項目を入力

登録済みのアドレス帳に追加登録する場合

相手のアドレス帳を選択 →

● すでに電話番号が最大件数まで登録されている場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは → 上書きする番号を選択 →

4 **[保存]**

受信メール／ SMS の電話番号／メールアドレスを登録する

メール／ SMS を受信した相手の電話番号やメールアドレスをアドレス帳に登録できます。

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1. フォルダを選択 → [center]
2. メール／ SMS を選択 → [mail] **[メニュー]** → **送信元をアドレス帳へ登録**を選択 → [center]
3. **新規登録する場合**
   新規登録を選択 → [center] → 他の必要項目を入力
   登録済みのアドレス帳に追加登録する場合
   相手のアドレス帳を選択 → [center]
   - 登録項目がいっぱいの場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは [center] → 複数の項目がある場合は、上書きする項目を選択 → [center]
4. [mail] **[保存]**

アドレス帳の登録状況を確認する

本体と USIM カードのアドレス帳に登録できる件数（合計）と登録されている件数（使用中）を表示します。

メインメニューから アドレス帳 ▶ アドレス帳管理 ▶ メモリ容量確認

例）

4 アドレス帳

グループ設定

アドレス帳のグループ名を変更します。

- メモリ切替（☞P.4-11）で設定されているメモリのグループが表示されます。
- アドレス帳の登録時にグループを選択すると、グループに登録されます。（☞P.4-4）
  グループを選択しなかった場合は、自動的に**グループ未設定**に登録されます。

グループ名を変更する

- **グループ未設定**の名称は変更できません。

メインメニューから アドレス帳 ▶ グループ設定

1 グループを選択 → ✉**[名称変更]**

- メモリ切替設定が**本体と USIM** の場合（☞P.4-11）：
  グループを選択 → ✉**[メニュー]** → **名称変更**を選択 → ●

2 グループ名を入力 → ●

グループ／グループメンバーを確認する

メインメニューから アドレス帳 ▶ グループ設定

1 グループメンバーを確認するには、グループを選択 → ●

本体と USIM カードのグループ表示を切り替える

メモリ切替設定が**本体と USIM** の場合（☞P.4-11）、次の操作で表示を切り替えられます。
✉**[メニュー]** → **グループ（本体）**または**グループ（USIM）**を選択 → ●

アドレス帳の利用

アドレス帳から電話をかける

お買い上げ時の設定でアドレス帳を呼び出すと、本体アドレス帳があかさたな検索の画面で表示されます。

- アドレス帳表示を切り替えるには（☞P.4-11）
- 検索方法を変更するには（☞P.4-9）

1 待受画面で

2 で相手のヨミガナの行を選択

3 相手を選択→

4 電話番号を選択→

TV コールまたは国際電話をかけるには

手順 4 で電話番号を選択後、[**メニュー**] → **発信**を選択 → → **TV コール**または**国際発信**を選択 → (→ 国際電話の場合は国を選択 →) →

電話番号の通知／非通知を選択してから電話をかけるには

手順 4 で電話番号を選択後、[**メニュー**] → **発信**を選択 → → **番号通知**または**番号非通知**を選択 → → [**メニュー**] → **発信**を選択 → → **音声**または **TV コール**を選択 →

4
アドレス帳

アドレス帳の検索方法

【お買い上げ時】あかさたな

アドレス帳は３つの方法（あかさたな別、ヨミガナ入力、グループ別）で検索できます。

メインメニューから アドレス帳 ▶ アドレス帳設定 ▶ 検索方法

1 **あかさたな**、**ヨミガナ**または**グループ**を選択 → [ボタン]

ヨミガナ検索でアドレス帳を呼び出す

待受画面で [ボタン] → 登録されているヨミガナを入力 → 相手を選択

- 入力した文字で始まるアドレス帳が選択されます。

グループ検索でアドレス帳を呼び出す

待受画面で [ボタン] → グループを選択 → [ボタン] → 相手を選択

- グループの名前は変更できます。（☞P.4-7）

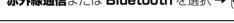
アドレス帳データを送信する

アドレス帳のデータを、赤外線通信や Bluetooth® 通信を利用して、各通信の対応機器（パソコンや携帯電話など）に送信できます。

- 赤外線通信について（☞P.11-2）
- Bluetooth® 通信について（☞P.11-4）

1 [センターキー] → 送信したいアドレス帳の登録を選択

2 [メールキー] **[メニュー]** → **送信**を選択 → [センターキー]

3 **赤外線通信**または **Bluetooth** を選択 → [センターキー]

補足：着信音やイルミネーション、画像、グループ、シークレットなどの設定内容は送信できません。

スピードダイヤルを利用して電話をかける

ダイヤルボタン（[1] ～ [9]）にアドレス帳の電話番号を割り当てると、すばやく電話がかけられます。

- [1] には、あらかじめ留守番電話センターへ接続する番号が登録されています。変更はできません。
- 直接番号を入力して登録することもできます。

スピードダイヤルに登録する

メインメニューから アドレス帳 ▶ アドレス帳設定 ▶ スピードダイヤル設定

1 ボタン（2 ～ 9）を選択 → [メールキー] **[アドレス帳]** → アドレス帳の登録を選択 → [センターキー] → 電話番号を選択 → [センターキー]

- 直接番号を入力する場合：ボタンを選択 → [センターキー] → 番号を入力 → [センターキー]

スピードダイヤルで電話をかける

1 待受画面で [1] ～ [9] （1 秒以上）

登録されていないボタンを押した場合は、登録画面が表示されます。

アドレス帳の設定

アドレス帳の表示を切り替える（メモリ切替）

【お買い上げ時】本体

本体と USIM のどちらのアドレス帳を呼び出すかを設定します。

メインメニューから アドレス帳 ▶ アドレス帳設定 ▶ メモリ切替

1 **本体**、**USIM** または**本体と USIM** を選択 →

- **本体と USIM** を選択すると、両方のアドレス帳が同時に表示されます。
- **本体**または **USIM** を選択すると、登録先メモリ（☞右記）の設定によっては、登録先メモリも同様に変更するかどうかの確認画面が表示されます。

アドレス帳の登録先を設定する（登録先メモリ）

【お買い上げ時】本体

アドレス帳を新規登録するときの登録先を設定します。

メインメニューから アドレス帳 ▶ アドレス帳設定 ▶ 登録先メモリ

1 **本体**、**USIM** または**毎回確認**を選択 →

- **毎回確認**を選択すると、登録するたびに登録先を指定できます。

アドレス帳の編集

アドレス帳を修正する

1 待受画面で ◎ → 修正したいアドレス帳の登録を選択

2 ✉ **[メニュー]** → **編集**を選択 → ◎

3 項目を選択 → ◎ → 修正する → ◎

- 続けて他の項目を修正するときは、この手順を繰返します。

4 ✉ **[保存]**

上書き保存されます。

誕生日／画像を削除するときは
手順 3 で誕生日または画像の項目を選択後、✉ **[メニュー]** → **削除**を選択 → ◎
住所の全項目を削除するときは
手順 3 で住所の項目を選択後、✉ **[メニュー]** → **全項目をクリア**を選択 → ◎

アドレス帳を削除する

1 件ずつ削除する

1 待受画面で ◎ → 削除したいアドレス帳の登録を選択

2 ✉ **[メニュー]** → **サブ機能**を選択 → ◎

3 **削除**を選択 → ◎ → 確認画面で ◎

全件削除する

メインメニューから **アドレス帳** ▶ **アドレス帳管理** ▶ **本体全件削除**

1 確認画面で ✉ **[YES]** → 操作用暗証番号（4 桁）を入力 → ◎

- 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

4 アドレス帳

アドレス帳の内容をコピーする

本体とUSIMカードの間でアドレス帳を1件ずつまたは全件コピーできます。

- 本体とUSIMカードではアドレス帳に登録できる内容が異なるため、本体からUSIMカードにコピーできない項目は削除されます。

1件ずつコピーする

1. 待受画面で → コピーしたいアドレス帳の登録を選択

2. [**メニュー**] → **サブ機能**を選択 →

3. **USIMカードから本体にコピーする場合**
   本体へのコピーを選択 →
   本体からUSIMカードにコピーする場合
   USIMへのコピーを選択 →

全件コピーする

メインメニューから アドレス帳 ▶ アドレス帳管理

1. **USIMカードから本体にコピーする場合**
   本体への全件コピーを選択 → → 確認画面で
   本体からUSIMカードにコピーする場合
   USIMへの全件コピーを選択 → → 確認画面で

メモリカードにバックアップを作成する

本体からメモリカードへアドレス帳ファイルをバックアップできます。バックアップしたファイルは、メモリカードから本体に読み込むこともできます。

- 操作についてはP.10-22を参照してください。

メモリカードから本体に読み込む場合は、現在の本体アドレス帳は削除されますのでご注意ください。

オーナー情報

自分の電話番号、メールアドレス、住所などの情報をオーナー情報に登録できます。オーナー情報は、赤外線通信やBluetooth® 通信を利用して、各通信の対応機器（パソコンや携帯電話など）に送信できます。

オーナー情報を編集する

- 電話番号 1 は編集／削除できません。

メインメニューから アドレス帳 ▶ オーナー情報

1 **[メニュー]** → **編集**を選択 →

2 編集する → **[保存]**

電話番号 1 以外の項目を消去するには

手順 1 で **[メニュー]** → **リセット**を選択 → → 確認画面で

オーナー情報を送信する

- 赤外線通信について（☞P.11-2）
- Bluetooth® 通信について（☞P.11-4）

メインメニューから アドレス帳 ▶ オーナー情報

1 **[メニュー]** → **送信**を選択 →

2 **赤外線通信**または **Bluetooth** を選択 →

画像は送信できません。

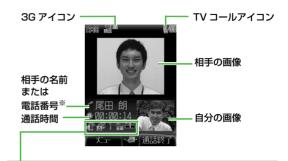
TV コールをご利用になる前に

TV コール対応機どうしで、お互いの画像を見ながら通話できます。

- 外側カメラを使って、風景などの画像を送信することもできます。

TV コールご利用時の注意

- TV コールは 3G サービスエリア内でのみ使用できます。3G サービスエリア内にいる場合は、「3G」が表示されます。
- 706P は国際標準の 3G-324M 規格に準拠しています。異なる方式の携帯電話と接続したときは、TV コール通話が切れることがあります。このときは、通話が切れるまでの通話料金が課金されます。
- スピーカーホンをご利用のときは、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。このときは、音量を下げて通話するか、ステレオイヤホンマイクのご利用をおすすめします。
- TV コール通話中は 706P の温度が上がりますが、故障ではありません。

TV コールのディスプレイ表示

設定／通話状態を表すアイコン

- 音声送受信中
- 音声送信成功／受信失敗
- 音声送信失敗／受信成功
- 音声送受信失敗
- 画像送受信中
- 画像送信成功／受信失敗
- 画像送信失敗／受信成功
- 画像送受信失敗
- 送話マイクが ON
- 送話マイクが OFF
- カメラ画像送信中
- 代替画像送信中
- - 送信画像のズームレベル（1 ～ 25）

※ ハンズフリー（Bluetooth®）通話中の場合は「」が表示されます。

TV コールをかける

まず確認！

待受画面で

- 電波状態を確認する。（☞P.1-12）
- 3G サービス圏内表示「3G」を確認する。
- 他の表示を確認する。
 「圏外」「 」「 」「 」
 → ご利用になれません。（☞P.19-10）

内側カメラ

スピーカー

1 市外局番から電話番号を入力する

2 電話番号を確認し、 を押す

相手が電話に出ると、内側カメラからの画像と相手の画像が表示されます。相手の声はスピーカーから聞こえます。

- TV コールのディスプレイ表示について（☞P.5-2）
- TV コール通話中の操作について（☞P.5-5）

3 通話が終わったら、 HLD を押す

話し中の相手にかけ直したいときは

もう一度 TV コールをするか音声発信に切り替えるかの選択画面が表示されます。どちらかを選択して を押してください。

補足

- アドレス帳（☞P.4-8）や通話履歴（☞P.2-12）を利用してかけることもできます。
- マナーモード設定中は、相手の声は受話口から聞こえます。スピーカーから聞こえるようにするには、スピーカーを ON にしてください。（☞P.5-5）
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間に TV コールをかけると、アドレス帳に相手の名前を登録していても電話番号で表示されます。この場合は、通話中も電話番号が継続して表示されます。

TV コールを受ける

TV コールがかかってくると

相手が電話番号を通知してきたときは、サブディスプレイとディスプレイに電話番号が表示されます。アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

1 [A/a] または [文字]

2 **相手に画像を送信する場合**

[✉] **[YES]**

内側カメラからの画像が相手に送信されます。

相手に画像を送信しない場合

[Y!] **[NO]**

代替画像が相手に送信されます。

3 通話が終わったら、[HLD]

すぐに電話に出られないときなどに、着信を保留にするには（応答保留）

TV コール着信中に [HLD] を押すと、保留状態になります。その間、相手の画像は表示されていますが、相手には保留を示す代替画像が送信されます。電話に出るには、[✉] **[応答]** を押してください。

着信を拒否するには

TV コール着信中に、[Y!] **[拒否]** を押します。

- 手順２で相手に送信する画像を選択しなかった場合は、代替画像が送信されます。
- マナーモード設定中は、相手の声は受話口から聞こえます。スピーカーから聞こえるようにするには、スピーカーを ON にしてください。（☞P.5-5）
- 電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間に TV コールを受けると、アドレス帳に相手の名前、着信音、イルミネーション、画像を登録していても、電話番号で表示され、着信音とイルミネーションは通常設定連動となり、画像は表示されません。この場合、通話中も電話番号が継続して表示されます。

TV コール通話中の操作

受話音量調節

【お買い上げ時】音量 4

相手の声の大きさを 6 段階（1 ～ 6）で調節します。

1 通話中に （大きくする）または （小さくする）

画面左下に設定音量が表示されます。

スピーカーの設定

スピーカーの ON ／ OFF を切り替えます。

- スピーカー OFF 時は、相手の声は受話口から聞こえます。

1 通話中に **[メニュー] → スピーカー ON** または**スピーカー OFF** を選択 →

Bluetooth® 対応機器でハンズフリー通話中は、次の操作で切り替えられます。
[メニュー] → Bluetooth へ切替、**本体（スピーカー ON）へ切替**または**本体（スピーカー OFF）へ切替**を選択 →

マイクの設定（送話ミュート）

相手に音声がすべて聞こえないようにします。

1 通話中に

送話音声の状態を示すアイコンが （送話ミュート）になります。

- 元に戻すには：もう一度

送信画像／音声設定

【お買い上げ時】カメラ画像

相手に送信する画像と音声の設定を変更します。

1 通話中に

2 項目を選択 →

カメラ画像	カメラからの画像を送信します。
代替画像	代替画像を送信します。
送話ミュート	カメラからの画像だけを送信し、音声は送信しません。
代替画像＆送話ミュート	代替画像を送信し、音声は送信しません。

カメラズーム

相手に送信する画像を拡大／縮小することができます。

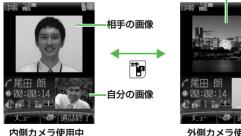
● ズームレベル：内側カメラ（１～３）／外側カメラ（１～２５）

1 通話中に（拡大する）または（縮小する）

カメラ切替

【お買い上げ時】内側カメラ

送信画像を撮影するカメラを切り替えます。

1 通話中に

内側カメラ使用中　外側カメラ使用中

画面切替

【お買い上げ時】相手画像大

TV コール中の画面表示を切り替えます。

1 通話中に **[メニュー]** → **画面切替**を選択 →

2 **相手画像大**または**自画像大**を選択 →

相手画像大

自画像大

ホワイトバランスの設定

【お買い上げ時】自動

相手に送信する画像の色合いを調節します。

1 通話中に **[メニュー]** → **設定**を選択 →

2 **ホワイトバランス**を選択 → → **自動**、**晴天**、**曇天**または**電球（白熱灯）**を選択 →

アドレス帳の確認

TV コール中にアドレス帳を呼び出せます。

- TV コール中に、アドレス帳からの発信、アドレス帳の登録／編集はできません。

1 通話中に [メニュー] → **アドレス帳**を選択 →

- アドレス帳について（☞P.4-1）

通話中のダイヤル入力（メモ機能）

通話中に電話番号などを一時的にメモすることができます。（最大 40 桁まで表示）
メモした内容は通話終了後に確認でき、電話番号の場合はそのメモを使って電話をかけられます。

- 使用可能なダイヤルボタンは 0～9、*、# です。

1 通話中に電話番号などを入力

入力した番号が画面左下に表示されます。

2 HLD で通話を終了

通話中に入力した電話番号などが表示されます。

3 **表示された番号に音声電話をかける場合**

表示された番号に TV コールをかける場合

TV コールの設定

送信画像／音声設定

【お買い上げ時】カメラ画像

相手に送信する画像と音声の設定を行います。

メインメニューから 設定 ▶ TV コール ▶ 画像／音声設定

1 項目を選択 →

カメラ画像	カメラからの画像を送信します。
代替画像	代替画像を送信します。 ● 代替画像は変更できます。（☞P.5-8）
送話ミュート	カメラからの画像だけを送信し、音声は送信しません。
代替画像&送話ミュート	代替画像を送信し、音声は送信しません。

通話中に設定する場合は、 を押すと選択項目が表示されます。[メニュー] → **画像／音声設定**を選択 → から設定することもできます。

バックライト設定

【お買い上げ時】明るさ：レベル 3
／バックライト点灯時間：常時点灯

TV コール中の画面の明るさと画面照明の点灯時間を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ TV コール ▶ バックライト設定

1 次のそれぞれの操作を行う

明るさの設定

明るさを選択 → → で**レベル 1 ～ 3** から選択 →

バックライト点灯時間の設定

バックライト点灯時間を選択 → → **常時点灯**、**通常設定連動**または**常時消灯**を選択 →

- **通常設定連動**は、通常のバックライト点灯時間の設定（☞P.7-6）に従います。

補足　通話中に設定する場合は、[**メニュー**] → **設定**を選択 → → **バックライト設定**を選択 → を行ってから、操作してください。

受信画質

【お買い上げ時】標準

通話中に受信する画像の画質を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ TV コール ▶ 受信画質

1 **標準**、**動き優先**または**画質優先**を選択 →
通話中に設定する場合は、[**メニュー**] → **設定**を選択 → → **受信画質**を選択 → を行ってから、操作してください。

代替画像設定

相手に送信する代替画像を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ TV コール ▶ 代替画像

1 ファイルを選択 → [**決定**]

カメラ

カメラをご利用になる前に

706P は 2 メガピクセル CMOS カメラを搭載し、静止画や動画の撮影ができます。撮影した画像はメールに添付したり壁紙などに使用できます。

画像データの保存形式 / 保存場所

撮影画像	保存形式	保存場所
静止画	JPEG (.jpg)	データフォルダのピクチャーフォルダ
動画	MPEG-4 (.3gp)	データフォルダのムービーフォルダ

- メモリカードに直接保存することもできます。（保存先設定 ☞P.6-12）
- データフォルダのメモリの使用状況を確認するときは、P.10-5 を参照してください。

カメラご利用時の注意

- レンズが指紋や油脂などで汚れているとピントが合わなくなります。汚れたら柔らかい布できれいにふいてください。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。706P が動かないようにしっかり持って撮影してください。
- 706P を暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- カメラ起動中はイルミネーションが点滅します。点滅は消せません。

カメラ撮影中の撮影音について

- マナーモードやその他のモード設定にかかわらず、撮影時は音（シャッター音やセルフタイマー音）が鳴ります。音量は変更できません。
- 静止画撮影時のシャッター音のパターンは変更できます。（☞P.6-12）

カメラ利用時の着信／アラーム動作／電池残量不足について

- 電池残量が不足していると、カメラは起動できません。
- カメラ起動時に着信やアラーム動作があった場合、または電池残量が不足すると、カメラは終了します。撮影後（保存前）に終了した場合、撮影した静止画／動画データは保存されます。動画撮影中に終了した場合、カメラ終了までの動画データは保存されます。

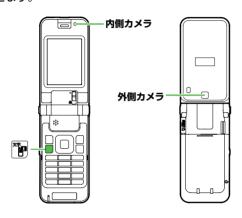
カメラの自動終了について

- 静止画撮影画面または動画撮影画面で、撮影前または撮影直後の画面のままで約 3 分間何も操作しないと、自動的に終了し、カメラを起動する前の画面へ戻ります。

カメラについて

706P では内側カメラでも撮影できます。

文字 を押すと内側カメラと外側カメラを切り替えて使用できます。

補足

- 内側カメラと外側カメラを同時に使用することはできません。
- [**メニュー**] → **内側**／**外側カメラ切替**を選択 → ● で切り替えることもできます。

機能の簡単切替

撮影画面ではボタン操作で簡単に機能の切り替えができます。

- 0 を押すと、ボタン操作のヘルプ画面が表示されます。

ボタン	静止画モード	動画モード
▲	ズームイン	
▼	ズームアウト	
◀▶	ビデオカメラに切替	カメラに切替
●	シャッター	録画開始
1	保存先設定	
2	ピクチャーサイズ	録画時間設定
3	画質設定	
4	連写モード	-
5	セルフタイマー	
6	ナイトモード	-
7	効果	
8	ホワイトバランス	
0	ヘルプ	
*	暗く	
#	明るく	
文字	内側 / 外側カメラ切替	
長押し	フォトライト	

6 カメラ

メインメニューから カメラ ▶ カメラタブ

静止画撮影画面とボタン操作

動画撮影画面とボタン操作

● 設定の変更は撮影前に行ってください。

静止画の撮影

静止画撮影モード

各種撮影方法や画像の設定など目的に応じた設定を選んで撮影できます。

	ピクチャーサイズ（ドット数）	ズーム		画質	メール添付	ファイル形式	保存可能数
		レベル	最大倍率				
外側カメラ	UXGA (1600x1200)	1～2	約2.0倍	スーパーファイン／ファイン／ノーマル	可能（290KBまで）	JPEG形式(.jpg)※1	約400ファイル※2
	SXGA (1280x960)	1～3	約2.0倍				
	VGA (640x480)	1～25	約4.3倍				
	QVGA (320x240)	1～25	約6.0倍				
	QQVGA (160x120)	1～25	約9.7倍				
	壁紙 (240x320)	1～25	約3.0倍				
内側カメラ	CIF (352x288)	1～2	約2.0倍				
	QCIF (176x144)	1～3	約4.0倍				

※1 本体への保存時は「画像0001.jpg」、「画像0002.jpg」・・・と順にファイル名が付きます。
※2 お買い上げ時の状態（ピクチャーサイズ：QVGA／画質：ファイン）で撮影して、706P本体のピクチャーフォルダに保存できる最大の画像数です。

- 暗い場所で撮影するときは、ナイトモードを使用してください。（☞P.6-12）
- 撮影した静止画が保存されるピクチャーフォルダは、ムービー、着うた・メロディ、S!アプリなどの他のフォルダとメモリを共用しているため、他のデータの登録状況によっては保存できる画像数が少なくなります。
- メモリカードに保存できる画像数は、メモリカードの容量によって変動します。

静止画を撮影する

メインメニューから カメラ ▶ カメラタブ

まず確認！

- 画面にどちらのカメラからの画像が表示されているか確認する。（内側カメラ／外側カメラの切り替え：[文字]）
- 撮影方法の内容を確認／設定する。（☞P.6-4）

1 被写体を画面に表示する

2 [●]を押し、撮影する

3 うまく撮影できたら、[✉][保存] を押す

- 撮影をやり直すには：[Y!][削除]
- メールに添付するには（☞P.6-14）

4 カメラを終了するときは、[HLD] を押す

待受画面に戻ります。

補足

- 保存先を本体に設定している場合は、メモリがいっぱいになると自動的にメモリカードに保存されます。保存先をメモリカードに設定している場合は、メモリがいっぱいになると自動的に本体に保存されます。（☞P.6-12）本体とメモリカード両方のメモリがいっぱいのときは、保存時にデータフォルダが開きます。本体メモリの不要なファイルを削除すると自動的に新しいファイルが保存されます。
- 撮影後、静止画を自動的に保存するように設定できます。（自動保存 ☞P.6-12）

動画の撮影

動画撮影モード

長時間の動画やメール添付用の短い動画を、用途に応じて撮影できます。

		録画時間		画質（ドット数）	ズーム		ファイル形式	保存可能数
		本体	メモリカード		レベル	最大倍率		
外側カメラ	メール添付用	約 30 秒	約 30 秒	ノーマル（176x144）	1 ～ 25	約 7.9 倍	MPEG-4 (.3gp) ※ 1	約 40 ファイル※ 2
	長時間撮影	約 160 秒	約 60 分	ノーマル（176x144）	1 ～ 25	約 7.9 倍		
		約 85 秒	約 60 分	ファイン（176x144）	1 ～ 25	約 7.9 倍		
		約 30 秒	約 45 分	スーパーファイン（352x288）	1 ～ 25	約 3.4 倍		
内側カメラ	メール添付用	約 30 秒	約 30 秒	ノーマル（176x144）	1 ～ 3	約 4.0 倍		
	長時間撮影	約 160 秒	約 60 分	ノーマル（176x144）	1 ～ 3	約 4.0 倍		
		約 85 秒	約 60 分	ファイン（176x144）	1 ～ 3	約 4.0 倍		
		約 30 秒	約 45 分	スーパーファイン（352x288）	1 ～ 2	約 2.0 倍		

※ 1 本体への保存時は「ムービー 0001.3gp」、「ムービー 0002.3gp」・・・と順にファイル名が付きます。
※ 2 お買い上げ時の状態（外側カメラ／メール添付用）で撮影して、706P 本体のムービーフォルダに保存できる最大の画像数です。

- 動画を撮影するときは、なるべく明るい状態で撮影することをおすすめします。
- 撮影した動画が保存されるムービーフォルダは、ピクチャー、着うた・メロディ、S! アプリなどの他のフォルダとメモリを共用しているため、他のデータの登録状況によっては保存できる画像数が少なくなります。
- メモリカードに保存できる長時間撮影の録画時間は、メモリカードの容量によって変動します。

動画を撮影する

● ご利用前に電池残量（☞P.1-12）とメモリ容量（☞P.10-5）をご確認ください。電池残量が不足しているときは撮影できません。

メインメニューから カメラ ▶ ビデオカメラタブ

まず確認！

● 画面にどちらのカメラからの画像が表示されているか確認する。（内側カメラ／外側カメラの切り替え：[文字]）

● 撮影方法の内容を確認／設定する。（☞P.6-5）

1 被写体を画面に表示する

2 [●] を押し、撮影を開始する

3 撮影を終了するときは、[●] を押す

● 記録可能時間を超えると、撮影は自動的に終了します。

4 データフォルダへ保存を選択して [●] を押す

● 撮影をやり直すには：[Y!]［戻る］

● 撮影した動画を再生するには：**再生**を選択 ➜ [●]

● メールに添付するには（☞P.6-15）

5 ビデオカメラを終了するときは、[HLD] を押す

待受画面に戻ります。

● 撮影中はズームなどの撮影方法の変更はできません。

● 保存先をメモリカードに設定（☞P.6-12）している場合は、撮影後に動画を自動的に保存します。保存した動画は**削除**を選択 ➜ [●] で削除できます。

● 保存先を本体に設定している場合は、メモリがいっぱいになると自動的にメモリカードに保存されます。（☞P.6-12）本体とメモリカード両方のメモリがいっぱいのときは、保存時にデータフォルダが開きます。本体メモリの不要なファイルを削除すると自動的に新しいファイルが保存されます。

● 撮影後、動画を自動的に保存するように設定できます。（自動保存 ☞P.6-12）ただし、保存先をメモリカードに設定している場合は設定できません。

便利な撮影方法

連写で撮影する（静止画）

15 枚の静止画を連続して撮影できます。

- 画像サイズは、外側カメラの場合 **QVGA (320x240)**、内側カメラの場合 **QCIF (176x144)** に固定されます。
- 連写モードでシャッター（ ）を押すと、一定間隔で自動的に残りの回数分が撮影されます。
- 連写モードに設定するとナイトモードは **OFF** になります。

メインメニューから カメラ ▶ カメラタブ

1 [**メニュー**] → **連写モード**を選択 →

2 **ON** を選択 →

3 被写体を画面に表示 →

撮影した画像がサムネイルで表示されます。

- 撮影を中止するには：
  [**キャンセル**]

4 撮影した画像を確認するには、 で確認したい画像を選択 →

選択した画像が拡大表示されます。

- で拡大表示のまま、残りの画像が確認できます。

5 **すべての連写画像を保存する場合**

[**メニュー**] → **全画像保存**を選択 →

1 枚だけを保存する場合

で保存したい画像を選択 → [**メニュー**] → **この画像だけ保存**を選択 →

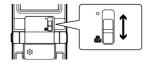
連写モードが OFF 状態の静止画撮影画面に戻ります。

6 カメラを終了するときは、

接写モードを使って撮影する（静止画／動画）

外側カメラでの撮影時、被写体まで約 8cm の距離で撮影します。

1 接写レバーを「 」の方向に動かす

- 接写終了後は接写レバーを「◦」の方向に戻してください。

セルフタイマーで撮影する（静止画／動画）

メインメニューから カメラ
▶ カメラタブまたはビデオカメラタブ

1 **[メニュー]** → **セルフタイマー**を選択 →

2 **5 秒**または **10 秒**を選択 →

3 被写体を画面に表示する →

5 秒または 10 秒後、静止画撮影モードでは撮影され、動画撮影モードでは録画が始まります。

● 動画の撮影を終了するには：

4 **静止画を保存する場合**

[保存]

動画を保存する場合

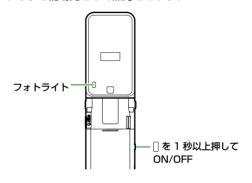
データフォルダへ保存を選択 →

5 カメラを終了するときは、

● タイマー動作中に **[キャンセル]** を押すと撮影画面に戻ります。タイマーは解除されません。

● タイマー動作中に着信やアラーム動作があると、撮影は中止されます。（タイマーは解除され、カメラを起動する前の画面に戻ります。）

フォトライトを使って撮影する（静止画／動画）

暗い場所などで外側カメラを使用して撮影するときに、フォトライトを補助光として点灯させせます。

フォトライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。

[メニュー] → **フォトライト**を選択 → → **ON** または **OFF** を選択 → でもフォトライトを利用できます。

画像／撮影に関する設定

静止画と動画の撮影方法や画像の設定など、目的に応じて変更できます。

● 設定の変更は撮影前に行ってください。簡単なボタン操作で切り替えられる機能もあります。（☞P.6-3）

項目	機能	お買い上げ時	
		静止画	動画
内側／外側カメラ切替	内側カメラ／外側カメラを切り替えます。（☞P.6-3）	**外側カメラ**	**外側カメラ**
ピクチャーサイズ	撮影する静止画のサイズを設定します。（☞P.6-6）	**QVGA(320x240)**	※
画質設定	画質を設定します。動画の場合は、録画時間の設定が**長時間撮影**の場合のみ変更できます。（☞P.6-8）	**ファイン**	**ノーマル (176x144)**
録画時間	動画の録画時間を設定します。（☞P.6-8）	※	**メール添付用**
フォトライト	暗い場所で撮影するときに利用します。（☞P.6-11）	**OFF**	**OFF**
ナイトモード	露光時間を長くして、夜間などの周囲が暗い状態でも撮影できます。	**OFF**	※
連写モード	15 枚の写真を連続して撮影できます。（☞P.6-10）	**OFF**	※
効果	画質の色調効果を選択します。	**ノーマル**	**ノーマル**
ホワイトバランス	天候や場所によって画像の発色を調整し、自然な色合いにします。	**自動**	**自動**
セルフタイマー	設定時間後に自動的に撮影できます。（☞P.6-11）	**OFF**	**OFF**
シャッター音	撮影時のシャッター音を選択できます。 ● 音量を変更したり、音が鳴らないようにすることはできません。	**パターン 1**	※
保存先設定	保存先（本体またはメモリカード）を選択します。	**本体**	**本体**
自動保存	撮影後、静止画や動画を自動的に保存するかどうかを設定します。	**OFF**	**OFF**
保存容量確認	現在の保存先（本体またはメモリカード）にあとどれくらい保存できるかの目安を確認できます。 静止画の場合は、指定したピクチャーサイズと画質で保存できるファイル数を表示します。動画の場合は、指定した録画時間（**長時間撮影**または**メール添付用**）と画質で保存できる時間の合計と、1 ファイルあたりの最大録画時間を表示します。	–	–

※ 設定できません。

項目	機能	お買い上げ時	
		静止画	動画
設定リセット	カメラとビデオの設定をお買い上げ時の状態にします。	−	−
ビデオカメラ／カメラに切替	撮影モードを切り替えます。	−	−
ヘルプ	撮影時に利用できるボタン操作を表示します。（機能の簡単切替 ☞P.6-3）	−	−

メインメニューから カメラ
▶ カメラタブまたはビデオカメラタブ

1 [**メニュー**] → 項目を選択 →

2 次のそれぞれの操作を行う

内側／外側カメラ切替	**外側カメラ**または**内側カメラ**を選択 →
ピクチャーサイズ	サイズを選択 →
画質設定	**スーパーファイン**、**ファイン**または**ノーマル**を選択 →
録画時間	**長時間撮影**または**メール添付用**を選択 →
フォトライト	**ON** または **OFF** を選択 →
ナイトモード	**ON** または **OFF** を選択 →
連写モード	☞P.6-10 手順 2 へ
効果	**ノーマル**、**セピア**、**白黒**または**ネガポジ**（外側カメラのみ）を選択 →
ホワイトバランス	**自動**、**晴天**、**曇天**または**電球（白熱灯）**を選択 →
セルフタイマー	☞P.6-11 手順 2 へ
シャッター音	**パターン 1 〜 5** から選択 →
保存先設定	**本体**または**メモリカード**を選択 →
自動保存	**ON** または **OFF** を選択 →
保存容量確認	で項目を選択 ● [**画質変更**] を押すと、**ノーマル**、**スーパーファイン**、**ファイン**の順に保存画質設定が変わります。（動画で**メール添付用**を選択した場合は変更できません。）
設定リセット	確認画面で
ビデオカメラ／カメラに切替	撮影モードが切り替わります。
ヘルプ	ボタン操作が表示されます。

撮影した画像の確認

撮影した静止画／動画を確認します。

メインメニューから データフォルダ

1 **静止画の場合**

ピクチャーを選択 →

動画の場合

ムービーを選択 →

2 画像を選択 →

選択した画像が表示されます。

例）ピクチャーフォルダ

メモリカードに保存されている静止画を確認するには

手順１のあとで、デジタルカメラフォルダ（　）を選択 → → PANA フォルダを選択 →

メモリカードに保存されている動画を確認するには

手順１のあとで、ビデオカメラフォルダ（　）を選択 → → PRL フォルダを選択 →

撮影後、保存された静止画は編集できます。編集方法はデータフォルダの静止画の編集（☞P.10-12）を参照してください。

静止画／動画をメールで送る

撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接メールに添付して送信できます。

- 撮影した静止画を保存したあとは、データフォルダからの操作でも送信できます。（☞P.10-11）

1 被写体を画面に表示 → →

メール作成画面が表示されます。

2 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する（☞P.15-6 手順１以降）

静止画のデータサイズが 290KB 以上の場合、メールに添付できません。添付できなかった場合はデータフォルダに保存されます。290KB 以下にリサイズすると（☞P.10-12）添付できます。

撮影した動画を添付する

撮影した動画を、撮影直後の画面から直接メールに添付して送信します。

- 録画時間が**メール添付用**に設定されていることを確認してください。（☞P.6-5）

1. 被写体を画面に表示 → ●
2. 撮影を終了するときはもう一度 ●
3. **メールに添付**を選択 → ●
4. 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する（☞P.15-6 手順 1 以降）

6
カメラ

ディスプレイ／音の設定

ディスプレイの設定

壁紙設定

【お買い上げ時】サークル .jpg

待受画面に表示する壁紙として、あらかじめ登録されている画像やカメラで撮影した静止画などを設定できます。

メインメニューから 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 壁紙

1 データフォルダ内の画像を選択 → **[決定]**

- 画像を拡大して見たい場合：画像を選択 →

著作権保護ファイルについて

- 著作権保護ファイルを壁紙に設定した場合、ファイルの有効期限が切れたり、設定時とは別の USIM カードを装着すると、お買い上げ時の設定に戻る場合があります。
- 使用可能回数に制限のある著作権保護ファイルは、壁紙に設定できません。

画像によっては、うまく表示されなかったり、設定できないこともあります。

時計表示設定

ふだんお使いの都市のホーム時計と世界各国の都市用の世界時計の設定ができます。また、日付／時刻の表示形式の設定もできます。

- 日付／時刻の設定について（☞P.1-23）

ホーム時計の設定

**【お買い上げ時】ホームエリア設定：東京
／サマータイム設定：OFF**

ふだんお使いの都市（ホームエリア）を設定します。サマータイムを ON にすると、設定したホームエリアの時刻が 1 時間進んだ状態で表示されます。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ ホーム時計設定

1 次のそれぞれの操作を行う

ホームエリア設定

ホームエリア設定を選択 → → 都市を選択 →

サマータイム設定

サマータイム設定を選択 → → **ON** または **OFF** を選択 →

海外時計の設定

【お買い上げ時】タイムゾーン：東京／サマータイム設定：OFF

ふだんお使いの都市以外の世界各国の都市（タイムゾーン）の時計を設定します。サマータイムを **ON** にすると、設定したタイムゾーンの時刻が 1 時間進んだ状態で表示されます。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ 海外時計設定

1 次のそれぞれの操作を行う

タイムゾーン設定

タイムゾーンを選択 → → 都市を選択 →
サマータイム設定

サマータイム設定を選択 → → **ON** または **OFF** を選択 →

表示する時計の選択

【お買い上げ時】ホーム時計設定

待受画面に表示する時計（ホーム時計／海外時計）を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ 表示時計選択

1 **ホーム時計設定**または**海外時計設定**を選択 →

日付／時刻の表示形式の設定

【お買い上げ時】時刻：24 時間表示
／日付：年／月／日

時刻の時間制（24 時間／ 12 時間）や日付の表示形式を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ 日時設定 ▶ 表示形式

1 次のそれぞれの操作を行う

時刻の表示形式設定

時刻を選択 → [決定] → **24 時間表示**または**12 時間表示**を選択 → [決定]

日付の表示形式設定

日付を選択 → [決定] → **年／月／日、月／日／年**または**日／月／年**を選択 → [決定]

メインメニューアイコン設定

メインメニュー画面の各アイコンや背景に、あらかじめ登録されている画像やカメラで撮影した静止画などを使用できます。

メインメニューのアイコンを個別に変更する

メインメニューから 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ メインメニューアイコン

1 アイコンを選択 → [決定]

2 データフォルダ内の画像を選択 → [✉]**[決定]**

- 画像を拡大して見たい場合：画像を選択 → [決定]
- 他のアイコンの設定をする場合は、手順 2 を繰返してください。

メインメニューの背景を変更する

メインメニューから **設定** ▶ **ディスプレイ設定** ▶ **メインメニューアイコン**

1 **[メニュー]** → **一括変更**を選択 →

2 データフォルダ内の画像を選択 → **[決定]**

● 画像を拡大して見たい場合：画像を選択 →

初期設定に戻す

メインメニューから **設定** ▶ **ディスプレイ設定** ▶ **メインメニューアイコン**

1 **[メニュー]** → **設定リセット**を選択 → → 確認画面で

配色パターンの設定

【お買い上げ時】Black

ディスプレイの配色パターンを設定します。

メインメニューから **設定** ▶ **ディスプレイ設定** ▶ **配色パターン**

1 **Black**、**White** または **Brown** を選択 →

ディスプレイの明るさの調節

【お買い上げ時】レベル 5

ディスプレイの照明の明るさを調節できます。

メインメニューから **設定** ▶ **ディスプレイ設定** ▶ **明るさ**

1 で明るさを調節（**レベル 1 ～ 5**）→

バックライト点灯時間の設定

【お買い上げ時】15 秒

ディスプレイのバックライトの点灯時間を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ バックライト点灯時間

1 **15 秒**、**30 秒**または **60 秒**を選択 →

事業者名表示設定

【お買い上げ時】表示設定：OFF ／表示位置：中央上

待受画面にご利用の通信事業者名を表示します。表示位置を設定することもできます。

メインメニューから 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 事業者名表示

1 次のそれぞれの操作を行う

表示設定

表示設定を選択 → → **ON** または **OFF** を選択 →

表示位置の設定

表示位置を選択 → → **中央上**、**左上**または**左下**を選択 →

英語表示に切り替える

【お買い上げ時】自動

画面の表示言語を日本語または英語に切り替えます。**自動**を選ぶと、USIM カードに設定されている言語が設定されます。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ Language

1 **自動**、**English** または**日本語**を選択 →

音の設定

着信音の設定

【お買い上げ時】音声着信、TV コール着信：ブザー .mmf ／メール着信：キラキラ .mmf

電話がかかってきたときやメール／ SMS を受信したときに鳴る着信音を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ メロディ選択 ▶ 音声着信、TV コール着信または**メール着信 ▶ 着うた・メロディ**または**ミュージック**

1 着信音を選択 → [決定]

- 着信音を聞く場合：着信音を選択 → で音量調節ができます。

- **著作権保護ファイルについて**
  - ・著作権保護ファイルを着信音に設定した場合、ファイルの有効期限が切れたり、設定時とは別の USIM カードを装着すると、お買い上げ時の設定に戻る場合があります。
  - ・使用可能回数に制限のある著作権保護ファイルは、着信音に設定できません。
- ファイルをダウンロードしているときや、ストリーミングしているときなどに音声着信があると、お買い上げ時の設定音が鳴ることがあります。

- ファイルによっては、着信音として設定できない場合があります。
- アドレス帳に登録されている相手ごとに着信音を設定できます。（☞P.4-4）

着信音量の設定

【お買い上げ時】レベル 3

電話がかかってきたときやメール／ SMS を受信したときに鳴る着信音の大きさを設定します。

- **サイレント**に設定すると、着信音は鳴りません。
- **エスカレーティングトーン**に設定すると、レベル 1 ～ 6 の順で約 3 秒ごとに音量が上がります。

メインメニューから 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ 着信音量 ▶ 音声着信、TV コール着信または**メール着信**

1 または で音量を調節（**サイレント**、**レベル 1 ～ 6**、**エスカレーティングトーン**）→

調整中は、確認のため音が鳴ります。

音声着信の音量を変更すると、ウェブの情報画面表示中の BGM などの音量も変更されます。ただし、音声着信を**エスカレーティングトーン**に設定している場合は、ウェブ情報画面表示中の音は**レベル 3** で鳴ります。

メール着信音鳴動時間の設定

【お買い上げ時】5 秒

メール／ SMS を受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ メール着信音鳴動時間

1 鳴動時間（1 ～ 99 秒）を入力 →

バイブレーションの設定

【お買い上げ時】OFF

電話やメール／ SMS を受信したときに、振動でお知らせします。

メインメニューから 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ バイブレーション

1 **ON** または **OFF** を選択 →

バイブレーションを **ON** に設定した 706P を机の上や滑りやすい場所などに置くと、着信したときに振動で落下することがあります。特に充電するときは、落下防止のためにも **OFF** にすることをおすすめします。

エラー音の設定

【お買い上げ時】ON

エラー時に音を出すかどうかを設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ エラー音

1 **ON** または **OFF** を選択 →

モード設定

使用する環境や状況に合ったモードに 706P を設定できます。各モードの設定内容はお好みに応じて変更できます。ただし、マナーモードの設定内容は変更できません。

■ 各モードのお買い上げ時の設定内容

設定内容		通常モード	マナーモード	ユーザーモード	アウトドアモード	運転中モード
		モードを設定していない通常の状態です。	音を出したくないときに設定します。	用途に応じた設定ができます。	野外などで音が聞こえにくいときに設定します。	運転中に音を出さないように設定します。
メロディ選択	音声着信／ TV コール着信	ブザー .mmf	–	ブザー .mmf	ブザー .mmf	ブザー .mmf
	メール着信	キラキラ .mmf	–	キラキラ .mmf	キラキラ .mmf	キラキラ .mmf
着信音量	音声着信／ TV コール着信／メール着信	レベル 3	サイレント	レベル 3	レベル 6	サイレント
キー確認音		サウンド 1	–	サウンド 1	サウンド 1	サウンド 1
キー確認音量		レベル 1	サイレント	レベル 1	レベル 6	サイレント
エラー音		ON	OFF	ON	ON	ON
バイブレーション		OFF	ON	OFF	ON	OFF

モードを切り替える

【お買い上げ時】通常モード

● 通常モード以外のモードに切り替えると、各モードのアイコンが表示されます。(☞P.1-13)

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ モード設定

1 モードを選択 → [決定キー]

モードを編集する

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ モード設定

例)アウトドアモードのバイブレーションをOFFにする場合

1 **アウトドアモード**を選択 → [メールキー][**メニュー**] → **編集**を選択 → [決定キー]

2 **バイブレーション**を選択 → [決定キー] → **OFF** を選択 → [決定キー]

7 ディスプレイ/音の設定

その他の設定

イルミネーション設定

下記の状況をお知らせするイルミネーションの色を設定できます。

項目	内容	お買い上げ時
音声着信	音声電話着信中に点滅します。	**マリンブルー**
TV コール着信	TV コール着信中に点滅します。	**マリンブルー**
メール着信	メール／ SMS 受信中に点滅します。	**ライム**
音声通話中	音声通話中に点滅します。	**スカイブルー**
フリップクローズ	706P を閉じたときに点滅します。	**バイオレット**
データ送受信中	データ送受信中に点滅します。	**ON（マリンブルー）**

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ イルミネーション

1 項目を選択 →

2 パターンを選択 →

選択中は、確認のためイルミネーションが点滅します。

- イルミネーションを点滅させない場合：**OFF** を選択 →

アドレス帳のイルミネーション（☞P.4-4）が設定されている場合は、アドレス帳の設定が優先されます。

ボタンの設定

キー確認音の設定

【お買い上げ時】キー確認音 ：サウンド 1
／キー確認音量 ：レベル 1

ボタンを押したときの確認音とその音量を設定できます。

メインメニューから 設定 ▶ 音・バイブ設定

1 次のそれぞれの操作を行う

キー確認音の設定

キー確認音を選択 → → 音の種類を選択 →
キー確認音量の設定

キー確認音量を選択 → → または で音量を調節（**サイレント**、**レベル 1 ～ 6**）→

- **サイレント**に設定すると、キー確認音は鳴りません。

キーバックライトの設定

【お買い上げ時】15 秒

ボタンを押したときの照明の点灯時間を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ キー設定 ▶ キーバックライト

1 **OFF** または照明時間を選択 →

- **OFF** に設定すると、ボタンの照明は点灯しません。

ショートカットボタンの設定

【お買い上げ時】Yahoo! ケータイメニュー

ナビゲーションボタンの上ナビボタンに、よく使う機能をショートカットとして登録できます。利用するときは、待受画面で を押します。

メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ キー設定 ▶ ショートカット（上ナビボタン）

1 機能を選択 →

ピクチャー、**着うた・メロディ**、**S! アプリ**、**ミュージック**、**ムービー**、**ブック**はデータフォルダ内の各フォルダへのショートカットとなります。

通話設定

応答ボタンの設定（エニーキーアンサー）

【お買い上げ時】OFF

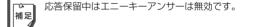
かかってきた電話に出るときの応答ボタンを設定します。

設定	応答できるボタン
ON	
OFF	

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ エニーキーアンサー

1 **ON** または **OFF** を選択 →

補足

応答保留中はエニーキーアンサーは無効です。

開く／閉じる動作の設定（オープン／クローズ設定）

オープン着信応答設定

【お買い上げ時】OFF

706Pを開くだけで、かかってきた電話に応答できます。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ オープン／クローズ設定 ▶ オープン着信応答

1. **ON**（応答する）または**OFF**（応答しない）を選択→

クローズ通話終了設定

【お買い上げ時】OFF

706Pを閉じるだけで、通話を終了できます。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ オープン／クローズ設定 ▶ クローズ通話終了

1. **ON**（終了する）または**OFF**（終了しない）を選択→

- クローズ通話終了設定を**ON**にしても、Bluetooth®通話中またはイヤホンマイク接続中は、706Pを閉じても通話を終了できません。
- クローズ通話終了設定が**ON**の場合、ウェブ閲覧中に706Pを閉じてもウェブは終了しません。

国際電話の設定

国際電話をかけるときに必要な国際コードと国番号を設定します。

- 日本国内から国際電話をかける（☞P.2-4）
- 海外で電話をかける（☞P.2-18）

国際コードの設定

【お買い上げ時】0046010

よく利用する国際コードを設定します。

- 待受画面で 0 を長押し（1秒以上）すると、設定した国際コードが自動的に入力され、「+」が表示されます。（「+」は国際コードを表す記号です。）

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 国際設定 ▶ 国際コード

1. 操作用暗証番号（4桁）を入力→
   - 操作用暗証番号について（☞P.1-26）
2. 国際コードを入力→

8 その他の設定

国番号リストの設定

あらかじめ登録されている国番号を編集したり、追加登録ができます。

- 国番号について詳しくは、「国際ローミングガイド」を参照してください。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 国際設定 ▶ 国番号リスト

1 次のそれぞれの操作を行う

国番号を編集する

国を選択 → → 国名を編集 → → 国番号を編集 →

国番号を追加する

[メニュー] → **追加**を選択 → → 国名を入力 → → 国番号を入力 →

国番号を削除する

国を選択 → **[メニュー]** → **削除**を選択 → → 確認画面で **[YES]**

自動応答の設定

【お買い上げ時】OFF

ステレオイヤホンマイク（オプション品）や Bluetooth® 通信対応のハンズフリー機器を使用しているときに、ボタン操作をしなくても自動的に電話の着信に応答できるように設定します。ON に設定した場合、電話がかかってくると、イヤホンとスピーカーから着信音が約 7 秒間鳴り、「ピーピ」と鳴ったあと、電話がつながります。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 自動応答

1 **ON** または **OFF** を選択 →

- マナーモードなど着信音を鳴らさない設定をしている場合は、電話がかかってくるとイヤホンからのみ着信音が鳴ります。
- 自動応答と簡易留守録（☞P.2-7）を同時に設定している場合は、呼び出し時間の短い方が優先されます。
- 自動応答と留守番電話サービス（☞P.14-4）の**呼び出しなし**を同時に設定している場合は、留守番電話サービスが優先されます。

エンタテイメント

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、706P 本体やメモリカードに保存されている音楽や動画を再生します。プレイリストを使って、お好みの選曲集を作ることもできます。

● プレイリストについて（☞P.9-9）

ご利用時の注意

● ファイルの形式やメモリカードの状態、保存方法などによって再生できないことがあります。

● 電池残量が不足していると再生できません。

● 再生中はイルミネーションが点滅します。点滅は消せません。

● 再生中に電話がかかってきたりアラームの設定時刻になったり電池残量が不足すると、再生は停止します。

● 再生中にメールや SMS を受信しても着信音は鳴りません。イルミネーションが点滅し、画面に「✉」を表示してお知らせします。

パソコンでの音楽データ保存について

パソコンを使ってメモリカードまたは 706P 本体に音楽データを保存し 706P で利用するときは、次の点にご注意ください。

● 著作権などにご注意ください

・ ご利用にあたっては、著作権などの第三者知的財産権その他の権利を侵害しないようご注意ください。

・ メモリカード内に保存した音楽は、個人使用の範囲だけでご使用ください。

● メモリカードに音楽データを保存するときは、指定のフォルダに保存してください。（☞P.10-24）

パソコンでの音楽データ保存についての詳細は、ユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）に収録されているユーザーズガイドを参照してください。

音楽（着うた®／着うたフル®）／動画のダウンロード

メディアプレイヤーからウェブに接続して、音楽（着うた®／着うたフル®）や動画をダウンロードできます。

- ご利用にあたっては、音楽や動画の提供サイトの情報（料金や有効期限など）を必ずご確認ください。

メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー

1 **音楽（着うた®／着うたフル®）のダウンロード**

オーディオを選択→ [キー] →**ミュージックダウンロード**を選択→ [キー] →確認画面で [キー]

動画のダウンロード

ムービーを選択→ [キー] →**ムービーダウンロード**を選択→ [キー] →確認画面で [キー]

ウェブに接続され、ダウンロードサイトが表示されます。

- 以降はジャンルやサイトなどを選択し、ダウンロードしてください。

■ ミュージックサーチで音楽を検索する

曲名やアーティスト名で検索して、音楽をダウンロードできます。

メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオ ▶ ミュージックサーチ

1 確認画面で [キー]

- 以降は画面指示に従って音楽ファイルを検索し、ダウンロードしてください。

著作権保護ファイルの利用について

ダウンロードした音楽／動画ファイルには、著作権保護設定により再生や転送、保存などが制限されているものがあります。

著作権保護ファイルの利用には、コンテンツ・キーの取得が必要な場合があります。（☞P.10-6）

有効期限や使用可能回数などの著作権情報は、ファイル情報の詳細（☞P.10-5）で確認できます。

再生中のディスプレイ表示

プレイモードアイコン

再生モード設定の確認ができます。

- 全ファイル再生
- 連続再生
- 1 ファイル再生
- ランダム再生
- 1 ファイルリピート

データフォルダからメディアプレイヤーを起動した場合で、1000 件以上の再生可能なファイルがあるときは、ファイル番号／総ファイル数表示が「0000/--」となります。

音楽を再生する（オーディオプレイヤー）

■ 再生できるファイル

ファイルの種類	拡張子
AMR-NB	.3gp .mp4
AAC-LC	
aacPlus	
Enhanced aacPlus	

- 上記のファイルでも、ファイルによって再生できない場合があります。
- 著作権保護ファイルで、コンテンツ・キーの有効期限や使用可能回数が切れているものは再生できません。（コンテンツ・キーを取得する ☞P.10-6）

メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオ

1 項目を選択 → ●

全曲リスト	706P 本体とメモリカードに保存されているすべてのオーディオプレイヤー対応音楽ファイルから選択します。
ミュージック	706P 本体とメモリカードのミュージックフォルダに保存されているすべてのオーディオプレイヤー対応音楽ファイルから選択します。

着うた	706P本体とメモリカードの着うた・メロディフォルダに保存されているすべてのオーディオプレイヤー対応音楽ファイルから選択します。
プレイリスト	お好みで選択し、分類した音楽ファイルから選択します。

- メモリカード内の音楽を再生する場合は、[左右キー]で**メモリカード**タブを選択します。

2 音楽ファイルを選択→[決定キー]

選択した音楽ファイルが再生されます。

- 再生中の操作について（☞P.9-8）

3 終了するときは、[HLD]または[Y!]**[戻る]**→[Y!]**[NO]**

- バックグラウンド再生について（☞右記）

再生方法を変更するには

手順2でファイルを選択する前に[メール]**[メニュー]**→**プレイモード設定**を選択→[決定キー]→再生方法（☞P.9-9）を選択→[決定キー]

再生音はステレオイヤホンマイクを利用して聞くことができます。

バックグラウンド再生

音楽を聴きながらメール／SMSの作成やスケジュールの確認など、メディアプレイヤー以外の機能を利用できます。

- **メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオ** から再生した音楽ファイルのみバックグラウンド再生できます。
- 音声電話の発着信やアラーム音が鳴っているときなどにバックグラウンド再生は一時停止しますが、終了後に再生を再開します。
- TVコールの発着信やS!アプリなど、同時に利用できない機能があります。

1 左記の手順3で音楽ファイル再生中に[HLD]または[Y!]**[戻る]**→[メール]**[YES]**

バックグラウンド再生中を示す「♫」が表示されます。

バックグラウンド再生中は音量やプレイモードの変更などの操作はできません。操作を行う場合はもう一度、**メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー** で音楽再生画面に戻ってから行ってください。（再生中の操作 ☞P.9-8）

エンタテイメント 9

バックグラウンド再生の終了

- バックグラウンド再生を途中で終了するときは、待受画面で [HLD] → [✉][YES]、または **メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー** で音楽再生画面に戻り、[HLD] または [Y!][**戻る**] → [Y!][NO] を行ってください。
- バックグラウンド再生中に S! アプリなどの同時に利用できない機能を起動すると、終了確認画面が表示されます。終了する場合は [✉][YES] を押してください。
- TV コールの発着信や電池残量不足になると、バックグラウンド再生は自動的に終了します。

動画を再生する（ムービープレイヤー）

■ 再生できるファイル

ファイルの種類	拡張子
MPEG-4	.3gp .mp4
H.263	

- Sub-QCIF, QCIF, QVGA, CIF サイズと、ソフトバンク端末で撮ったムービー写メールファイルが再生できます。
- 上記のファイルでも、ファイルによって再生できない場合があります。
- 著作権保護ファイルで、コンテンツ・キーの有効期限や使用可能回数が切れているものは再生できません。（コンテンツ・キーを取得する ☞P.10-6）

メインメニューから エンタテイメント ▶ メディアプレイヤー ▶ ムービー

1 項目を選択 → [●]

全ムービーリスト	706P 本体とメモリカードに保存されているすべてのムービープレイヤー対応動画ファイルから選択します。
ムービーフォルダ	706P 本体とメモリカードのムービーフォルダに保存されているすべてのムービープレイヤー対応動画ファイルから選択します。
プレイリスト	お好みで選択し、分類した動画ファイルから選択します。

● メモリカードやビデオカメラフォルダ内の動画を再生する場合は、それぞれのフォルダを選択します。

2 動画ファイルを選択 → [決定]

選択した動画ファイルが再生されます。

● 再生中の操作について（☞P.9-8）

3 終了するときは、[HLD]

再生方法を変更するには

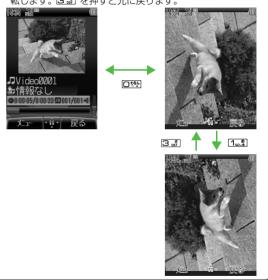
手順２でファイルを選択する前に [メール]**[メニュー] → プレイモード設定**を選択 → [決定] → 再生方法（☞P.9-9）を選択 → [決定]

フルスクリーンで動画を再生する

動画再生中に [0] を押すと表示が横になり、フルスクリーン表示になります。もう一度 [0] を押すと、通常の再生画面に戻ります。

● フルスクリーン表示中に [1] を押すと、画面が 180 度回転します。[3] を押すと元に戻ります。

再生音は、ステレオイヤホンマイクを利用して聞くことができます。

エンタテイメント
9

再生中の操作

ボタン操作

項目	ボタン操作
音量調節	（音量を上げる）／ （音量を下げる）
再生中のファイルを最初から再生する	
前のファイルを再生する	2回
次のファイルを再生する	
巻き戻しする※1	を押し続ける
早送りする※1	を押し続ける
一時停止／再開する	
再生を終了する	音楽再生中：2回または→ 動画再生中：または
画像をフルスクリーン表示する※2	

※1 データフォルダなど他の機能からメディアプレイヤーを起動した場合は、巻き戻し／早送りができないことがあります。巻き戻し／早送りができるファイルについては、「再生できるファイル」（☞P.9-4／P.9-6）を参照してください。
※2 動画の再生中のみ操作できます。

補足
音量を変更すると、次回起動したときも変更した音量で再生を行います。

オプションメニュー

再生中に[メニュー]を押すと、次の操作ができます。

再生／一時停止	ファイルを再生／一時停止します。
プレイモード設定	再生方法を選択します。（☞P.9-9）
プレイリスト	プレイリストから再生する音楽または動画ファイルを選択します。
全曲リスト／全ムービーリスト	706P本体とメモリカードに保存されているファイルから再生する音楽または動画ファイルを選択します。
フルスクリーン／ノーマルスクリーン※1	動画ファイルを再生するときの表示サイズを選択します。
詳細	ファイル情報の詳細を表示します。
URLに接続※2	メディアプレイヤーを終了して、ウェブに接続します。
ヘルプ	再生中のボタン操作を表示します。

※1 動画の再生中のみ操作できます。
※2 ファイルによっては選択できません。

再生方法の設定（プレイモード設定）

【お買い上げ時】全ファイル再生

- 設定したプレイモードは再生画面で確認できます。（プレイモードアイコン ☞P.9-4）

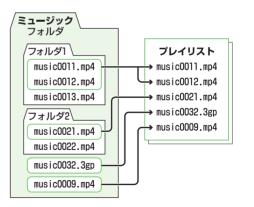
メインメニューから **エンタテイメント**
▶ **メディアプレイヤー** ▶ **オーディオまたはムービー**
▶ **プレイモード設定**

1 再生方法を選択 ➔ ●

全ファイル再生	選択したフォルダ／プレイリスト内すべての音楽または動画ファイルのうち、選択したファイルからリストの末尾のファイルまでを再生します。
1 ファイル再生	選択した 1 つの音楽または動画ファイルを再生します。
1 ファイルリピート	選択した 1 つの音楽または動画ファイルを繰返し再生します。
連続再生	選択したフォルダ／プレイリスト内すべての音楽または動画ファイルを繰返し再生します。
ランダム再生	選択したフォルダ／プレイリスト内すべての音楽または動画ファイルを無作為に選択して再生します。

変更したプレイモード設定は保存され、次回メディアプレイヤーを起動したときも同じ設定で再生を行います。

プレイリストを利用する

メディアプレイヤーで再生可能な音楽／動画ファイルを、プレイリストを使ってお好みで分類できます。
プレイリストは、ムービー／着うた・メロディ／ミュージック、それぞれのフォルダ内に保存されているファイルを選択し、作成します。プレイリストには分類したファイルを呼び出して再生するのに必要な情報のみが保存され、ファイルの保存場所は変わりません。
プレイリストは 706P 本体に最大 30 件まで、メモリカードに最大 30 件まで作成できます。
1 つのプレイリストには最大 99 曲まで登録できます。

エンタテイメント
9

新しいプレイリストを作成する

メインメニューから **エンタテイメント**
▶ **メディアプレイヤー** ▶ **オーディオ**または**ムービー**
▶ **プレイリスト**

1 [メニュー] → **プレイリスト作成**を選択 →

2 プレイリスト名を入力 →

プレイリスト一覧の先頭に追加されます。

プレイリスト名を変更するには

- 手順 1 でプレイリストを選択 → [メニュー] → **プレイリスト名変更**を選択 → → プレイリスト名を編集する →

プレイリストを削除するには

- 手順 1 でプレイリストを選択 → [メニュー] → **削除**または**全件削除**を選択 → → 確認画面で [YES]

音楽ファイルと動画ファイルが混在するプレイリストは作成できません。また、706P 本体とメモリカードそれぞれに保存されているファイルが混在するプレイリストを作成することもできません。

プレイリストを編集する

■ プレイリストにファイルを追加/削除する

メインメニューから **エンタテイメント**
▶ **メディアプレイヤー** ▶ **オーディオ**または**ムービー**
▶ **プレイリスト**

1 プレイリストを選択 → → [メニュー]

2 **音楽プレイリストにファイルを追加する**

追加を選択 → → **ミュージック**または**着うた**を選択 → → ファイルを選択 →

動画プレイリストにファイルを追加する

追加を選択 → → ファイルを選択 →

プレイリストからファイルを選択して削除する

削除を選択 → → ファイルを選択 → → [OK] → 確認画面で [YES]

プレイリストからファイルを全件削除する

全件削除を選択 → → 確認画面で [YES]

- 削除するファイルは複数選択できます。削除するファイルを選択→ を行うと、選択されたファイルにチェックマークが入ります。（もう一度 を押すと選択が解除されます。）選択が終わったら、[OK]→ [YES] を行ってください。
- ファイルによって、プレイリストに登録できない場合があります。

■ プレイリストの再生方法を設定する

メインメニューから エンタテイメント
▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオまたはムービー
▶ プレイリスト

1 プレイリストを選択→ **[メニュー]** → **プレイモード設定**を選択→

2 再生方法を選択→

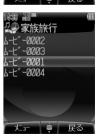
- 再生方法について（☞P.9-9）

■ プレイリストの再生順序を変更する

メインメニューから エンタテイメント
▶ メディアプレイヤー ▶ オーディオまたはムービー
▶ プレイリスト

1 プレイリストを選択→ → ファイルを選択→ **[メニュー]** → **再生順変更**を選択→

2 再生順の位置を選択→

選択した位置の上に移動します。

コミックサーフィン

コミックサーフィンを利用すると、706P（本体）とメモリカードのブックフォルダに保存されている電子コミックや電子写真集などを閲覧できます。

- コンテンツ・キーを取得した CCF ファイルを閲覧できます。
- コミックサーフィンは S! アプリです。

メインメニューから エンタテイメント

1 **コミックサーフィン**を選択 → ●

コミックサーフィンのメインメニュー画面が表示されます。

- 以降の操作方法については、コミックサーフィンのヘルプを参照してください。

- 一時停止中の S! アプリがあるときは S! アプリを終了するかどうかの確認画面が表示されます。✉**[YES]**を押すと、一時停止中の S! アプリは終了し、コミックサーフィンが起動します。
- コミックサーフィンは S! アプリからも起動できます。また、データフォルダ内のブックフォルダに保存されているファイルを選択して ● を押すと、コミックサーフィンが起動して、選択されたファイルを開きます。
- ブックフォルダ内は作品名で表示されますが、コミックサーフィンが対応していないファイル形式のデータは「📖」とファイル名で表示されます。
- ブックフォルダ内を表示しているときのオプションメニューについては、P.10-8 を参照してください。

機種変更などを行った場合、706P 本体に保存している CCF ファイルはメモリカードを使って移動できます。この場合、コンテンツ・キーを再ダウンロードすると閲覧できるようになりますが、コンテンツによっては、CCF ファイルの再ダウンロードが必要になることもあります。

ちかチャット

ちかチャットは、半径約 10 メートルの範囲内にあるちかチャット対応機と、文字メッセージのやりとりを可能にする S! アプリです。Bluetooth® 通信を利用するので、通信料はかかりません。

- 通信可能範囲は、環境により変動することがあります。
- ちかチャットには、18 歳未満のお子さまによるちかチャットの利用を保護者の方が制限することができる「利用制限機能」を搭載しています。
  なお、操作用暗証番号を用いてオールリセット（☞P.12-8）を行うと、利用制限機能で設定している暗証番号もリセットされ、利用制限機能が解除されますので、操作用暗証番号の管理はくれぐれもご注意ください。
- ちかチャットの詳しい使い方については、ちかチャットのトップメニューから、「使い方」を参照してください。

- ちかチャット起動中は Bluetooth® の公開設定に関わらず、周辺の Bluetooth® 対応機器に 706P の機器名を公開します。このため、意図しない相手から接続を要求されることがありますが、拒否することもできます。
- 一時停止した場合や周囲の通信環境によっては、ちかチャット通信中に「エラーが発生しました　アプリを終了します」と表示される場合があります。いったんちかチャットを終了し、再起動してください。

ちかチャットを開始する

メインメニューから エンタテイメント

1 **ちかチャット**を選択 →

ちかチャットが起動し、起動時確認メッセージが表示されます。

- Bluetooth® の設定が **OFF** の場合は、ちかチャットが起動する前に、**ON** にするかどうかの確認画面が表示されます。
- 使い方の詳細については、ちかチャットのトップメニューから「使い方」を参照してください。

2 終了するときは、HLD → **一時停止**または**終了**を選択 →

- 一時停止後、再開するには：もう一度ちかチャットを起動 → 再開確認画面で**再開**を選択 →

- ちかチャットは S! アプリからも起動できます。
- ちかチャットを起動していないと、相手からの開始要求を受けられません。
- Bluetooth® の設定を **ON** にしてちかチャットを起動すると、公開設定は**常時公開**になります。ちかチャットを終了しても Bluetooth® の設定は **ON** のままですが、公開設定はちかチャットを起動する前の設定に戻ります。

S! ループ

S! ループはコミュニケーションサービスです。

メインメニューから エンタテイメント ▶ S! ループ

ウェブに接続し、S! ループが表示されます。

- 使い方の詳細については、S! ループの「ヘルプ」を参照してください。

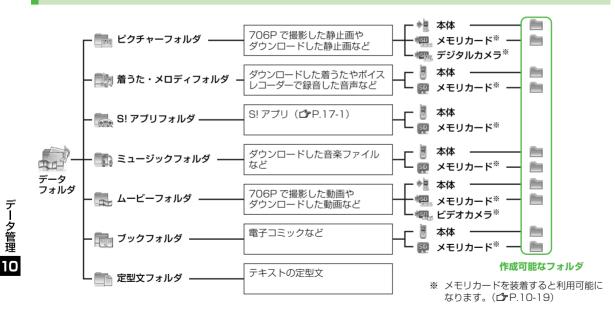
データ管理

データフォルダについて

706Pで撮影した画像やウェブからダウンロードした着うた®などのデータは、データフォルダに保存し、管理できます。

- ピクチャー、着うた・メロディ、S! アプリ、ミュージック、ムービー、ブックの各本体フォルダから Yahoo! ケータイへ直接アクセスし、データをダウンロードできます。

データフォルダの構成

※ メモリカードを装着すると利用可能になります。（☞P.10-19）

データフォルダに保存できるファイル

各フォルダには次のファイルを保存できます。

フォルダ名	ファイル形式	アイコン
ピクチャー	JPEG ファイル (.jpg、.jpeg、.jpe、.jfif)	JPEG
	GIF ファイル (.gif)	GIF
	BMP ファイル (.bmp)	BMP
	WBMP ファイル (.wbmp)	WBMP
	PNG ファイル (.png)	PNG
着うた・メロディ	SMAF ファイル (.mmf)	SMAF
	SP-MIDI ファイル (.mid、.midi)	MIDI
	AMR-NB ファイル (.amr)	AMR
	MPEG-4 ファイル (.3gp、.mp4)	3GP／MP4
	Mobile XMF ファイル (.mxmf)	MXMF
S! アプリ	Java ファイル	
ミュージック ムービー	MPEG-4 ファイル (.3gp、.mp4)	3GP／MP4
ブック	CCF ファイル (.ccf)	
定型文	テキストファイル (.txt)	TXT

著作権保護ファイルの利用について

ダウンロードした音楽や静止画／動画ファイルには、著作権保護設定により、再生や転送、保存などが制限されているものがあります。著作権保護ファイルの利用には、コンテンツ・キーの取得が必要な場合があります。（☞P.10-6）

有効期限や使用可能回数などの著作権情報は、ファイル情報の詳細（☞P.10-5）で確認できます。

- 著作権保護ファイルには鍵マーク「／（銀色）」が付いています。「」は権利の切れた状態です。
- 706P でダウンロードした著作権保護ファイルは、パソコンではご利用できません。
- 著作権保護ファイルを利用する際に、ネットワーク設定が必要な場合があります。
- 著作権保護ファイルによっては、ダウンロードしたときと同じ USIM カードを使用する必要があります。
- コンテンツ・キーは本体メモリに最大 1000 件まで保存できます。1 つの著作権保護ファイルに対して複数のコンテンツ・キーが保存される場合があります。有効期限が切れたコンテンツ・キーは自動的に削除されます。

着うた・メロディフォルダ内の MPEG-4 ファイル以外のファイルは早送り／巻き戻しはできません。

データフォルダを表示する

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択 → [center key]

ピクチャーフォルダとムービーフォルダはサムネイルで表示されます。それ以外のフォルダはリストで表示されます。

ダウンロードサイトへ
メモリカードフォルダ
デジタルカメラフォルダ

例）ピクチャーフォルダ（サムネイル表示）

ダウンロードサイトへ
本体フォルダ
メモリカードフォルダ

例）着うた・メロディフォルダ（リスト表示）

本体メモリとメモリカードの表示切替

- フォルダ内の表示形式がリスト表示の場合、[key] で**本体**メモリ、**メモリカード**、**デジタルカメラ**※1、**ビデオカメラ**※2のタブを切り替えます。
- フォルダ内の表示形式がサムネイル表示の場合、「[icon]」（メモリカード）、「[icon]」（デジタルカメラ）※1、「[icon]」（ビデオカメラ）※2を選択して [center key] を押します。本体メモリに戻るときは、「[icon]」（本体）を選択して [center key] を押します。

※1 ピクチャーフォルダ内のみ
※2 ムービーフォルダ内のみ

ピクチャー／ムービーフォルダ内の表示切替

【お買い上げ時】サムネイル

ピクチャーとムービーフォルダ内のファイルの表示形式をサムネイル表示とリスト表示に切り替えられます。

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャーまたはムービー

1 [mail key] [**メニュー**] → **サブ機能**を選択 → [center key]

2 **表示切替**を選択 → [center key] → **サムネイル**または**リスト**を選択 → [center key]

データ管理 10

メモリの使用状況を確認する

データフォルダで使用している本体メモリとメモリカードの使用状況を確認できます。

メインメニューから データフォルダ ▶ メモリ容量確認 ▶ 本体またはメモリカード

例）

706P 本体メモリ

メモリカード

補足 メモリカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されています。また、706P は、メモリカードのPRIVATE - MEIGROUP - PMC - FS_TEMP フォルダ内にファイルリストを高速に表示するための一時ファイルを作成します。従って、実際にご利用可能な容量は、メモリカードに記載されている容量よりも少なくなります。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択 → [●]

- 各フォルダ内の表示形式や表示切替について（☞P.10-4）

2 ファイルを選択 → [●]

ファイルの種類によって、表示または再生されます。

- 音楽や動画ファイルの場合はメディアプレイヤーが起動します。再生中の操作について（☞P.9-8）

ファイルの詳細情報を確認するには

ファイルの名前、サイズ、作成日、転送の許可、著作権情報などを確認できます。

- 確認できる詳細は、保存されているフォルダやファイルの種類によって異なります。

手順 2 でファイルを選択 → [✉]**[メニュー]** → **サブ機能**を選択 → [●] → **詳細**を選択 → [●]

コンテンツ・キーを取得する

著作権保護の使用期限が切れている、または使用期限が残りわずかなファイルを引き続き使用する場合は、コンテンツ・キーを取得する必要があります。ファイルを開こうとすると警告メッセージが表示されますので、取得する場合は [YES] を押してください。ウェブに接続し、情報画面からコンテンツ・キーの取得手続きができます。

- 著作権保護ファイルの利用について（☞P.10-3）
- 著作権保護ファイルには鍵マーク「／（銀色）」が付いています。「」は権利の切れた状態です。期限切れのファイルはサムネイル表示されずに「」が表示される場合があります。

- ファイルを選択後、**[メニュー] → サブ機能**を選択 → → **コンテンツ・キー取得**を選択 → でもコンテンツ・キーを取得できます。
- 取得したコンテンツ・キーの情報はメモリカードに転送して管理できます。（☞P.12-7）
- コンテンツによっては、ウェブに接続しても情報画面からコンテンツ・キーの取得手続きができない場合があります。
- コンテンツ・キーを 1000 件を超えて取得しようとすると警告メッセージが表示されます。この場合、保存されている不要なコンテンツ・キーを削除してください。削除しない場合、コンテンツ・キーの取得がキャンセルされ、情報料がかかる場合があります。

音楽／動画ファイルを連続して再生する

メインメニューから データフォルダ
▶ 着うた・メロディ、ミュージックまたはムービー

1 **[メニュー] → 再生方法**を選択 →

2 再生方法を選択 →

連続再生	選択したフォルダ内すべての音楽または動画ファイルを繰返し再生します。
ランダム再生	選択したフォルダ内すべての音楽または動画ファイルを無作為に選択して再生します。
1 ファイルリピート	選択した 1 つの音楽または動画ファイルを繰返し再生します。

- 選択した再生方法は再生画面で確認できます。（プレイモードアイコン ☞P.9-4）

CCF ファイルを利用する

ブックフォルダに保存したコミックサーフィン（☞P.9-12）専用の CCF ファイル（.ccf）で、電子コミックや電子写真集などを閲覧できます。

メインメニューから データフォルダ ▶ ブック

1 CCF ファイルを選択 → ●

S! アプリのコミックサーフィンが起動します。

- 以降の操作方法については、コミックサーフィンのヘルプを参照してください。

データフォルダでできること

データフォルダの各フォルダ内のファイルを選択中に ✉[メニュー] を押すと、次の操作ができます。

■ ピクチャーフォルダ内のファイルを選択した場合

表示	ファイルを画面に表示します。
送信	ファイルをメールに添付して、または赤外線通信や Bluetooth® 通信で送信します。（☞P.10-11）
登録	ファイルを壁紙、アドレス帳のイメージ画像、メインメニューアイコンなどに登録します。（☞P.10-9）
削除	フォルダ内のファイルを 1 件またはすべて削除します。（☞P.10-16）
編集	リサイズ、フレーム追加、トリミング、スーパークリアシャドウなどでファイルを編集します。（☞P.10-12）
ファイル操作	ファイルの名称変更、移動、コピー、新しいフォルダの作成、複数のファイルの選択などの操作をします。（☞P.10-15）
サブ機能	コンテンツ・キーの取得（☞P.10-6)、サムネイル／リスト表示の切替（☞P.10-4)、ファイルの詳細表示（☞P.10-5)、メモリカードフォルダ表示、デジタルカメラフォルダ表示を行います。

■ 着うた・メロディ／ミュージック／ムービーフォルダ内のファイルを選択した場合

再生	ファイルを再生します。
送信	ファイルをメールに添付して、または赤外線通信やBluetooth® 通信で送信します。（☞P.10-11）
登録※1	ファイルを着信音（音声、TVコール、メール）やアドレス帳のメロディに登録します。（☞P.10-9）
再生方法	ファイルの再生方法を設定します。（☞P.10-6）
削除	フォルダ内のファイルを1件またはすべて削除します。（☞P.10-16）
ファイル操作	ファイルの名称変更、移動、コピー、新しいフォルダの作成、複数のファイルの選択などの操作をします。（☞P.10-15）
サブ機能	コンテンツ・キーの取得（☞P.10-6）、サムネイル／リスト表示の切替※2（☞P.10-4）、ファイルの詳細表示（☞P.10-5）、メモリカードフォルダ表示、ビデオカメラフォルダ表示※2を行います。

※1 着うた・メロディ／ミュージックフォルダのみ
※2 ムービーフォルダのみ

■ ブックフォルダ内のファイルを選択した場合

再生	ファイルを再生します。
インターネット接続	ファイルに関連付けられた情報画面に接続します。
送信	ファイルを赤外線通信やBluetooth® 通信で送信します。（☞P.10-11）
削除	フォルダ内のファイルを1件またはすべて削除します。（☞P.10-16）
ファイル操作	ファイルの移動、コピー、新しいフォルダの作成、複数のファイルの選択などの操作をします。（☞P.10-15）
サブ機能	コンテンツ・キーの取得（☞P.10-6）、ファイルの詳細表示（☞P.10-5）、メモリカードフォルダ表示を行います。

ファイルの利用

データフォルダに保存されているファイルを壁紙、着信音、アドレス帳のイメージ画像やメロディ、メインメニューアイコンなどに利用できます。メールや赤外線通信、Bluetooth® 通信を利用してファイルを送信することもできます。

著作権保護ファイルについて

- 著作権保護ファイルを壁紙や着信音、アドレス帳のイメージ画像やメロディ、メインメニューアイコンに設定した場合、ファイルの有効期限が切れたり、設定時とは別の USIM カードを装着すると、お買い上げ時の設定に戻る場合があります。
- 使用可能回数に制限のある著作権保護ファイルは、壁紙や着信音、アドレス帳のイメージ画像やメロディ、メインメニューアイコンに設定できません。

壁紙に設定する

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択 → ✉[**メニュー**] → **登録**を選択 → ●

2 **壁紙**を選択 → ●

着信音に設定する

メインメニューから データフォルダ ▶ 着うた・メロディまたはミュージック

1 ファイルを選択 → ✉[**メニュー**] → **登録**を選択 → ●

2 **音声着信音**、**TV コール着信音**または**メール着信音**を選択 → ●

アドレス帳に登録する

本体アドレス帳に静止画や音楽ファイルを登録できます。

- メモリ切替が **USIM** に設定されている場合は登録できません。（☞P.4-11）

アドレス帳に静止画を登録する

アドレス帳に静止画を登録した相手から電話がかかると、登録した静止画が画面に表示されます。

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択 → ✉ **[メニュー]** → **登録**を選択 → ●

2 **アドレス帳イメージ登録**を選択 → ●

アドレス帳画面になります。

3 登録するアドレス帳を選択 → ●

- 画像サイズが大きい場合は、リサイズする旨のメッセージが表示されます。リサイズする場合は、● → ファイル名を入力 → ● → 新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

4 ✉ **[保存]**

アドレス帳に音楽ファイルを登録する

アドレス帳に音楽ファイルを登録した相手から電話やメール／ SMS を受けると、登録した音楽が着信音として鳴ります。

メインメニューから データフォルダ ▶ 着うた・メロディまたはミュージック

1 ファイルを選択 → ✉ **[メニュー]** → **登録**を選択 → ●

2 **アドレス帳メロディ登録**を選択 → ●

アドレス帳画面になります。

3 登録するアドレス帳を選択 → ●

音声着信音（）、TV コール着信音（）、メール着信音（）の設定内容が表示されます。

4 登録したい着信音を選択 → ●

5 ✉ **[保存]**

メインメニューアイコンに設定する

静止画をメインメニューのアイコンに設定できます。

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択 → [**メニュー**] → **登録**を選択 →

2 **メインメニューアイコン**を選択 →

メインメニュー画面になります。

3 **メインメニューのアイコンを個別に変更する場合**

でアイコンを選択 →

● 他のアイコンに同じ画像を設定する場合は、手順 3 を繰返してください。

メインメニューの背景を変更する場合

[**メニュー**] → **一括変更**を選択 →

4 [**戻る**]

データフォルダ画面に戻ります。

ファイルを送信する

データフォルダ内のファイルをメールに添付して送信したり、赤外線通信や Bluetooth ® 通信を利用して、各通信の対応機（パソコンや携帯電話など）に送信できます。

● 赤外線通信について（☞P.11-2）

● Bluetooth ® 通信について（☞P.11-4）

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択 →

2 ファイルを選択 → [**メニュー**] → **送信**を選択 →

3 **メールに添付する場合**

メールを選択 → → 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する（☞P.15-6 手順 1 以降）

赤外線通信で送信する場合

赤外線通信を選択 →

Bluetooth® 通信で送信する場合

Bluetooth を選択 →

静止画の編集

データフォルダに保存されている静止画を壁紙やアドレス帳用の画像などのサイズに変更できます。また静止画にフレーム（枠）を付けることができます。

画像サイズについて

リサイズやトリミングで変更できるサイズは次のとおりです。

フリーサイズ※	お好みのサイズ
QQVGA (160x120)	アドレス帳のイメージ画像のサイズ
壁紙 (240x320)	壁紙のサイズ
メインメニュー (80x76)	メインメニューアイコンのサイズ

※ リサイズの場合は選択できません。

サイズを変更する（リサイズ）

静止画を拡大／縮小してサイズを変更します。

- 画像サイズについて（☞ 左記）

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1. ファイルを選択 → [**メニュー**] → **編集**を選択 → → **リサイズ**を選択 →
2. 画像サイズを選択 →
   リサイズされた画像が表示されます。
   - リサイズをやり直すには：[**戻る**]
3. → ファイル名を入力 →
   新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

データ管理

10

切り出しをする（トリミング）

静止画の一部をお好みの範囲で切り出せます。

- 画像サイズについて（☞P.10-12）

固定サイズに切り出す

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択→[**メニュー**]→**編集**を選択→ →**トリミング**を選択→

2 **QQVGA(160x120)、壁紙（240x320）**または**メインメニュー（80x76）**を選択→

画像上に切り出す部分を示す枠が表示されます。

3 で枠を切り出す部分へ移動→

トリミングされた画像が表示されます。

- トリミングをやり直すには：[**戻る**]

4 →ファイル名を入力→

新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

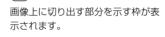
好みの大きさに切り出す

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択→[**メニュー**]→**編集**を選択→ →**トリミング**を選択→ →**フリーサイズ**を選択→

2

で「┌」を切り出す部分の左上角に移動させる→

画像上に切り出す部分を示す枠が表示されます。

3 で切り出す部分を調節→

トリミングされた画像が表示されます。

- トリミングをやり直すには：[**戻る**]

4 →ファイル名を入力→

新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

データ管理

10

枠を付ける（フレーム）

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択 → [メニュー] → **編集**を選択 → → **フレーム追加**を選択 →

2 **フレーム 1** ～ **5** から選択 →

フレームが付いた画像が表示されます。

- フレームを付け直すには：[戻る]、または で画像を表示させたままフレームだけを切り替えられます。

3 → ファイル名を入力 →

新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

影をとる（スーパークリアシャドウ）

静止画の影の部分を明るくします。

メインメニューから データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択 → [メニュー] → **編集**を選択 → → **スーパークリアシャドウ**を選択 →

処理された画像が表示されます。

- 保存しない場合：[戻る]

2 → ファイル名を入力 →

新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

フォルダ／ファイルの管理

新しいフォルダを作成する

ピクチャー、着うた・メロディ、ミュージック、ムービー、ブックの各フォルダに、新しいフォルダを作成できます。

- 各本体フォルダには5つまで新しいフォルダを作成できます。
- メモリカード内とブックの本体フォルダでは、1つのフォルダ内に同じ名前のフォルダ／ファイルは作成できません。
- デジタルカメラフォルダ、ビデオカメラフォルダ、S! アプリフォルダ、定型文フォルダ内に新しいフォルダは作成できません。

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択 → ● → ✉ **[メニュー]**
   - 各フォルダの「 」や「 」、「 」、「 」、「 」にカーソルが当たっているときに ✉ **[メニュー]** を押した場合は、手順3へ。

2 **ファイル操作**を選択 → ●

3 **新規フォルダ作成**を選択 → ●

4 フォルダ名を入力 → ●

フォルダ名／ファイル名を変更する

- 自分で新規作成したフォルダ／ファイルのみ名前を変更できます。
- メモリカード内では、同じ階層に2つ以上同じフォルダ名／ファイル名を付けることはできません。
- デジタルカメラフォルダ、ビデオカメラフォルダ、S! アプリフォルダ内のフォルダ名／ファイル名、ブックフォルダ内のファイル名は変更できません。

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択 → ●

2 フォルダまたはファイルを選択 → ✉ **[メニュー]** → **フォルダ操作**または**ファイル操作**を選択 → ●

3 **名称変更**を選択 → ●

4 フォルダ／ファイル名を入力 → ●

データ管理

10

フォルダ／ファイルを削除する

- 自分で新規作成したフォルダのみ削除できます。

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択 →

2 フォルダまたはファイルを選択 →
[**メニュー**] → **削除**を選択 →

3 **1件ずつ削除する場合**
1件削除を選択 → → 確認画面で
フォルダ内のファイルをすべて削除する場合
全件削除を選択 → → 確認画面で
[YES] → 操作用暗証番号（4桁）を入力
→

- 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

補足
全件削除の場合、ファイルの種類によっては削除できないものがあります。

ファイルを移動／コピーする

- コピー／転送不可ファイルはコピーできません。
- S! アプリフォルダのファイルは移動できません。
- デジタルカメラフォルダ、ビデオカメラフォルダに移動／コピーできるのは、本体に保存されているJPEGファイルのみです。
- ファイルの種類やデータの内容によっては、移動／コピーできないことがあります。
- 転送不可ファイルは、ネットワーク自動調整（☞P.1-22）を行うと移動できる場合があります。

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択 →

2 ファイルを選択 → [**メニュー**] →
ファイル操作を選択 →

3 **移動**または**コピー**を選択 →

4 移動先／コピー先のフォルダを選択 →

補足

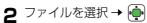
- メモリカードから 706P 本体メモリへ移動／コピーした直後の著作権保護ファイルはサムネイルで表示されないことがあります。その場合は、ファイルを 1 度再生／画面表示すると、サムネイルで表示されるようになります。
- メモリカードとの間でコピー／移動したファイルは、ファイルの種類やデータの内容によっては、他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 706P は、メモリカードの PRIVATE - MEIGROUP - PMC - FS_TEMP フォルダ内にファイルリストを高速に表示するための一時ファイルを作成するため、移動／コピー可能なファイルサイズは実際のメモリカードに記載された容量よりも少なくなる場合があります。

ファイルを複数選択する

複数のファイルを選択して削除／移動／コピーできます。

- ファイルの種類によっては、削除／移動／コピーできないことがあります。

メインメニューから データフォルダ

1 フォルダを選択 → → ファイルを選択 → ✉ **[メニュー]** → **ファイル操作**を選択 → → **複数選択**を選択 →

2 ファイルを選択 →

画像左上に「チェックマーク」が表示されます。

- 選択を解除するには：「チェックマーク」が付いたファイルを選択 →

3 手順 2 を繰返す

- すべてのファイルを選択するには：✉ **[メニュー]** → **全て選択**を選択 →
- すべての選択を解除するには：✉ **[メニュー]** → **選択全解除**を選択 →

4 **削除する場合**

✉ **[メニュー]** → **削除**を選択 → → 確認画面で ✉ **[YES]**

コピー／移動する場合

✉ **[メニュー]** → **コピー**または**移動**を選択 → → コピー先／移動先のフォルダを選択 → → 確認画面で ✉ **[YES]**

定型文の利用

あらかじめ登録されている定型文をメールや SMS の本文入力などで利用できます。よく使う文章を登録することもできます。

新しい文章を登録する

メインメニューから データフォルダ ▶ 定型文

1 [メニュー] → **新規**を選択 →

2 文章を入力する →

- 最大 64 文字まで入力できます。

定型文一覧の一番上に挿入されます。

定型文を編集する

メインメニューから データフォルダ ▶ 定型文

1 編集したい定型文を選択 →

2 編集する →

上書き保存されます。

定型文を削除するには

- 1 件ずつ削除する場合は、手順 1 で削除したいファイルを選択 → [メニュー] → **削除**を選択 → → **1 件削除**を選択 → → 確認画面で
- すべて削除する場合は、手順 1 で [メニュー] → **削除**を選択 → → **全件削除**を選択 → → 確認画面で [YES] → 操作用暗証番号（4 桁）（☞P.1-26）を入力 →

定型文をメール／ SMS の本文に挿入する

メインメニューから データフォルダ ▶ 定型文

1 定型文を選択 → [メニュー] → **送信**を選択 →

2 **メール**または **SMS** を選択 → → 宛先など他の項目を入力し、送信する（メール☞P.15-6 手順 1 以降／ SMS☞P.15-9 手順 1 以降）

文字入力画面から定型文を利用するには、「定型文を利用する」（☞P.3-8）を参照してください。

データ管理

10

メモリカードの利用

706P は microSD™ メモリカードに対応しています。

- 「microSD™ メモリカード」を、以降「メモリカード」と記載いたします。
- メモリカードへのデータ保存方法については、本章では記載していません。各機能の説明部分を参照してください。
- 706P では 32M バイト／ 64M バイト／ 128M バイト／ 256M バイト／ 512M バイト／ 1G バイト／ 2G バイトのメモリカードに対応しています。松下、東芝、サンディスク社製について動作確認しています。（2006 年 12 月現在、松下製：64M バイト まで、東芝製：1G バイト まで、サンディスク製：2G バイト までの動作確認を行っております。）ただし、各社のメモリカードの動作を保証するものではありません。
- 市販の microSD™ メモリカードを使用するときは、706P でフォーマットしてください。（☞P.10-21）

メモリカードの取り扱いについて

メモリカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- ラベルやシールを貼らないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水にぬらしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- メモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。

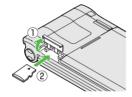
- メモリカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリカードには、書き込み禁止スイッチはありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。
- メモリカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されています。また、706P は、メモリカードの PRIVATE - MEIGROUP - PMC - FS_TEMP フォルダ内にファイルリストを高速に表示するための一時ファイルを作成します。従って、実際にご利用可能な容量は、メモリカードに記載されている容量よりも少なくなります。

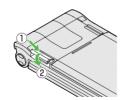
メモリカードを取り付ける／取り外す

- 必ず電源を切った状態で行ってください。

取り付ける

1 microSD カードスロットのカバーを開け、金色の端子部分を下にしてメモリカードを差し込む

- 「カチッ」と音がするまでゆっくり奥に差し込みます。

2 カバーを閉じる

- カバーを持ち上げたまま奥まで突き当て、上から「カチッ」と音がするまで押さえます。

カバーを閉じるときに、水平方向に押し込まないでください。カバー内側の突起部を破損する原因となります。

正常に取り付けが完了したかどうか確認する

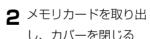
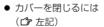
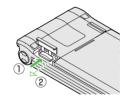
正常に取り付けが完了した場合は、電源を入れると「 」が表示されます。「 」が表示された場合はメモリカードを使用できません。メモリカードを取り外して、再度取り付けてください。再度取り付けても「 」が表示される場合は、メモリカードチェック（☞P.10-22）またはメモリカードのフォーマット（☞P.10-21）を行ってください。（その他のアイコン表示について ☞P.1-13）

取り外す

1 microSD カードスロットのカバーを開け、メモリカードを指先で軽く押し込む

- 軽く押し込んでから手を離すと、メモリカードが少し飛び出てきます。

2 メモリカードを取り出し、カバーを閉じる

- カバーを閉じるには（☞ 左記）

- 「 」が点滅しているときに、電源を切ったりメモリカードや電池パックを取り外したりしないでください。メモリカードが故障したりデータが壊れたり不正なファイルが作成される可能性があります。
- 取り付け／取り外しを行うときに、メモリカードが飛び出すことがありますのでご注意ください。

メモリカードをフォーマット（初期化）する

● フォーマットすると、メモリカード内のすべてのデータが消去されます。

メインメニューから 設定 ▶ メモリカード管理 ▶ メモリカードフォーマット

1 確認画面で ● → 操作用暗証番号（4 桁）を入力 → ●

● 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

フォーマットが正常に行われなかった場合は、706P の電源を切ってメモリカードを取り外し、もう一度取り付けてから再度フォーマットしてみてください。

● フォーマット中は、絶対に電源を切ったりメモリカードや電池パックを取り外したりしないでください。メモリカードまたは 706P が故障する恐れがあります。
● パソコンなどの他機器でフォーマットしたメモリカードは、706P では使用できないことがあります。使用できる場合でも、動作が遅くなったりメモリカードの寿命を縮めることがあります。必ず 706P でフォーマットしてから使用してください。
● 非対応のメモリカードはフォーマットできません。

保存されているデータを確認する

メモリカード内のファイルはデータフォルダから確認できます。本体メモリとメモリカードの表示切替については、「データフォルダを表示する」（☞P.10-4）を参照してください。

● メモリカードに保存したファイルやフォルダは、1 フォルダあたり 1000 件までしか表示されません。1001 件目以降のファイルやフォルダを表示するには、不要なファイルを削除してから電源を入れ直してください。削除したファイルの数だけ、かくれていたファイルやフォルダが表示されます。
● ファイル名／フォルダ名が 32 文字を超えるデータや拡張子が 6 文字を超えるファイルは表示されません。
● 706P で非対応のファイル形式（拡張子）のファイルは表示されないことがあります。

メモリカードの使用状況を確認する

メモリカードの使用量や空き領域などを確認できます。

● 操作については P.10-5 を参照してください。

メモリカードチェック

メモリカードに保存されているデータに不具合が生じたとき、メモリカードチェックによってデータを修復できることがあります。

メインメニューから 設定 ▶ メモリカード管理 ▶ メモリカードチェック

1 確認画面で

- メモリカードチェック中は、絶対に電源を切ったりメモリカードや電池パックを取り外したりしないでください。メモリカードまたは706Pが故障する恐れがあります。
- 非対応のメモリカードやフォーマットが正しく行われていないメモリカードはメモリカードチェックできません。
- メモリカードチェックで修復できなかったファイルやフォルダは削除されることがあります。

アドレス帳のバックアップ

706P本体からメモリカードへアドレス帳ファイルをバックアップできます。バックアップしたファイルはメモリカードから706P本体に読み込むこともできます。

- メモリカードから本体に読み込む場合は、現在の本体アドレス帳は削除されますのでご注意ください。
- 電池残量が少ないときは利用できません。バッテリーを交換するか、充電してからご利用ください。

本体からメモリカードにバックアップする

- 事前にメモリカードの空き容量を確認してください。（☞P.10-5）

メインメニューから アドレス帳 ▶ アドレス帳管理 ▶ メモリカードバックアップ ▶ バックアップ

1 確認画面で

2 操作用暗証番号（4桁）を入力 → → 確認画面で

オフラインモードになります。バックアップが完了すると、オフラインモードが解除になります。

- 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

シークレットモードの設定にかかわらず、すべてのデータがバックアップされます。アドレス帳のシークレット設定（**表示する**／**表示しない**）の情報は保持されます。

メモリカードから本体にバックアップファイルを読み込む

メインメニューから アドレス帳 ▶ アドレス帳管理 ▶ メモリカードバックアップ ▶ 読み込み

1 操作用暗証番号（4 桁）を入力 → ● → 確認画面で ●

オフラインモードになります。

- 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

2 ファイルを選択 → ●

- ファイル名でバックアップした日付がわかります。
  例）06121500.vcf ：2006 年 12 月 15 日に初めてバックアップしたファイル名

読み込みが完了すると、オフラインモードが解除になります。

3 確認画面で ●

バックアップファイルを削除するには

手順 2 で削除したいファイルを選択 → ✉**[メニュー]** → **削除**を選択 → ● → 確認画面で ●

- オフラインモード中にバックアップや読み込みを行った場合は、完了してもオフラインモードは解除になりません。
- 他のソフトバンク携帯電話でバックアップしたデータを 706P で読み込んだ場合、データの項目や長さによっては、読み込めなかったりデータの一部が欠落することがあります。

メモリカードを使ってパソコンなどとデータをやりとりする

706P からメモリカードに保存されたデータは次のようにフォルダ管理されています。

データの種類		パソコンからみた保存先フォルダ	706P からみた保存先フォルダ
静止画	706P で撮影した静止画など	DCIM - xxx_PANA (xxx:100 ～ 999)	**データフォルダ ▶ ピクチャー ▶ デジタルカメラ**
	706P 本体メモリからメモリカードへ移した静止画やダウンロードした静止画など	PRIVATE - MYFOLDER - My Items - Pictures	**データフォルダ ▶ ピクチャー ▶ メモリカード**
動画	706P で撮影した動画など	SD_VIDEO - PRLyyy (yyy:001 ～ FFF)	**データフォルダ ▶ ムービー ▶ ビデオカメラ**
	706P 本体メモリからメモリカードへ移した動画やダウンロードした動画など	PRIVATE - MYFOLDER - My Items - Videos	**データフォルダ ▶ ムービー ▶ メモリカード**
音楽	拡張子が .3gp または .mp4 の音楽ファイル	PRIVATE - MYFOLDER - My Items - Music	**データフォルダ ▶ ミュージック ▶ メモリカード**
	拡張子が次のいずれかの音楽ファイル .3gp、.mp4、.mid、.midi、.amr、.mmf、.mxmf	PRIVATE - MYFOLDER - My Items - Sounds & Ringtones	**データフォルダ ▶ 着うた・メロディ ▶ メモリカード**
電子コミックや電子写真集など		PRIVATE - MYFOLDER - My Items - Book	**データフォルダ ▶ ブック ▶ メモリカード**
S! アプリ		PRIVATE - MYFOLDER - My Items - Games and More	**データフォルダ ▶ S! アプリ ▶ メモリカード**
アドレス帳バックアップファイル		PRIVATE - MYFOLDER - Utility - Contacts - Contacts.BCK	**アドレス帳 ▶ アドレス帳管理 ▶ メモリカードバックアップ**
コンテンツ・キー バックアップファイル		PRIVATE - MYFOLDER - Utility - Rights	**設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ コンテンツ・キー**

パソコンなどでメモリカードにデータを書き込んで 706P で利用する場合は、PRIVATE - MYFOLDER - My Items フォルダ内のフォルダに保存します。データの種類によって保存するフォルダを選択してください。データの利用については、ファイルの利用（☞P.10-9）などを参照してください。

706P は、メモリカードの PRIVATE - MEIGROUP - PMC - FS_TEMP フォルダ内に一時ファイルを作成します。メモリカード挿入時にこのフォルダ内に保存されたファイルやフォルダはすべて削除されますので、このフォルダ内にパソコンなどでファイルやフォルダを保存しないでください。

外部接続

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

アドレス帳やスケジュール、撮影した画像などのデータを他の赤外線通信対応機器（パソコンや携帯電話など）とやりとりできます。

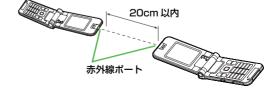
- 706P の赤外線通信機能は、IrMC1.1 規格に準拠しています。ただし、相手側の機器が IrMC1.1 に準拠していても、送受信できないデータがあります。

赤外線通信で送受信できるデータ

アドレス帳	アドレス帳の登録を 1 件ずつ送受信します。 ● 着信音やイルミネーション、画像、グループ、シークレットなどの設定内容は送受信できません。
カレンダー（スケジュール）	カレンダーに登録しているスケジュールを 1 件ずつ送受信します。 ● スケジュール通知、スケジュール通知音、イルミネーションなどの設定内容は送受信できません。 ● 706P に登録できる日時（☞P.13-5）の範囲外のスケジュールは、受信しても登録されません。
データフォルダ内のファイル	画像や音楽など、データフォルダに保存されているファイルを 1 件ずつ送受信します。 ● 著作権保護ファイルは送受信できない場合があります。

- 受信したアドレス帳またはスケジュールデータの内容によっては、左記以外にも登録できないことがあります。また、データの内容を自動的に修正して登録することがあります。
- 706P には、スケジュールは最大 100 件まで、アドレス帳は最大 500 件まで保存できます。データ受信中にそれぞれの最大数に達すると、それ以上受信できません。

赤外線通信利用時の注意

- 赤外線ポートが汚れていると、通信失敗の原因になることがあります。汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布でふいてください。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 通信中やメール／ SMS の送受信中、ウェブ利用中は、赤外線通信を利用できません。
- 706P と赤外線通信対応機器の赤外線ポートを 20cm 以内に近づけてください。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにし、データの送受信が終わるまで動かさないでください。また、間に物を置かないようにしてください。

赤外線通信を使ってデータを送受信する

● 赤外線通信で送受信できるデータについて（☞P.11-2）

データを送信する

1 送信するデータを選択 → ✉ **[メニュー]** → **送信**を選択 → ●

2 受信側をデータ受信待機状態にする

3 **赤外線通信**を選択 → ●

データの送信を開始します。

データを受信する

メインメニューから **設定** ▶ **外部接続** ▶ **赤外線通信**

1 **ON** を選択 → ●

2 HLD で待受画面に戻る

画面上に「 」が表示され、待機状態になります。

● 3 分以内に送信側からデータを送信してください。

3 受信が始まると、データ受信の確認画面が表示される

ファイル名とサイズが表示されます。

4 受信を開始するには ●

5 **データフォルダ内に登録されるデータを受信する場合**

本体または**メモリカード**を選択 → ●

データの受信を開始します。

アドレス帳／スケジュールデータを受信した場合

✉ **[保存]**

補足

● 待受画面以外ではデータの受信はできません。
● 待機状態で 3 分以内にデータを受信しなかったり、706P の電源を切ると、待機状態が解除されます。

Bluetooth®

アドレス帳やスケジュール、撮影した画像などのデータを、Bluetooth® 通信を利用して他の対応機器（パソコンや携帯電話など）とやりとりできます。また、Bluetooth® 通信対応のハンズフリー機器が利用できます。

Bluetooth® 通信をご利用になる前に

706P の Bluetooth® の主な仕様

通信方式	Bluetooth® 標準規格 Ver 1.2
対応プロファイル※ 1	HSP (Headset Profile) HFP (Hands-Free Profile) OPP (Object Push Profile) SPP (Serial Port Profile)
出力	Bluetooth® Power Class2
使用周波数帯※ 2	2.4GHz (2.402GHz ～ 2.480GHz)
通信距離※ 3	約 10 m

※ 1 Bluetooth® を利用して接続するには、相手機器も Bluetooth® 対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
※ 2 Bluetooth® 対応機器が使用する電波帯（2.4GHz 帯）は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
※ 3 機器間の距離や障害物、電波状況、相手機器などにより変化します。

Bluetooth® 通信で送受信できるデータ

アドレス帳	アドレス帳の登録を 1 件ずつ送受信します。 ● 着信音やイルミネーション、画像、グループ、シークレットなどの設定内容は送受信できません。
カレンダー（スケジュール）	カレンダーに登録しているスケジュールを 1 件ずつ送受信します。 ● スケジュール通知、スケジュール通知音、イルミネーションなどの設定内容は送受信できません。 ● 706P に登録できる日時（☞P.13-5）の範囲外のスケジュールは、受信しても登録されません。
データフォルダ内のファイル	画像や音楽など、データフォルダに保存されているファイルを 1 件ずつ送受信します。 ● 著作権保護ファイルは送受信できない場合があります。

- 受信したアドレス帳またはスケジュールデータの内容によっては、上記以外にも登録できないことがあります。また、データの内容を自動的に修正して登録することがあります。
- 706P には、スケジュールは最大 100 件まで、アドレス帳は最大 500 件まで保存できます。データ受信中にそれぞれの最大数に達すると、それ以上受信できません。

Bluetooth® 通信利用時の注意

- 706P はすべての Bluetooth® 対応機器との接続／動作を保証するものではありません。
- 接続する Bluetooth® 機器は、Bluetooth®SIG の定める Bluetooth® 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 接続する Bluetooth® 機器が上記 Bluetooth® 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示・動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生することがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするとき、接続機器や通信環境により雑音が入ることがあります。
- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器の使いかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth® 接続について

Bluetooth® 対応機器と接続するときは、受信側の Bluetooth® 機能を有効にしておく必要があります。送信側からの接続要求を受け、受信側が接続許可を送ると接続が完了します。接続時に Bluetooth® パスコード（認証コード）が必要な場合があります。

接続するまでの動作の流れは次のようになります。

例）

Bluetooth® パスコード（認証コード）について

Bluetooth® パスコードは Bluetooth® 対応機器どうしを接続するための専用認証コード（4 ～ 16 桁の数字）です。機器登録を行うときには、受信側／送信側とも同じパスコードを入力する必要があります。

- すでに登録済みの機器の場合、パスコードの入力は必要ありません。

送信側から認証要求を受ける場合は、706P を公開しておく必要があります。（☞P.11-7）

Bluetooth® 機能を有効／無効にする

【お買い上げ時】OFF

データを受信するときやハンズフリー機器などと接続するときには、ON に設定してください。

- **ON** に設定すると、待受画面に「 」が表示されます。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 設定 ▶ ON/OFF

1 **ON**（有効）または **OFF**（無効）を選択 →

相手機器からの受信動作は、待受画面以外では受け付けられません。また、キー操作ロック設定中や誤操作防止設定中、ソフトウェア更新中も、受け付けられません。

Bluetooth® 対応機器を検索して登録する

近くにある Bluetooth® 対応機器を検索し、接続します。接続した機器は自動的に登録済みデバイスリストに登録されます。

- 登録した機器は、次回から Bluetooth® パスコード（認証コード）を入力する必要がなくなります。
- 一度に最大 20 件まで検索でき、最大 10 件まで登録済みデバイスリストに登録できます。
- 登録する機器の Bluetooth® 機能を有効にしておいてください。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 登録済みデバイス

1 **登録済みデバイスがない場合**

確認画面で

登録済みデバイスがある場合

[メニュー] → 周辺デバイス検索を選択 →

検索が始まり、706P に応答してきた機器の機器種別アイコンと機器名称が表示されます。

- 機器種別アイコンは次のとおりです。

パソコン	ヘッドセット
携帯電話など	その他

- 再度検索するには：**[メニュー] → 検索**を選択 →

2 機器を選択 →

3 Bluetooth® パスコード（4 ～ 16 桁の数字）を入力 →

- 30 秒以内に相手側で同じパスコードを入力すると、登録が完了します。
- 相手がハンズフリー機器などのときは、ハンズフリー機器側で決められているパスコードを入力すると、登録が完了します。

登録が完了すると、機器種別アイコンに「」のようにペアリングマークが付きます。

登録済みの機器をリストから削除するには

削除したい機器を選択 → **[メニュー]** → **削除**を選択 → → 確認画面で

登録した機器からの自動接続を承認するには

[メニュー] → **自動接続承認**を選択 →

- 自動接続を承認すると、機器種別アイコンに「」のようにチェックマークが付きます。
- 自動接続を承認した機器からデータを受信すると、接続要望画面は表示されず、直接受信確認画面が表示されます。

■ オプションメニュー

登録済みデバイスリスト上で機器を選択して [メニュー] を押すと、次の操作ができます。

周辺デバイス検索	近くにある Bluetooth® 対応機器を検索します。
自動接続承認／自動接続未承認	選択した機器からの自動接続を承認する／承認しないを切り替えます。
接続／切断	選択した機器と接続／切断します。
名称変更	選択した機器の、登録済みデバイスリストに表示される機器名を変更します。
削除	選択した機器を登録済みデバイスリストから削除します。
対応プロファイル	選択した機器のプロファイル情報を確認します。

706P を公開する

【お買い上げ時】常時公開

他の Bluetooth® 対応機器が周辺デバイス検索を行ったときに、706P の機器名を公開するかどうかを設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 設定 ▶ 公開設定

1 **常時公開**、**5 分間だけ公開**または**公開しない**を選択 →

Bluetooth® 通信でデータを送受信する

- Bluetooth® 通信で送受信できるデータについて（☞P.11-4）

データを送信する

1 送信するデータを選択 → ✉ **[メニュー]** → **送信**を選択 → ● →**Bluetooth** を選択 →

登録済みデバイスリストが表示されます。登録済みデバイスリストがない場合は、検索が自動的に開始されます。

2 受信側をデータ受信待機状態にする

3 送信先を選択 → ●

データの送信を開始します。

- まだ登録していない機器を選択した場合：Bluetooth® パスコード（4 ～ 16 桁の数字）を入力 → ● → 30 秒以内に相手側で同じパスコードを入力 → 登録が完了し、送信を開始します。

データを受信する

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 設定 ▶ ON/OFF

1 **ON** を選択 → ●

2 HLD で待受画面に戻る

画面上に「 」が表示され、待機状態になります。

3 送信側が送信の操作を行うと、接続要望画面が表示される

4 接続要望を許可するには ●

ファイル名とサイズが表示されます。

5 受信を開始するには ●

6 **データフォルダ内に保存されるデータを受信する場合**

本体または**メモリカード**を選択 → ●

データの受信を開始します。

アドレス帳／スケジュールデータを受信した場合

✉ **[保存]**

補足

- 送信側が 706P を検索／登録できない場合は、公開設定を確認してください。（☞P.11-7）
- 自動接続を承認した機器（☞P.11-7）からデータを受信した場合は、接続要望画面は表示されません。
- 待受画面以外ではデータの受信はできません。

Bluetooth® を使ってハンズフリー対応機器などと接続する

- あらかじめハンズフリー機器などを登録しておいてください。（☞P.11-6）

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 登録済みデバイス

1 機器を選択 → ［**メニュー**］ → **接続**を選択 →

接続が完了すると、機器種別アイコンに「 」のように接続中マークが付きます。

- 接続を解除するには：［**メニュー**］ → **切断**を選択 →

補足

- ハンズフリー機器使用時に、操作をしなくても自動的に電話の着信に応答できるように設定できます。（自動応答 ☞P.8-5）
- 電話発信ができるハンズフリー機器から発信するときは、待受画面で行ってください。

Bluetooth® の設定

デバイス名の変更

【お買い上げ時】706P

公開時に相手機器に表示される 706P のデバイス名を変更します。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 設定 ▶ デバイス名

1 デバイス名を入力 →

補足

絵文字をデバイス名として使用することはできません。

ハンズフリー設定

【お買い上げ時】ハンズフリーモード

ハンズフリー機器接続時に、706P の操作で発信したり着信に応答した場合の通話方法を設定します。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 設定 ▶ ハンズフリー設定

1 項目を選択 →

ハンズフリーモード	ハンズフリー機器を使って通話します。
プライベートモード	706P を使って通話します。

ハンズフリー機器の操作により通話を開始した場合は、設定内容にかかわらず、ハンズフリー機器での通話となります。

USB

706P とパソコンをソフトバンク指定の USB ケーブルで接続すると、次のようなことができます。

データ転送	706P のアドレス帳や音楽ファイル、静止画などをパソコンにバックアップしたり、パソコンで編集／作成した静止画を 706P に取り込んで利用したりできます。 ● 706P で利用できるのは、データフォルダに保存できるファイル形式のデータだけです。（☞P.10-3）
データ通信	706P をパソコンの外部モデムのように使って、インターネット接続ができます。 ● インターネット接続の確立については、ユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）に収録されているユーザーズガイドを参照してください。 ● データ通信を開始する前に、706P のアプリケーションをすべて終了させてください。

- 706P とパソコンを USB ケーブルで接続する場合、パソコンに「706P USB-Handset Manager」をインストールする必要があります。ご利用いただけるパソコンの動作環境やインストール手順などの詳細については、ユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）に収録されているセットアップガイドを参照してください。
- USB 利用中は、Bluetooth® 通信や赤外線通信を起動したり、設定することができません。

USB充電について

パソコンと706PをUSBケーブルで接続すると706Pを充電できます。その場合、次のことにご注意ください。

- パソコンや706Pの電源が切れている状態では充電できません。
- 急速充電器を使用した場合よりも充電時間が長くなり、フル充電に至らないことがあります。

ウェブ設定

Yahoo!ケータイ利用時に使用する接続設定を編集できます（追加、編集、削除）。

- 編集できないプロファイルもあります。

メインメニューから 設定 ▶ 外部接続 ▶ ウェブ設定

設定を編集するとウェブへの接続ができなくなることがあります。

セキュリティ

操作用暗証番号の変更

【お買い上げ時】9999

現在使用している操作用暗証番号を、新しい操作用暗証番号に変更します。

- 操作用暗証番号の詳細について（☞P.1-26）

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 暗証番号変更

1. 現在の操作用暗証番号（4 桁）を入力→
2. 新しい操作用暗証番号（4 桁）を入力→
3. もう一度新しい操作用暗証番号を入力→

PIN コード設定

- PIN コードの詳細について（☞P.1-8）

PIN1 コードを有効／無効にする

【お買い上げ時】OFF

電源を入れたときに PIN1 コードを入力して照合を行うかどうかを設定します。

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ PIN 入力 ▶ ON/OFF

1. **ON**（有効）または **OFF**（無効）を選択→
2. PIN1 コードを入力→

PIN 入力設定が **ON** で電源を入れた場合に表示される PIN コード入力画面では、緊急電話番号（110 ／ 119 ／ 118）への発信はできません。

PIN1 コードを変更する

【お買い上げ時】9999

PIN1 コードを変更するときは、あらかじめ **PIN 入力**を **ON** に設定してください。（☞P.12-2）

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ PIN 入力 ▶ PIN 変更

1 現在の PIN1 コードを入力 →

2 新しい PIN1 コードを入力 →

3 もう一度新しい PIN1 コードを入力 →

PIN2 コードを変更する

【お買い上げ時】9999

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ PIN2 変更

1 現在の PIN2 コードを入力 →

2 新しい PIN2 コードを入力 →

3 もう一度新しい PIN2 コードを入力 →

PIN ロックを解除する

PIN1 コードまたは PIN2 コードの入力を 3 回間違えると、PIN コードがロックされ、706P の使用が制限されます。PIN ロック解除コード（PUK コード）を入力して、PIN ロックを解除してください。

- PIN ロック解除コード（PUK コード）については、お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。

1 PIN ロックの状態で PIN1 ／ PIN2 の入力が必要な機能を選択 → PIN ロック解除コード（PUK コード）を入力 →

2 新しい PIN1 ／ PIN2 コードを入力 →

3 もう一度新しい PIN1 ／ PIN2 コードを入力 →

注意

- PIN ロック解除コードの入力を 10 回間違えると、USIM カードがロックされ、706P が使用できなくなります。（途中で電源を切っても連続として数えます。）PIN ロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIM カードがロックされたときは、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。

ロック機能

誤ってボタンを押すのを防ぐ（誤操作防止）

誤操作を防ぐために、ボタン操作ができないようにします。

- 設定すると待受画面に「 」が表示されます。

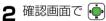
誤操作防止を設定する

1 待受画面で ●（1 秒以上）

2 確認画面で ●

誤操作防止を解除する

1 「 」が表示されている画面で ●

2 確認画面で ●

誤動作防止設定中も緊急電話番号（110／119／118）への発信はできます。ただし、番号を入力しても表示されません。番号を間違えた場合、 を押して最初から入力し直してください。

- **メインメニューから 設定 ▶ 一般設定 ▶ 誤操作防止** でも設定できます。
- 誤操作防止とキー操作ロックを両方設定した場合は、誤操作防止が優先されます。誤操作防止を解除後、待受画面のままで 2 分経過するとキー操作ロック状態になります。

他の人が使用できないようにする（キー操作ロック）

【お買い上げ時】OFF

電源を入れたときや、待受画面のままで 2 分経過したときに、操作用暗証番号を入力しないと 706P を使用できないように設定します。

- 設定すると待受画面に「 」が表示されます。
- 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

キー操作ロックを設定／解除する

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ キー操作ロック

1 **ON** または **OFF** を選択 → ●

2 確認画面で ●

3 操作用暗証番号（4 桁）を入力 → ●

キー操作ロックを一時的に解除するには

「 」が表示されている画面で、操作用暗証番号（4 桁）を入力 →

- 待受画面にインフォメーションが表示されているときは、キー操作ロック状態でも「 」は表示されません。インフォメーションを選ぶボタン操作などをすると、インフォメーションが消去されて「 」が表示されますので、操作用暗証番号（4 桁）を入力してください。

キー操作ロック設定中でも緊急電話番号（110 ／ 119 ／ 118）へは発信できます。

着信拒否

特定の種類の着信を拒否する

アドレス帳に登録されていない番号や番号非通知での着信など、特定の種類の着信を拒否できます。

メインメニューから **設定** ▶ **通話設定** ▶ **着信拒否**

1 **アドレス帳以外**、**非通知**、**公衆電話**または**通知不可**を選択 →

2 **拒否**または**許可**を選択 →

特定の電話番号からの着信を拒否する

受けたくない電話番号を拒否リストに登録して、着信を拒否できます。登録したら、**指定着信拒否設定を拒否**にしてください。

拒否リストに登録する

メインメニューから **設定** ▶ **通話設定** ▶ **着信拒否** ▶ **電話番号指定** ▶ **拒否リスト編集**

1 **[メニュー]**→ **追加**を選択 →

2 **アドレス帳**、**発着信履歴から選択**または**直接入力**を選択 →

3 アドレス帳／発着信履歴から選択、または直接電話番号を入力 →

拒否リストの番号を編集／削除するときは

拒否リスト画面で番号を選択 → **[メニュー]** → **編集**または**削除**を選択 →

指定着信拒否設定

【お買い上げ時】許可

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 着信拒否 ▶ 電話番号指定 ▶ 指定着信拒否設定

1 **拒否**または**許可**を選択 →

拒否した相手から電話がかかってきたら

着信動作は行わずに不在着信のインフォメーションが表示されます。 を押すと、不在着信履歴を確認できます。

- 非通知着信拒否の場合は、非通知解除の旨を、音声通話は音声ガイダンスで、TV コールは画像にて相手にお知らせします。

すべての着信を拒否したり、日本以外で電話を受けられないようにも設定できます。(発着信規制サービス☞P.14-8)

シークレットモードの設定

【お買い上げ時】OFF

シークレットメモリとして登録したデータは、通常アドレス帳には表示されません。シークレットメモリを利用したいときは、シークレットモードを **ON** にしてください。

画面に「 」が表示され、シークレットメモリを利用できます。

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ シークレットモード

1 **ON** または **OFF** を選択 →

2 操作用暗証番号（4 桁）を入力 →

- 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

シークレットモードが **OFF** のとき、シークレットメモリとして登録した相手との電話の発着信やメール／SMS の送受信時は、電話番号やメールアドレスのみが表示されます。

コンテンツ・キーを管理する

取得したコンテンツ・キー（コンテンツの使用権）をメモリカードにバックアップできます。バックアップしたコンテンツ・キーは、メモリカードから本体に転送することもできます。

- コンテンツ・キーの取得について（☞P.10-6）
- バックアップすることによって、機種変更などをしてもダウンロードしたファイルを利用することができます。（機種変更後の機種によっては、コンテンツ自体がサポートされていない場合があります。）

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ コンテンツ・キー ▶ メモリカードへ転送または メモリカードから転送

1 操作用暗証番号（4 桁）を入力 →

- 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

- 有効期限や使用可能回数に制限があるコンテンツ・キーは転送できません。
- 機種変更などを行う場合、メモリカードからコンテンツ・キーを転送できるのは対応機種のみです。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。
- コンテンツ・キーをメモリカードから 706P 本体へ転送するときは、706P 本体からメモリカードへの転送時に装着されていた USIM カードが必要となります。
- コンテンツ・キーの転送はコピーではなく移動です。706P 本体からメモリカードへ転送したコンテンツ・キーは 706P 本体内からはなくなります。また、メモリカードから 706P 本体へ転送したコンテンツ・キーはメモリカードからはなくなります。706P 本体から移動したコンテンツ・キーを必要とする著作権保護ファイルは再生できなくなります。再び 706P 本体へ転送して元に戻すと再生可能になります。
- バックアップは 1 回につき 1 つのバックアップファイルとして保存されます。再度バックアップすると前回バックアップしたファイルは上書きされますのでご注意ください。1 回バックアップしたあとに新しく取得したコンテンツ・キーも合わせてバックアップしたい場合、前回のバックアップファイルをいったん本体に転送し、再度バックアップすると、すべてのコンテンツ・キーをバックアップできます。

お買い上げ時の設定に戻す

設定内容をお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）

各種設定内容をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ リセット ▶ 設定リセット

1 確認画面で

2 操作用暗証番号（4 桁）を入力 →

自動的に電源が切れたあと、再び電源が入ります。

- 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

設定内容によっては、お買い上げ時の状態に戻らないことがあります。

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す（オールリセット）

設定リセットに加えて、アドレス帳やデータフォルダなどの登録内容をすべて消去し、お買い上げ時の状態に戻します。

メインメニューから 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ リセット ▶ オールリセット

1 確認画面で → 確認画面で

2 操作用暗証番号（4 桁）を入力 →

自動的に電源が切れたあと、再び電源が入ります。

- 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

3 日付を入力 → → 時刻を入力 →

- オールリセットは、電池がフル充電の状態（「」表示）で行ってください。
- オールリセットすると、お客様が登録した内容や履歴、ダウンロードした S! アプリなどは削除されます。元に戻すことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 706P に初めから登録されていたデータ（音楽ファイルや画像ファイル、定型文など）でお客様が削除したものは、オールリセットしても元に戻りません。
- 操作用暗証番号もお買い上げ時の状態に戻ります。
- USIM カードやメモリカードに登録されているデータは消去されません。

便利な機能

カレンダー

カレンダーを表示します。スケジュールを登録することもできます。

カレンダーを表示する

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

月単位のカレンダーが表示されます。

- 月表示の画面では、赤がカーソルの位置、赤枠が今日、水色がスケジュールが登録されている日を示します。（色は画面の配色パターンによって異なります。）
- スケジュールが登録されている日にカーソルを当てると、カレンダーの下に登録内容が3件まで表示されます。

月表示

■ 月表示画面での操作

項目	ボタン操作
カーソルの移動	
先月を表示	
翌月を表示	

カレンダーの表示を切り替える

【お買い上げ時】月表示

カレンダーを週単位で表示できます。
週表示にすると、1日のスケジュールの時間割を確認するのに便利です。

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 [**メニュー**] → **表示形式**を選択 →

2 **月表示**または**週表示**を選択 →

- 週表示の画面では、赤がカーソル位置、曜日の下の赤い線が今日、水色がスケジュールが登録されている曜日と時間を示します。（色は画面の配色パターンによって異なります。）

週表示

■ 週表示画面での操作

項目	ボタン操作
カーソルの移動	
一時間ずつ画面表示を移動	
次の時間帯を表示	
前の時間帯を表示	

13 便利な機能

スケジュールの詳細を表示する

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 詳細を表示する日を選択 →

2 表示するスケジュールを選択 →

スケジュールの詳細が表示されます。

3 確認を終了したら、

[戻る]

詳細表示

指定した日を表示する

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 月表示または週表示で、**[メニュー]** → **指定日へジャンプ**を選択 →

2 指定日を入力 →

カーソルが指定日へ移動します。

カレンダー設定

週の開始曜日を設定する

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 月表示または週表示で、**[メニュー]** → **設定**を選択 →

2 **週の開始曜日**を選択 →

3 曜日を選択 →

休日を設定する

休日に設定した曜日は、月表示と週表示で赤く表示されます。

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 月表示または週表示で、[メニュー]→**設定**を選択→

2 **休日設定**を選択→

3 曜日を選択→

曜日の左端のマークが「☑」に変わります。複数の休日を設定する場合は、手順3を繰返してください。

- もう一度を押すと選択が解除され、マークが「□」に戻ります。

4 [OK]

スケジュールを登録する

最大100件までスケジュールを登録できます。各スケジュールには次の項目を登録できます。

項目	内容	お買い上げ時
用件	スケジュール内容を登録します。(最大96文字)	–
カテゴリ	用件の分類を設定します。設定した分類のアイコンが「スケジュールアイコン」として待受画面に表示されます。	**カテゴリなし**
開始日時	開始日時を設定します。	**現在の日時**
終了日時	終了日時を設定します。	**現在の日時**
繰返し種別	スケジュールの繰返しパターンを設定します。	**繰返しなし**
スケジュール通知	スケジュールの開始日時またはその事前にスケジュール通知音で通知するように設定します。	**OFF**
場所	場所を入力します。(最大20文字)	–
スケジュール通知音	スケジュール通知音を設定します。	**スケジュール通知音**
スケジュール通知音量	スケジュール通知音の音量を設定します。	**レベル4**
イルミネーション	スケジュール通知起動時に点滅するイルミネーションのパターンを設定します。	**スカイブルー**

メインメニューから **ツール ▶ カレンダー**

1 で登録する日を選択 → [**メニュー**] → **新規登録**を選択 →

2 項目選択 →

3 次の各項目の操作を行う

	用件	タイトルや内容などを入力 →
	カテゴリ	カテゴリを選択 →
	開始日時	日付を入力 → → 時刻を入力 →
	終了日時	
	繰返し種別	**繰返しなし**、**毎日**、**毎週**、**毎月**または**毎年**を選択 → → 繰返し回数を入力 →
	スケジュール通知	**OFF**、**0 分**（開始時刻に通知）または **5 ～ 90 分前**を選択 →
	場所	場所を入力 →
	スケジュール通知音	**< スケジュール通知音 >** を選択 → または **着うた**・**メロディ**または**ミュージック**を選択 → → ファイルを選択 → [**決定**]
	スケジュール通知音量	または で音量を選択 →
	イルミネーション	色のパターンまたは **OFF** を選択 →

4 必要事項の入力が終了したら、[**保存**]

スケジュールアイコンについて

スケジュールを登録すると、カテゴリで設定した分類のアイコンが「スケジュールアイコン」として待受画面に表示されます。
例）「 」（会議）、「 」（記念日）、「 」（誕生日）など

- カテゴリで分類を設定しなかった場合は、「 」が表示されます。

スケジュールの登録状況を確認するには

スケジュールに登録できる件数（合計）と登録されている件数（使用中）を表示します。月表示または週表示で、
[**メニュー**] → **メモリ容量確認**を選択 →

2006 年 1 月 1 日 00 時 00 分から 2099 年 12 月 31 日 23 時 59 分までのスケジュールを登録できます。

スケジュール通知を設定した時刻になると

設定した内容に従って、スケジュール通知音やイルミネーションでお知らせします。スケジュール通知音を止めると同時にスケジュールの内容を確認できます。

1 スケジュール通知音が鳴ったら、[●]

スケジュール通知音が止まり、その日のスケジュール一覧画面が表示されます。

2 さらに詳細を確認するには、[●]

スケジュール通知音のみを止めるには（すぐに内容を確認しないとき）

- [HLD] または [Y!] **[停止]** を押すと、待受画面に戻ります。
- [HLD]、[Y!] **[停止]**、[✉] **[表示]** または [●] 以外のボタンを押すと、画面はそのままでスケジュール通知音のみ止まります。[●] を押すと内容を確認できます。

補足

次の場合は設定した時刻になってもスケジュール通知音は鳴りません。

- 通話中（スケジュール通知画面と振動でお知らせします。）
- マナーモード設定中（振動でお知らせします。）
- 電源を切っているとき（スケジュール通知は起動しません。）

スケジュールを編集する

メインメニューから **ツール** ▶ **カレンダー**

1 スケジュールを編集する日を選択 → [●]

2 編集するスケジュールを選択 → [✉] **[メニュー]** → **編集**を選択 → [●]

3 項目を選択 → [●] → 編集する

- 編集方法は登録時と同様です。（☞P.13-5）

4 編集を終了したら、[✉] **[保存]**

13 便利な機能

スケジュールを削除する

スケジュールをまとめて削除する

● 当日または前日までのスケジュールを削除する場合、繰返し設定されているものは削除できません。

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 スケジュールを削除する日を選択 → [メニュー] → **削除**を選択 →

2 **当日のスケジュールを削除する場合**
当日を選択 → → 確認画面で →
確認画面で
前日までのスケジュールを削除する場合
前日までを選択 → → 確認画面で →
確認画面で
登録されているすべてのスケジュールを削除する場合
すべてを選択 → → 確認画面で [YES]
→ 操作用暗証番号を入力 →

● 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

スケジュールを 1 件ずつ削除する

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 スケジュールを削除する日を選択 →

2 削除するスケジュールを選択 → [メニュー]
→ **削除**を選択 → → 確認画面で

スケジュールを送信する

スケジュールのデータを、赤外線通信や Bluetooth® 通信を利用して、各通信の対応機器（パソコンや携帯電話など）に送信できます。

● 赤外線通信について（☞P.11-2）

● Bluetooth® 通信について（☞P.11-4）

メインメニューから ツール ▶ カレンダー

1 送信するスケジュールが登録されている日を選択 →

2 送信するスケジュールを選択 → [メニュー]
→ **送信**を選択 →

3 **赤外線送信**または **Bluetooth** を選択 →

アラーム

指定した時刻にアラーム音を鳴らしてお知らせします。

アラームを登録する

アラームは最大 5 件まで登録できます。毎日、または指定した曜日の同じ時刻にアラーム音を鳴らすことができます。

● アラームを設定すると、待受画面に「」が表示されます。

項目	内容	お買い上げ時
アラーム ON/OFF	アラームを設定／解除します。	**OFF**
時刻	アラームを鳴らす時刻を設定します。	**00 : 00**
繰返し種別	繰返しの種類を設定します。	**繰返しなし**
アラーム音	アラーム音を設定します。	**アラーム音**
アラーム音量	アラーム音の音量を設定します。	**レベル 4**
画像登録	アラーム音が鳴っているときに表示される静止画を設定します。	**画像登録なし**
イルミネーション	アラーム音が鳴っているときに点滅するイルミネーションのパターンを設定します。	**ローズ**

13 便利な機能

メインメニューから **ツール** ▶ **アラーム**

1 登録するアラームを選択 →

2 項目を選択 →

3 次の各項目の操作を行う

／	**アラーム ON/OFF**	**ON** または **OFF** を選択 →
	時刻	アラームを鳴らす時刻を入力 →
	繰返し種別	**繰返しなし**、**毎日**または**毎週**を選択 →
	アラーム音	**＜アラーム音＞**を選択 → または **着うた・メロディ**または**ミュージック**を選択 → → ファイルを選択 → **[決定]**

	アラーム音量	または で音量を選択 →
	画像登録	静止画を選択 → [**決定**]
	イルミネーション	色のパターンまたは **OFF** を選択 →

4 必要事項の入力が終了したら、[**保存**]

アラームを設定した時刻になると

設定した内容に従って、アラーム音やイルミネーション、画像表示などでお知らせします。アラーム音は 30 秒間鳴ったあと、5 分間隔で最大 5 回まで鳴ります。(スヌーズ機能)

1 アラーム音が鳴ったら、 以外のボタンを押す

アラーム音が止まり、確認画面が表示されます。

- アラーム音を止めなくても、30 秒後にアラームは止まり、確認画面が表示されます。

2 **スヌーズ機能を停止する場合**

5 分後にまたアラーム音を鳴らす場合

[**スヌーズ**]

次の場合は設定した時刻になってもアラーム音は鳴りません。

- 通話中（アラーム通知画面と振動でお知らせします。）
- マナーモード設定中（振動でお知らせします。）
- 電源を切っているとき（アラームは起動しません。）

アラームを解除／再起動する

登録内容は保持したまま起動中のアラームを解除、または停止中のアラームを再起動できます。

メインメニューから ツール ▶ アラーム

1 アラーム登録を選択

起動中のアラーム登録には「 」、停止中のアラーム登録には「 」が表示されています。

2 [**メニュー**] → **アラーム ON** または**アラーム OFF** を選択 →

13 便利な機能

電卓

簡単な数値計算（加減乗除）ができます。

● 小数点を含む10桁まで表示できます。

メインメニューから ツール ▶ 電卓

項目	ボタン操作
数字の入力	0～9
＋	(右)
−	(左)
×	(上)
÷	(下)
＝	(決定)
小数点	(メール)
クリア	Y!／クリア/メモ
＋／−切替	#

負の数を入力するには

数字を入力したあとに # を押してください。もう一度押すと、正の数に戻ります。

■ **計算例（-17+28.5を計算する場合）**

-17+28.5=11.5

1 7 # (右) 2 8 (メール) 5 (決定)

ボイスレコーダー

自分の声などを録音したり、通話内容を録音して、音声メモを作成できます。（1件あたり最大60秒）

● 通話中の録音方法について（☞P.2-9）

録音する

メインメニューから ツール ▶ ボイスレコーダー

1 (決定)

録音が始まります。

2 録音を終了するときは、(決定)

● 録音した音声を再生して確認するには：(決定)

3 (メール)[保存]

録音した音声は着うた・メロディフォルダに保存されます。

オプションサービス

オプションサービスの概要

706P では、次のオプションサービスが利用できます。

- 電波の届かない場所では、706P からは操作できません。
- お申し込み、一般電話からの操作、サービスの詳細については「サービスガイド（3G）」を参照してください。

転送電話サービス（☞ 右記）	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。
留守番電話サービス（☞P.14-4）	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。 ● 着信お知らせ機能 電源を切っているときや圏外にいて受けられなかった着信を SMS にてお知らせします。
割込通話サービス※（☞P.14-6）	通話中の相手を保留にして、別の相手からの電話を受けられます。また、通話相手を切り替えることもできます。
多者通話サービス※（☞P.14-7）	通話中に別の相手に電話をかけ、相手を切り替えながら通話したり、自分も含め最大で 6 人同時に通話できます。
発着信規制サービス（☞P.14-8）	電話の発着信を状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス（☞P.14-10）	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。

※ 別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- 発着信規制サービスの**全発信規制**または**全着信規制**を設定中は、転送電話サービスはご利用になれません。（発着信規制サービスが優先されます。）

転送電話サービスを開始する

- サービスを開始すると待受画面に「 」が表示されます。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 転送電話 ▶ 音声・TV コール着信、音声着信または TV コール着信

1 **呼び出しなし**または**呼び出しあり**を選択 → [**メニュー**]

- **呼び出しなし**は、着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。
- **呼び出しあり**は、呼び出し時間（15 秒）内に応答できなかった着信を転送します。

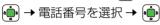
2 **ON** を選択 →

- サービスを停止する場合：**OFF** を選択 →

3 **直接転送先の電話番号を入力する場合**

直接入力を選択 → ● → 電話番号を入力 →

アドレス帳から転送先を選ぶ場合

アドレス帳を選択 → ● → 転送先を選択 →

● → 電話番号を選択 → ●

ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

呼び出しありに設定している場合、着信音が鳴っている間（呼び出し時間内）に を押すと、そのまま通話できます。 **[転送]** を押して転送することもできます。

転送電話サービスをすべて停止する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 転送電話 ▶ 留守番電話・転送電話停止

1 確認画面で ●

転送電話サービスの設定状況を確認する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 転送電話 ▶ 現在の設定確認

例）TV コール着信を呼び出しありに設定した場合

着信音を鳴らさずにすべての着信を転送するサービスは設定されておりません。

呼び出し時間（15 秒）内に応答できなかった TV コール着信を、電話番号 06XXXXXXXX に転送します。

- 転送先として登録できない電話番号
  - 「1」から始まる電話番号（例：110、119、118 など）
  - 「00」から始まる電話番号（例：001、0041 から始まる国際電話番号など）
  - 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
  - 「0990」から始まる電話番号（ダイヤル Q2 など）
- TV コールを転送するときは、3G-324M 規格に準拠した TV コール対応機を転送先に設定してください。それ以外の転送先へは転送されません。
- 転送電話サービスを 706P 本体に設定した簡易留守録（☞P.2-7）と合わせてご利用になるときは、呼び出し時間の短い方が優先されますのでご注意ください。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

留守番電話サービス

- 留守番電話センターへの転送は、転送電話サービスを利用します。そのため、転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- 発着信規制サービスの**全発信規制**または**全着信規制**を設定中は、留守番電話サービスはご利用になれません。（発着信規制サービスが優先されます。）
- 留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は「サービスガイド（3G）」を参照してください。
- TV コールの着信にはご利用になれません。

留守番電話サービスを開始する

- サービスを開始すると待受画面に「 」が表示されます。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 留守番電話 ▶ 留守番電話 ON

1 **呼び出しなし**または**呼び出しあり**を選択 →

- **呼び出しなし**は、着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。
- **呼び出しあり**は、呼び出し時間（15 秒）内に応答できなかった着信を転送します。

ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

呼び出しありに設定している場合、着信音が鳴っている間（呼び出し時間内）に を押すと、そのまま通話できます。 **[転送]** を押して転送することもできます。

留守番電話サービスをすべて停止する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 留守番電話 ▶ 留守番電話・転送電話停止

1 確認画面で

留守番電話サービスの設定状況を確認する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 留守番電話 ▶ 現在の設定確認

例）留守番電話 ON で呼び出しなしに設定した場合

着信音を鳴らさずにすべての音声着信を留守番電話センターに転送します。

呼び出し時間（15 秒）内に応答できなかった着信を転送するサービスは設定されておりません。

留守番電話サービスを 706P 本体に設定した簡易留守録（☞P.2-7）と合わせてご利用になるときは、呼び出し時間の短い方が優先されますのでご注意ください。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

伝言メッセージを再生する

留守番電話センターに新しい伝言メッセージが入ると、待受画面にインフォメーションと「📼」が表示されます。

- インフォメーション表示について（☞P.1-15）

1 インフォメーションの**留守電メッセージ**を選択 → ●

- 以降の操作はアナウンスに従ってください。
- 再生が終わると、インフォメーションと「📼」は消えます。

補足
- 待受画面で 1 を長押し（1 秒以上）しても再生できます。
- **メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 留守番電話 ▶ 留守番電話再生** でも再生できます。

着信お知らせ機能について

留守番電話サービスを ON にすると、電源を切っているときや圏外にいて受けられなかった着信を SMS にてお知らせします。

例１）伝言メッセージが録音された場合のインフォメーション表示

- 新着メールと留守電メッセージのインフォメーションが同時に表示されます。
- 伝言メッセージが録音されていない場合は、新着メールのインフォメーションのみが表示されます。
- 伝言メッセージを聞くには（☞ 左記）

例２）伝言メッセージが録音されていない場合の SMS の本文表示

- インフォメーションの**メール**を選択して SMS の本文を開くと、着信の内容が表示されます。
- 反転表示している相手の電話番号を利用して、発信やメール／ SMS の作成などができます。（☞P.15-19）

割込通話サービス

【別途お申し込みが必要です】

● TV コールではご利用になれません。

割込通話サービスを開始／停止する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 割込通話

ネットワーク接続後、現在の設定が表示されます。

1 ✉ **[メニュー] → ON** または **OFF** を選択 →
ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

割込通話を受ける

割込通話を受けると割込音が聞こえ、相手の電話番号が表示されます。

● アドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。

1 通話中に割込音が聞こえたら、[A/a]

通話していた相手を保留にし、別の相手と通話できます。

割込通話を拒否するには

割込音が聞こえたら、[Y!] **[拒否]** を押します。

割込通話中に通話相手を切り替えるには

[A/a] を押すたびに通話相手が切り替わります。

通話を終了するには

[HLD] を押すと、すべての通話が切れます。

通話中の相手が電話を切ると

通話中の電話は切れます。[A/a] を押すと、保留中の相手と通話できます。

● 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているとき、通話中にかかってきた電話を受けなければ、その電話は留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

● 留守番電話サービスまたは転送電話サービスで**呼び出しなし**に設定しているときは、割込通話は受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

14 オプションサービス

多者通話サービス

【別途お申し込みが必要です】

- TV コールではご利用になれません。

通話中に別の相手へ電話をかける

1 通話中に電話番号を入力 → [発信キー]

通話していた相手を保留にし、別の相手と通話できます。

アドレス帳を使って別の相手へ電話をかけるには

通話中に [メール]**[メニュー] → アドレス帳**を選択 → [決定] → アドレス帳の登録を選択 → [メール]**[貼り付け]** → [発信キー]

相手を切り替えながら通話する（切替通話）

1 通話中に [発信キー]

- [発信キー] を押すたびに通話中と保留中の相手が切り替わります。

[メール]**[メニュー] → 通話切り替え**を選択 → [決定] でも相手を切り替えられます。

複数で同時に通話する（多者通話）

1 切替通話中に、[メール]**[メニュー] → 多者通話**を選択 → [決定]

複数で同時に通話できます。

さらに相手を追加するには

① 多者通話中に電話番号を入力 → [発信キー]

先に通話していた多者通話と新しくかけた相手との切替通話になります。

② [メール]**[メニュー] → 多者通話**を選択 → [決定]

すべての人と同時に通話できます。

参加メンバーを確認するには

[メール]**[メニュー] → メンバー**を選択 → [決定]

参加メンバーの一覧が表示され、電話番号が確認できます。アドレス帳に登録されている場合は、名前が表示されます。

- 個別通話をするには：メンバーを選択 → [メール]**[メニュー] → 個別通話**を選択 → [決定]
- 通話を個別に終了するには：メンバーを選択 → [Y!]**[通話終了]**

通話を終了するには

- 切替通話中または多者通話中に [終話キー] を押すと、すべての通話が同時に切れます。
- 多者通話中のメンバーが電話を切った場合、または切替通話で保留中の相手が電話を切った場合は、残った人での通話になります。
- 切替通話で通話中の相手が電話を切った場合、[発信キー] を押すと、保留中の相手と通話できます。

発着信規制サービス

電話（音声電話／TV コール）の発着信や SMS の送受信を規制します。

- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、音声電話に対する**全発信規制**および**全着信規制**はご利用になれません。（TV コールの発着信や SMS の送受信に対する**全発信規制**および**全着信規制**は利用できます。音声電話の発着信のみ、転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます。）

発信規制	**全発信規制**	**緊急通話を除くすべての電話がかけられません。**
	滞在国以外規制	**滞在国以外への電話がかけられません。**
	日本／滞在国以外規制	**滞在国と日本以外への国際電話がかけられません。**
着信規制	**全着信規制**	**すべての電話が受けられません。**
	国際着信規制	**日本以外で電話が受けられません。**

- サービスをご利用になるためには、発着信規制用暗証番号（☞P.1-26）が必要です。

発着信規制用暗証番号の入力を 3 回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。

- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されますが、お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。
- 706P 本体の設定で、非通知での着信や、特定の電話番号からの着信を拒否できます。（☞P.12-5）

発信規制の設定

発信規制を発信の種類ごとに設定／解除します。設定を確認することもできます。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 発着信規制 ▶ 発信規制

1 **全発信規制**、**滞在国以外規制**または**日本／滞在国以外規制**を選択 → [**メニュー**]

2 **ON**、**OFF** または**設定確認**を選択 →

設定確認を選択すると、ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

ON または **OFF** を選択した場合は手順 3 へ。

3 規制暗証番号（4 桁）を入力 →

ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

発信規制設定中でも緊急電話番号（110／119／118）へは発信できます。

着信規制の設定

着信規制を着信の種類ごとに設定／解除します。設定を確認することもできます。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 発着信規制 ▶ 着信規制

1 **全着信規制**または**国際着信規制** → [メニュー]

2 **ON**、**OFF** または**設定確認**を選択 →

設定確認を選択すると、ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

ON または **OFF** を選択した場合は手順 3 へ。

3 規制暗証番号（4 桁）を入力 →

ネットワーク接続後、設定確認画面が表示されます。

発着信規制サービスをすべて停止する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 発着信規制 ▶ 規制全停止

1 規制暗証番号（4 桁）を入力 →

発着信規制サービスの設定状況を確認する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 発着信規制 ▶ 現在の設定確認

規制暗証番号を変更する

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 発着信規制 ▶ 規制暗証番号

1 現在の規制暗証番号（4 桁）を入力 →

2 新しい規制暗証番号（4 桁）を入力 →

3 もう一度新しい規制暗証番号を入力 →

発信者番号通知サービス

【お買い上げ時】ネットワーク依存

- **ネットワーク依存**に設定すると、お申し込みいただいた設定になります。

メインメニューから 設定 ▶ 通話設定 ▶ 発信者番号通知

1 **通知する**、**通知しない**または**ネットワーク依存**を選択 →

補足

ここでの設定にかかわらず、電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルすると、発信ごとに電話番号の通知／非通知を選べます。

通知	1 8 6 または * 3 1 #
非通知	1 8 4 または # 3 1 #

14

オプションサービス

メールについて

706P では、次の 2 つのメッセージサービスが利用できます。

メール	ソフトバンク携帯電話やパソコン、E メール に対応している携帯電話などとの間で、長いメッセージや画像、音楽ファイルなどを送受信できます。
SMS（ショートメッセージサービス）	ソフトバンク携帯電話どうしでご契約の電話番号を宛先として、短い文字メッセージを送受信できます。

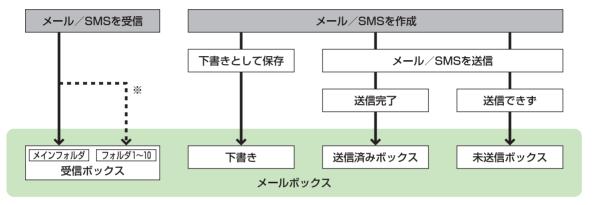
- メール／ SMS の通信料など詳しくは、「サービスガイド（3G）」を参照してください。
- メールの利用と E メールの受信には、別途ご契約が必要です。

入力可能項目と最大送信可能文字数

項目		メール		SMS	
宛先	**メールアドレス**	○	半角で 246 文字／最大 20 件	×	−
	電話番号	○		○	半角で 20 文字／1 件のみ
件名		○	全角または半角で 256 文字	×	−
本文		○	全角または半角で 5000 文字	○	全角または半角で 70 文字
添付ファイル		○	最大 20 ファイル	×	−

- メールは 1 件につき、件名、本文、添付ファイルなどを合わせて最大約 300KB です。（添付ファイルのデータ量によって、最大送信可能文字数は異なります。）
- メール本文の入力可能文字数は、空きメモリが 20KB 以下になると、5000 文字より少なくなります。不要なメールを削除してください。（☞P.15-21）
- 宛先の電話番号にはソフトバンク携帯電話番号を指定してください。
- SMS は作成中にメールに切り替えられますが（☞P.15-9）、メールは SMS に切り替えられません。

メールボックスについて

送受信したメールやSMSは、次のようにフォルダで管理されます。

※ 振り分け設定（☞P.15-24）をすると、受信メールを指定したフォルダに自動的に振り分けます。

メール／SMS の蓄積メモリについて

メールボックス（受信ボックス、下書き、送信済みボックス、未送信ボックス）の合計で、メールは最大 1000 件まで（約 5MB)、SMS は最大 500 件まで保存できます。

メールの蓄積メモリがいっぱいになると

- 待受画面に「 」（メールがいっぱいのため、サーバーに未受信メールがあります）が表示され、その状態でメールを受信すると警告メッセージが表示されます。不要なメールを削除してください。（☞P.15-21）サーバーに未受信メールが残っていると「 」表示は消えません。**メインメニューから メール ▶ 新着メール受信** を行ってください。
- メールの蓄積メモリがいっぱい（空きメモリが 10KB 以下）になると、メールの新規作成、編集、返信、転送などの操作ができません。不要なメールを削除してください。（☞P.15-21）

SMS の蓄積メモリがいっぱいになると

- 本体の SMS メモリがいっぱいの状態で SMS を受信すると、自動的に USIM カードに保存されます。（アイコンに USIM カードマークが付き、受信ボックスに表示されます。）本体と USIM カードのメモリがいっぱいになると、待受画面に「 」（SMS がいっぱいです）が表示され、その状態で SMS を受信すると警告メッセージが表示されます。不要な SMS を削除してください。（☞P.15-21）

メール／SMS の蓄積メモリを確認する

メールと SMS の蓄積メモリをそれぞれ確認できます。

メインメニューから メール ▶ メモリ容量確認 ▶ メールまたは SMS

例）メールのメモリ容量確認画面

メール／SMS 画面の見かた

一覧画面

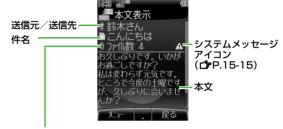
リストで選択されているメールの送受信日時と件名、または SMS の送受信日時と本文

例）受信ボックスのメインフォルダ

メールの種類／状態アイコン

メールの種類と状態のアイコンが組み合わせで表示されます。

メールの種類	メールの状態
／ 未読／既読のメール	添付ファイルがあります
／ 未読／既読のメール通知	（金色）保護されています
／ 未読／既読のSMS （本体）	
／ 未読／既読のSMS （USIM）	

本文表示画面

添付ファイルの数

画像、音声、動画、テキストなどの添付ファイルの数が表示されます。

HTML ファイルの場合は「HTML」が表示されます。

メールアドレスの変更

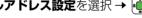
メールアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。ご契約時はランダムな英数字が設定されています。迷惑防止のためにも、メールアドレスの変更をおすすめします。

- 詳しくは「サービスガイド（3G）」を参照してください。

- オフラインモード中は変更できません。
- ウェブ接続後の操作について（☞P.16-5）

メインメニューから メール ▶ 設定

1 **メールアドレス設定**を選択 →

ウェブに接続します。

以降は画面の指示に従って操作してください。

メール／SMS送信

メールを作成／送信する

- 入力可能項目と最大送信可能文字数について（☞P.15-2）
- 文字の入力方法について（☞P.3-2）

メインメニューから メール ▶ 新規作成

メール新規作成画面

1 **宛先を入力するには**

<宛先入力>を選択 → → アドレス帳から宛先を選択 → → メールアドレスまたは電話番号を選択 →

- 宛先を直接入力するには：**<宛先入力>**を選択 → → **電話番号入力**または**Eメールアドレス入力**を選択 → → 電話番号またはEメールアドレスを入力 →
- 宛先リストを編集するには（☞P.15-8）

2 件名を入力するには

<件名入力>を選択 → → 件名を入力 →

3 本文を入力するには

<本文入力>を選択 → → 本文を入力 →

4 ファイルを添付するには

<添付ファイル追加>を選択 → → **ピクチャー**、**着うた・メロディ**、**ムービー**または**ミュージック**を選択 → → ファイルを選択 → **[決定]**

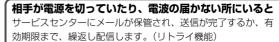
添付されたファイル数が表示されます。

- データフォルダについて（☞P.10-2）
- 添付ファイルを追加するには（☞P.15-8）

5 メールを送信するには

送信を選択 →

相手が電源を切っていたり、電波の届かない所にいると

サービスセンターにメールが保管され、送信が完了するか、有効期限まで、繰返し配信します。（リトライ機能）

送信したメールが届いたかどうか確認したいときは

送信したメールが相手に届くと配信確認のレポートが通知されるように設定できます。

手順2のあと **[メニュー]** → **配信確認**を選択 → → **ON**を選択 →

- 常に配信確認を**ON**にしたいときは（☞P.15-23）

送信に失敗した場合

メールメニュー画面の未送信ボックスに、未送信件数が表示されます。

- 宛先を入力しないと、新規作成画面に**送信**は表示されません。
- ファイルの種類や容量によっては添付できない場合があります。
- 著作権で保護されているファイルは送信できない場合があります。

宛先リストを編集する

■ 宛先（「To」）を追加する

宛先として指定したアドレス／電話番号は「To」として送信されます。複数の宛先を「To」リストに追加できます。

1 新規作成画面で宛先欄を選択 → ●

「To」リストが表示されます。

2 ✉ **[メニュー]** → **追加**を選択 → ● → 宛先を選択または入力 → ●

- リストから削除したい場合：✉ **[メニュー]** → **削除**を選択 → ●

■ 「Cc」「Bcc」を指定する

宛先は「To」以外にも、「Cc」または「Bcc」として指定できます。「Cc」と「Bcc」にはコピーが送信されます。「Bcc」に指定したアドレス／電話番号は、「To」と「Cc」の宛先には表示されません。

- 「Cc」の宛先には「CC」、「Bcc」の宛先には「BCC」が表示されます。

1 新規作成画面で ✉ **[メニュー]** → **Cc 編集**または **Bcc 編集**を選択 → ●

「Cc」または「Bcc」リストが表示されます。

2 **<新規追加>**を選択 → ● → 宛先を選択または入力 → ●

- さらに追加する場合：✉ **[メニュー]** → **追加**を選択 → ● → 宛先を選択または入力 → ●
- リストから削除したい場合：✉ **[メニュー]** → **削除**を選択 → ●

3 新規作成画面に戻るには、Y! **[戻る]**

添付ファイルを追加する

1 新規作成画面で添付ファイル欄を選択 → ●

添付ファイルリストが表示されます。

2 ✉ **[メニュー]** → **追加**を選択 → ●

- リストから削除したい場合：✉ **[メニュー]** → **削除**を選択 → ●

3 **ピクチャー**、**着うた・メロディ**、**ムービー**または**ミュージック**を選択 → ● → ファイルを選択 → ✉ **[決定]**

4 新規作成画面に戻るには、Y! **[戻る]**

SMS を作成／送信する

- 入力可能項目と最大送信可能文字数について（☞P.15-2）
- 文字の入力方法について（☞P.3-2）

メインメニューから メール ▶ SMS 新規作成

SMS 新規作成画面

1 宛先を入力するには

<宛先入力>を選択 → → アドレス帳から宛先を選択 → → 電話番号を選択 →

- 宛先を直接入力するには：**<宛先入力>**を選択 → → **電話番号入力**を選択 → → 電話番号を入力 →

2 本文を入力するには

<本文入力>を選択 → → 本文を入力 →

3 SMS を送信するには

送信を選択 →

本文が送信可能文字数を超えると

自動的に入力可能文字数が増えます。引き続き入力できますが、本文を確定するときにメールに切り替えるかどうかのメッセージが表示されます。

作成中の SMS をメールに切り替えるには

新規作成画面で **[メニュー]** → **メールタイプ切替**を選択 →

送信した SMS が届いたかどうか確認したいときは

送信した SMS が相手に届くと配信確認のレポートが通知されるように設定できます。

手順 2 のあと **[メニュー]** → **送信設定**を選択 → → **配信確認**を選択 → → **ON** を選択 →

- 常に配信確認を **ON** にしたいときは（☞P.15-23）

送信した SMS のメールサーバーでの有効期限を設定するには

保管された SMS は、設定された有効期限が経過されると削除されます。

手順 2 のあと **[メニュー]** → **送信設定**を選択 → → **有効期限設定**を選択 → → 期間を選択 →

- 送信するすべての SMS の有効期限を設定するには（☞P.15-26）

送信に失敗した場合

メールメニュー画面の未送信ボックスに、未送信件数が表示されます。

補足

- 宛先を入力しないと、新規作成画面に**送信**は表示されません。
- 送信した SMS を保存しないように設定できます。(☞P.15-26)

宛先の電話番号を修正する

1 SMS 新規作成画面で宛先欄を選択 → [決定]

2 [決定] → 修正する → [決定]

3 SMS 新規作成画面に戻るには、[Y!] **[戻る]**

宛先の番号を削除してから入力し直すには

手順 2 で [✉] **[メニュー]** → **削除**を選択 → [決定] → **<新規追加>**を選択 → [決定] → アドレス帳から選び直す、または**電話番号入力**を選択 → [決定] → 電話番号を入力 → [決定]

下書きを利用する

作成したメール／ SMS を下書きとして保存しておき、あとで修正したり、送信できます。

作成したメール／ SMS を下書きとして保存する

1 メール／ SMS を作成したら、新規作成画面で [✉] **[メニュー]** → **下書き保存**を選択 → [決定]

下書きしたメール／ SMS を修正／送信する

メインメニューから メール ▶ 下書き

1 修正する場合は、メール／ SMS を選択 → [決定]

2 [✉] **[メニュー]** → **編集**を選択 → [決定] → 修正する

3 修正が終わったら、**送信**を選択 → [決定]

15 メール

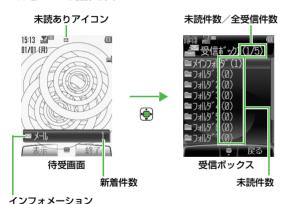
メール／SMS受信

新着メール／SMSを確認する

メール／SMSを受信すると、メール着信音やイルミネーション点滅などのあと、待受画面にインフォメーションが表示されます。

● インフォメーションや受信ボックスに表示される件数は、メールとSMSの合計です。

1 インフォメーションの**メール**を選択 →

受信ボックスが表示されます。

2 **メインフォルダ**を選択 →

3 一覧画面から未読のメール／SMSを選択 →

● メール／SMS画面の見かたについて（☞P.15-5）

● 続きのあるメールを受信するには（☞P.15-12）

● メール／SMSの内容を確認するには（☞P.15-14）

待受画面以外でメール／SMSを受信した場合

メール着信音やイルミネーション点滅などと同時に「✉」が点滅し、メール／SMSを受信した旨のメッセージが表示されます。

● 通話中はメール着信音の代わりに受話口から電子音が「プープー」と鳴ります。待受画面に戻ると、インフォメーションを確認できます。

● メディアプレイヤー再生中は、イルミネーションと「✉」が点滅します。（着信音とメッセージの表示はありません。）

インフォメーションを受けとる前に、手動で新着メールを確認するには

次の場合は手動で新着メールを確認できます。

● 圏外などにいて受信できていないメールをすぐに確認したい

● メモリが足りなくて受信できていないメールを、不要なメールを削除したあとすぐに確認したい、など

自動受信の設定（☞P.15-25）にかかわらず、すべての文章を受信します。

メインメニューから メール ▶ 新着メール受信

「無効なSMS」と表示されるSMSは、本文を表示できません。待受画面に「✉」（未読あり）が表示されたままとなりますので、削除してください。（削除以外の操作はできません。）

- メール／SMS受信時の着信音や着信音量、着信音の鳴動時間、イルミネーションなどは変更できます。（音の設定 ☞P.7-7、P.7-8／イルミネーション設定 ☞P.8-2）
- アドレス帳登録時にメール着信音を個別に設定できます。（☞P.4-4）
- 706Pを閉じているときに受信した場合、開けたときに受信ボックスを直接表示するように設定できます。（オープン新着表示設定 ☞P.15-23）
- 振り分け設定（☞P.15-24）をすると、受信メール／SMSを指定したフォルダに自動的に振り分けます。

メールの続きを受信する

サービスセンターに蓄積されたメールの一部（先頭部分）をメール通知として受信した場合、その続きは手動で受信してください。

- 受信ボックス内のメール通知には「✉（未読）／✉（既読）」が表示されています。続きを受信すると「✉」に変わります。
- 国内でのお買い上げ時の設定は、電話番号での受信のみ自動受信します。受信方法は変更できます。（自動受信の設定 ☞P.15-25）

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択 → ●

2 **一覧画面から受信する場合**

メール通知を選択 → ✉ **[メニュー]** → **受信**を選択 → ●

メール通知の本文表示画面から受信する場合

メール通知を選択 → ● → 本文一番下の、**続きあり**を選択 → ●

メールの続きを受信せずにサーバーメールを削除することもできます。（☞P.15-22）

15 メール

サーバーメールを利用する

サービスセンターに一時蓄積されているメール（サーバーメール）の一覧（メールリスト）を使って、サーバーメールを受信、転送、削除できます。

メールリストを取得する

メインメニューから **メール ▶ サーバーメール操作 ▶ メールリスト**

1 [**更新**] → 確認画面で

メールリストが表示されます。

一度受信したメールリストを更新するには
手順 1 で、[**メニュー**] → **リスト更新**を選択 →

サーバーメールを受信する

メールリストからメールを選んで受信できます。受信したメールは受信ボックスに保存され、メールリストからは削除されます。

メインメニューから **メール ▶ サーバーメール操作 ▶ メールリスト**

1 受信したいメールを選択 → [**メニュー**] → **受信**を選択 →

サーバーメールを転送する

メールリストからメールを選んで転送できます。転送したメールはメールリストからは削除されません。

メインメニューから **メール ▶ サーバーメール操作 ▶ メールリスト**

1 転送したいメールを選択 → [**メニュー**] → **サーバーメール転送**を選択 →

2 **<宛先入力>**を選択 → → 宛先を選択または入力 →

3 **送信**を選択 →

15 メール

サーバーメールを削除する

サーバーメールを 1 件ずつ、または一度にすべて削除できます。

メインメニューから **メール** ▶ **サーバーメール操作**

1 1 件ずつ削除する場合

メールリストを選択 → ● → 削除したいメールを選択 → ✉ **[メニュー]** → **サーバーメール削除**を選択 → ● → 確認画面で ●

すべて削除する場合

サーバーメール全削除を選択 → ● → 確認画面で ✉ **[YES]**

メール／ SMS の利用

メール／ SMS の内容を確認する

メインメニューから **メール** ▶ **受信ボックス、下書き、送信済みボックス**または**未送信ボックス**

1 メール／ SMS を選択 → ●

- 受信ボックスの場合は、フォルダを選択してからメール／ SMS を選択してください。
- 添付ファイルを確認／保存するには（☞P.15-15）

文字サイズを変更するには

メール／ SMS の本文表示画面で ✉ **[メニュー]**（→ **サブ機能**を選択 → ●）※ 1 → **文字サイズ**を選択 → ●

※ 1 受信ボックスのメールの本文表示画面の場合のみ

メール／ SMS の詳細を確認するには

件名、送信元（From）、宛先（To、Cc、Bcc）、Reply-to、日付、サイズ、メール種別、添付ファイルの有無などを確認できます。確認できる詳細は、保存されているメールボックスやメールの種類によって異なります。

一覧画面または本文表示画面で ✉ **[メニュー]**（→ **サブ機能**を選択 → ●）※ 2 → **詳細**を選択 → ●

※ 2 受信ボックスの一覧画面とメールの本文表示画面の場合のみ

受信メールのシステムメッセージを確認するには
システムメッセージとは、受信時の不具合（添付ファイルが一部受信できなかったなど）をお知らせするメッセージです。受信したメールにシステムメッセージが付加されている場合、本文表示画面の添付ファイル欄の右側に「⚠」が表示されます。
メールの本文表示画面で ✉ **[メニュー] → サブ機能**を選択 → ● → **システムメッセージ**を選択 → ●

電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間保存されているメールの宛先などは、アドレス帳に名前を登録していても、電話番号やメールアドレスで表示されます。この場合は、一度待受画面に戻り、しばらくしてから再確認すると名前が表示されます。

添付ファイルを確認／保存する

- 確認／保存できるファイル形式について（☞P.10-3）

1 本文表示画面で ✉ **[メニュー] → 添付ファイル一覧**を選択 → ●

2 ファイルを選択 → ●
- ファイルが複数ある場合は、Y! **[戻る]** を押して一覧画面に戻ってから手順 2 を繰返してください。

3 保存する場合は、一覧画面で ✉ **[保存]** → **本体**または**メモリカード**を選択 → ●

コンテンツ・キーについて
コンテンツ・キー（コンテンツの使用権）が必要なファイルのアイコンには「🔒（銀色）」が表示されています。コンテンツ・キーが有効期限切れなどの場合は、新たに取得しないと表示や再生ができません。その場合、手順 2 のあとで警告メッセージが表示されます。

添付ファイルを本文中に表示するには
複数の音楽ファイルがある場合は 1 つ目が再生され、画像ファイルはすべて本文のあとに表示されます。
本文表示画面で ✉ **[メニュー] → 添付ファイル再生**を選択 → ●
- 再生可能なファイル形式は次のとおりです。
  音楽ファイル（SMAF、AMR、MIDI、SP-MIDI）
  画像ファイル（JPG、GIF、PNG、BMP、WBMP）

HTML メールを表示するには
パソコンなどで作成した HTML メール（文字の修飾や色、画像の貼り付けが可能なメール）が送られてくると、本文表示画面の添付ファイル欄のアイコンが「HTML」になります。
本文表示画面で ✉ **[メニュー] → HTML 再生**を選択 → ●
- 再生可能なファイル形式は次のとおりです。
  音楽ファイル（SMAF、AMR、MP4、MIDI、SP-MIDI）
  画像ファイル（JPG、GIF、PNG、BMP、WBMP）
  音楽ファイルは HTML コンテンツの記述により、再生できない場合があります。

画像ファイルの場合、相手の撮影方法によっては画像の方向が回転して表示されることがあります。

受信メール／ SMS をフォルダで管理する

受信ボックスにはメインフォルダ以外にフォルダが 10 個あります。フォルダの名前を変更して、フォルダ間でメール／ SMS を移動して管理できます。また、振り分け設定（☞P.15-24）をすると、受信メール／ SMS を宛先や件名によって指定したフォルダに自動的に振り分けることができます。

フォルダの名前を変更する

- メインフォルダの名前を変えることはできません。

メインメニューから **メール ▶ 受信ボックス**

1 フォルダを選択 → **[名称変更]**

2 フォルダ名を入力 →

フォルダ間でメール／ SMS を移動する

メインメニューから **メール ▶ 受信ボックス**

1 フォルダを選択 →

2 移動したいメール／ SMS を選択 → **[メニュー]** → **移動**を選択 →

- SMS を移動する場合：さらに**フォルダ移動**を選択 →

3 移動先のフォルダを選択 →

USIM カードに保存された SMS は移動できません。

メール／SMSを返信する

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択 → ●

2 返信したいメール／SMSを選択 → ✉[メニュー] → **返信**を選択 → ●

- 本文表示画面からも操作できます。
- メールを返信する場合は、件名の先頭に、返信を示す「Re:」が付きます。
- 「Cc」「Bcc」があるメールに返信する場合は、さらに**返信**または**全員に返信**を選択 → ●

3 内容を編集したら、**送信**を選択 → ●

メールを返信するときに、受信した本文を引用するように設定できます。(☞P.15-25) SMSを返信するときは、受信した本文を引用できません。

メール／SMSを転送する

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択 → ●

2 転送したいメール／SMSを選択 → ✉[メニュー] → **転送**を選択 → ●

- 本文表示画面からも操作できます。
- メールを転送する場合は、件名の先頭に、転送を示す「Fw:」が付きます。本文が引用され、先頭に「>」が付きます。
- 添付ファイルがある場合は、添付ファイルも転送されます。

3 宛先を入力して内容を編集したら、**送信**を選択 → ●

メール通知／サーバーメールを転送するには

メール通知を転送したり、メール通知を使ってサーバーメールを転送することもできます。手順2で、転送したいメール通知を選択 → ✉[メニュー] → **転送**を選択 → ● → **転送**または**サーバーメール転送**を選択 → ●

著作権保護ファイルを含むメールの場合、転送できないことがあります。

送信元の相手の電話番号／メールアドレスを利用する

送信元の相手に電話をかける

メインメニューから **メール ▶ 受信ボックス**

1 フォルダを選択 →

2 メール／ SMS を選択 → **[メニュー]** → **発信**を選択 →

● 本文表示画面からも操作できます。

3 **音声**または **TV コール**を選択 →

送信元の相手の電話番号／メールアドレスをアドレス帳に登録する

メインメニューから **メール ▶ 受信ボックス**

1 フォルダを選択 →

2 メール／ SMS を選択 → **[メニュー]** → **送信元をアドレス帳へ登録**を選択 →

● 本文表示画面からも操作できます。

3 **新規登録**または追加登録する相手を選択 → → 他の項目を入力し、保存する（☞P.4-4 手順 1 以降）

15 メール

本文内の電話番号／メールアドレス／URLを利用する

電話番号を利用する

メール／SMS本文内の電話番号を利用して、発信、メール／SMSの新規作成、アドレス帳への登録ができます。

- 反転表示している電話番号のみ利用できます。

1 本文表示画面で電話番号を選択→[決定キー]

2 **電話をかける場合**

発信を選択→[決定キー]→**音声**または**TVコール**を選択→[決定キー]

メール／SMSを新規作成する場合

メール新規作成を選択→[決定キー]→**メール**または**SMS**を選択→[決定キー]→他の項目を入力し、送信する（メール☞P.15-7手順2以降／SMS☞P.15-9手順2以降）

アドレス帳に登録する場合

アドレス帳へ登録を選択→[決定キー]→**新規登録**または追加登録する相手を選択→[決定キー]→他の項目を入力し、保存する（☞P.4-4手順1以降）

メールアドレスを利用する

メール／SMS本文内のメールアドレスを利用して、メールの新規作成、アドレス帳への登録ができます。

- 反転表示しているメールアドレスのみ利用できます。

1 本文表示画面でメールアドレスを選択→[決定キー]

2 **メールを新規作成する場合**

メール新規作成を選択→[決定キー]→他の項目を入力し、送信する（☞P.15-7手順2以降）

アドレス帳に登録する場合

アドレス帳へ登録を選択→[決定キー]→**新規登録**または追加登録する相手を選択→[決定キー]→他の項目を入力し、保存する（☞P.4-4手順1以降）

URLを利用する

メール／SMS本文内のURLを利用して、ウェブにアクセス、ブックマークに追加登録ができます。

- 反転表示しているURLのみ利用できます。
- ブックマークについて（☞P.16-7）

1 本文表示画面でURLを選択→●

2 **ウェブにアクセスする場合**
URLに接続を選択→●

- ウェブアクセス中の操作について（☞P.16-5）

ブックマークに追加登録する場合
ブックマークに追加を選択→●→タイトルを編集→●→フォルダを選択→●

15 メール

メール／SMSを保護する

受信ボックスと送信済みボックス内の削除したくないメール／SMSを保護できます。

- 保護されたメール／SMSには「🔒（金色）」が表示されます。
- USIMカードに保存されたSMSは保護できません。

受信ボックスのメール／SMSを保護／保護解除する

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択→●

2 メール／SMSを選択→✉**[メニュー]**→**サブ機能**を選択→●

3 **保護**／**保護解除**を選択→●

送信済みボックスのメール／SMSを保護／保護解除する

メインメニューから メール ▶ 送信済みボックス

1 メール／SMSを選択→✉**[メニュー]**→**保護**／**保護解除**を選択→●

メール／ SMS を削除する

各メールボックス内のメールやメール通知、SMS を削除できます。メール通知を受信してもメールの続きを受信せずに、サーバーメールを削除することもできます。

メール／ SMS を 1 件ずつ削除する

1. 一覧画面で削除したいメール／ SMS を選択 → [**メニュー**] → **削除**を選択 →
2. **1 件削除**を選択 → → 確認画面で

本文表示中に削除するには
本文表示画面で [**メニュー**] → **削除**を選択 → → 確認画面で

複数のメール／ SMS を一度に削除する

1. 一覧画面で [**メニュー**] → **削除**を選択 → → **選択削除**を選択 →
2. 削除したいメール／ SMS を選択 →
   メール／ SMS の左端のマークが「 」に変わります。
   - もう一度 を押すと選択が解除され、マークが「 」に戻ります。
3. 手順 2 を繰返して、削除したいメール／ SMS をすべて選択
4. [**削除**] → 確認画面で

メールボックス内のメール／ SMS をすべて削除する

1. 一覧画面で [**メニュー**] → **削除**を選択 →
2. **全件削除**を選択 → → 確認画面で **[YES]**
3. 操作用暗証番号（4 桁）を入力 →
   - 操作用暗証番号について（☞P.1-26）

15

メール

メール通知からサーバーメールを削除する

1 受信ボックスの一覧画面でメール通知を選択 → [✉][**メニュー**] → **削除**を選択 → [●]

2 **サーバーメール削除**を選択 → [●] → 確認画面で [●]

補足 保護されたメール／SMS や USIM カードに保存された SMS の**選択削除**／**全件削除**はできません。

SMS をコピーする

本体に保存されている SMS を USIM にコピーできます。また、USIM に保存されている SMS を本体にコピーできます。

- USIM にコピーされた SMS は「 ／ 」と表示されます。

メインメニューから メール ▶ 受信ボックス

1 フォルダを選択 → [●]

2 コピーしたい SMS を選択 → [✉][**メニュー**] → **移動**を選択 → [●]

3 **USIM へのコピー**または**本体へのコピー**を選択 → [●]

15 メール

その他の機能

メール・SMS の共通設定

オープン新着表示設定

【お買い上げ時】OFF

706P を閉じているときにメール／ SMS を受信した場合、開けたときに受信ボックスを直接表示するかどうかを設定します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ メール・SMS 共通設定 ▶ オープン新着表示

1 **ON**（表示する）または **OFF**（表示しない）を選択 →

文字サイズの設定

【お買い上げ時】中

文字サイズを変更できます。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ メール・SMS 共通設定 ▶ 文字サイズ

1 **大**、**中**または**小**を選択 →

補足 文字のサイズは本文表示画面でも変更できます。（☞P.15-14）

配信確認の設定

【お買い上げ時】OFF

送信したメール／ SMS が相手に届くと配信確認のレポートが通知されるかどうか設定します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ メール・SMS 共通設定 ▶ 配信確認

1 **ON**（通知される）または **OFF**（通知されない）を選択 →

作成したメール／ SMS ごとに配信確認を設定することもできます。（メールの場合 ☞P.15-7 ／ SMS の場合 ☞P.15-9）

指定フォルダへの振り分け設定

受信したメール／SMSを宛先（メールアドレス／電話番号）によって指定したフォルダに自動的に振り分けます。メールの件名で振り分けることもできます。

- 1つのフォルダにつき最大10件の宛先または1件の件名を登録できます。
- 件名での振り分けは、登録した文字列が含まれるものが対象となります。SMSは件名では振り分けできません。
- 振り分け先のフォルダ名は変更できます。(☞P.15-16)

メインメニューから **メール** ▶ **設定** ▶ **メール・SMS共通設定** ▶ **フォルダ振り分け**

1 フォルダを選択 → [決定] → [メール]**[メニュー]**

2 **宛先で振り分ける場合**

宛先追加を選択 → [決定] → アドレス帳から宛先を選択 → [決定]

- 直接入力する場合：**宛先追加**を選択 → [決定] → **Eメールアドレス入力**または**電話番号入力**を選択 → [決定] → Eメールアドレスまたは電話番号を入力 → [決定]

件名で振り分ける場合

件名追加を選択 → [決定] → 件名を入力 → [決定]

登録した宛先／件名を編集または削除するには

削除したい宛先または件名を選択 → [メール]**[メニュー]** → **編集**または**削除**を選択 → [決定]

補足　同じ宛先や件名が登録されている場合、フォルダ番号の小さい方への振り分けが優先されます。

15 メール

メール設定

自動受信の設定

【お買い上げ時】ホーム：電話番号のみ自動／ローミング：手動受信

国内もしくは国際ローミングサービス利用時に、自動的に本文を受信するかどうかを設定します。

- **電話番号のみ自動**に設定すると、宛先が電話番号のメールのみを自動受信します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ メール設定 ▶ 自動受信 ▶ ホームまたはローミング

1. **ホームの設定の場合**

   自動受信、**電話番号のみ自動**または**手動受信**を選択 →

   ローミングの設定の場合

   自動受信または**手動受信**を選択 →

次の場合は自動受信できません。メール通知を受信後、続きを受信してください。（☞P.15-12）

音声電話または TV コールの発着信中／通話中、メール／ SMS 送受信中、ウェブ接続中、データ通信中、アラーム鳴動中（アラーム音、電池アラーム音など）、待受画面以外（機能の起動中／操作中）

本文引用の設定

【お買い上げ時】OFF

返信するときに、受信した本文を引用するかどうかを設定します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ メール設定 ▶ 本文引用

1. **ON**（引用する）または **OFF**（引用しない）を選択 →

SMS 設定

送信済み SMS の保存設定

【お買い上げ時】ON

送信した SMS を自動的に保存するかどうかを設定します。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ SMS 設定 ▶ 送信済み SMS 保存

1 **ON**（保存する）または **OFF**（保存しない）を選択 →

有効期限の設定

【お買い上げ時】USIM の設定による

送信した SMS がメールサーバーで保管される期間を設定します。何らかの理由で相手に送信されなかった SMS は一時的にメールサーバーに保管され、送信が完了するか、有効期限まで繰返し送信されます。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ SMS 設定 ▶ 有効期限設定

1 **1 時間**、**12 時間**、**1 日**、**1 週間**または**最大**を選択 →

- 保管された SMS は、設定された有効期限が経過すると消去されます。
- 作成した SMS ごとに有効期限を設定することもできます。(☞P.15-9)

SMS センター番号の設定

【お買い上げ時】USIM の設定による

SMS 利用時に使用する SMS センター番号を編集できます。

メインメニューから メール ▶ 設定 ▶ SMS 設定 ▶ SMS センター番号

1 SMS センター番号を入力 →

設定を編集すると SMS が利用できなくなることがあります。

ウェブ

ウェブについて

ウェブとは、Yahoo! ケータイを利用したインターネット接続サービスです。
ソフトバンクの携帯電話からさまざまな内容のコンテンツにアクセスしたり、情報の検索や、画像や音楽ファイルの取得などが行えます。

補足 ウェブのサービス内容や通信料などの詳細は、「サービスガイド（3G）」を参照してください。

情報の保存について

ウェブで入手した情報はキャッシュメモリに一時保管されます。キャッシュメモリに保存されている情報は、メモリがいっぱいになると古い情報から順に自動的に消去されます。

- 一度見た情報画面を再度表示すると、サービスセンター内の情報ではなく、キャッシュメモリに一時保存されている情報が表示されることがあります。最新の内容を見るには、情報を更新してください。（☞P.16-12）
- 有効期限が指定されている情報は、有効期限を過ぎるとキャッシュメモリから自動的に消去されます。
- キャッシュメモリに保存されている情報は削除できます。（☞P.16-13）
- 保存された情報はウェブを終了したり、電源を切っても消去されません。

SSL/TLS

SSL（Secure Socket Layer）と TLS（Transport Layer Security）とは、インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法です。一般的に、クレジットカードの番号や個人情報など、大切な情報を送受信する際に使用されます。706P にはあらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されており、この証明書の内容を確認することもできます。（☞P.16-14）

SSL/TLS 利用に関するご注意

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任において SSL/TLS を利用することに同意されたものとします。お客様自身による SSL/TLS の利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSA セキュリティ株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、エントラストジャパン株式会社は、お客様に対し SSL/TLS の安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承願います。

ウェブに接続する

メニューからウェブに接続する

ウェブのメインメニューから項目を選び、情報を入手します。

メインメニューから Yahoo! ケータイ

1 **Yahoo! ケータイ**を選択 → ●

通信を開始します。

2 項目を選択 → ●

3 閲覧する項目が表示されるまで、手順 2 を繰返す

- 情報画面での操作のしかたについて（☞P.16-5）

待受画面で [Y!] **[Y!]** を押すと、ウェブ上の Yahoo! ケータイのメインメニューが表示されます。

情報画面表示中の音量について

- マナーモード設定中や音声着信の音量が**サイレント**の場合は、情報画面表示中の BGM などの音は鳴りません。
- 情報画面表示中に BGM などの音量の調節はできません。あらかじめ音声着信の音量を調節してください。（☞P.7-7）
- 音楽再生などでメディアプレイヤーが起動した場合は調節できます。

セキュリティで保護されている情報画面の表示

SSL/TLS に対応している情報画面を表示しようとすると、確認画面が表示されます。その場合は [✉] **[OK]** を押してください。

認証要求時の操作

情報画面によっては、接続のために認証（ユーザー認証要求時の操作）を要求されることがあります。このときは、ユーザー ID ／パスワード入力 → ● を行ってください。

URL を入力してウェブに接続する

インターネットのウェブページなどの URL（「http://」／「https://」で始まるアドレス）を入力して、情報画面を表示します。

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ URL 入力 ▶ 直接入力

1 URL を入力 → ●

情報画面が表示されます。

インターネット上のウェブページによっては、画面がうまく表示されないことがあります。また、画像やレイアウトなどがパソコンで見たときと異なることがあります。

情報画面表示中でも URL を入力することができます。（サブ機能の URL 入力 ☞P.16-12）

履歴を使ってウェブに接続する

これまでに入力した情報画面の URL の履歴を利用して、同じ情報画面へもう一度簡単にアクセスできます。
URL 履歴一覧には、入力した情報画面の URL が新しいものから最大 20 件まで保存されます。

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ URL 入力 ▶ URL 履歴一覧

1 URL を選択 → [決定キー]

補足 **メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ 最終ページアクセス** で、以前ウェブに接続して最後に閲覧した情報画面にアクセスできます。

履歴を編集する

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ URL 入力 ▶ URL 履歴一覧

1 URL を選択 → [メールキー] **[メニュー]** → **編集**を選択 → [決定キー] → 修正する → [決定キー]

情報画面が表示されます。

履歴を削除する

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ URL 入力 ▶ URL 履歴一覧

1 **履歴を 1 件削除する**

URL を選択 → [メールキー] **[メニュー]** → **削除**を選択 → [決定キー] → 確認画面で [決定キー]

履歴をすべて削除する

[メールキー] **[メニュー]** → **全件削除**を選択 → [決定キー] → 確認画面で [決定キー]

ウェブの接続を終了する

1 ウェブを閲覧中に [HLD] → 確認画面で [決定キー]

706P を閉じても閲覧中のウェブは終了しません。

情報画面での操作のしかた

カーソルを移動する

画面内に選択可能な項目がある場合、カーソルは で右の項目へ、 で左の項目へ移動します。

また、 で次の行の項目へ、 で前の行の項目へ移動します。

画面のスクロール

上下や左右に画面の続きがあるとき、画面の右または下にスクロールバーが表示されます。

 または を押すと、続きの画面が表示されます。

 で下に一画面分スクロールし、 で上に一画面分スクロールします。

- 、 または を長押しすると、連続してスクロールできます。

前の画面に戻る／次の画面に進む

表示した画面はキャッシュメモリ（P.16-2）に一時的に保存されています。 **[戻る]** を押すと、前の画面に戻ります。

 [メニュー] → 進むを選択 → の操作で、次の画面が表示されます。

情報画面によっては、 **[戻る]** が表示されなかったり、 **[メニュー] → 進む**が選択できないことがあります。

16
ウェブ

情報画面内の文字入力や項目選択

文字入力欄や選択項目が表示された場合は、次のように操作します。

例）

文字入力欄	ボックスにカーソルを合わせて ◉ を押すと、文字を入力できます。 入力が終わったら、もう一度 ◉ を押します。
セレクトメニュー	メニューボックスにカーソルを合わせて ◉ を押すと、メニュー項目がリストで表示されます。 選択する項目にカーソルを合わせて ◉ を押します。複数選択できる場合は、「□」にカーソルを合わせてを ◉ 押すと「☑」に変わり、選択されていることを示します。
ラジオボタン	選択する項目の「○」にカーソルを合わせて ◉ を押すと、「◉」に変わり、選択されていることを示します。
チェックボックス	選択する項目の「□」にカーソルを合わせて ◉ を押すと、「☑」に変わり、選択されていることを示します。
実行ボタン	ボタンにカーソルを合わせて ◉ を押すと、ボタン上に表示されている操作を行います。

実際の画面とは異なる場合があります。

情報の利用

ブックマーク／お気に入りを利用する

よく利用する URL や情報画面を「ブックマーク」、「お気に入り」に登録しておくと、簡単な操作で表示できます。

ブックマーク	情報画面の URL を登録します。情報は、ウェブに接続することで確認できます。フォルダで管理できます。
お気に入り	情報画面そのものが登録されます。情報は、ウェブに接続せずに確認できます。

情報画面を登録する

メインメニューから Yahoo! ケータイ

1 **Yahoo! ケータイ**を選択 →

通信を開始します。

2 登録する情報画面を表示する → [**メニュー**]

3 **ブックマーク**または**お気に入り**を選択 →

4 **登録**を選択 →

5 タイトルを編集 →

6 ブックマークの場合は、フォルダを選択 →

補足 著作権などで保護されている情報は保存できないことがあります。

登録した情報画面を表示する

メインメニューから Yahoo! ケータイ

1 ブックマークを表示する

ブックマークを選択 → → フォルダを選択 →

お気に入りを表示する

お気に入りを選択 →

2 項目を選択 →

16 ウェブ

ブックマーク／お気に入りを管理する

ブックマークの管理

■ ブックマークフォルダのタイトルを変更する

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ ブックマーク

1 フォルダを選択 → [メニュー] → **名称変更**を選択 → → タイトルを編集 →

■ すべてのブックマークを削除する

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ ブックマーク

1 フォルダを選択 → [メニュー] → **ブックマーク全件削除**を選択 →

2 確認画面で [YES] → 操作用暗証番号（４桁）を入力 →

■ ブックマークフォルダ内のブックマークを管理する

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ ブックマーク

1 フォルダを選択 →

2 タイトルを選択 → [メニュー] → 項目を選択 → → それぞれの操作を行う

ページへ移動	情報画面を表示します。
新規作成	新しいブックマークを作成します。 → タイトルを入力 → → → → URL を入力 → → [保存]
編集	タイトルまたは URL を変更します。 タイトルまたは URL を編集 → [保存]
フォルダ移動	ブックマークを移動します。 移動先フォルダを選択 →
削除	ブックマークを削除します。 確認画面で
URL メール送信	ブックマークの URL をメール／ SMS で送信します。 **メール**または **SMS** を選択 → → 他の項目を入力し、送信する（メール ☞P.15-6 手順 1 以降／ SMS ☞P.15-9 手順 1 以降）
フォルダ内全削除	フォルダ内のすべてのブックマークを削除します。 確認画面で [YES] → 操作用暗証番号（4 桁）を入力 →

ブックマークフォルダ一覧画面にはあらかじめ Panasonic のサイトへアクセスできるブックマークが登録されています。このブックマークに対しての編集や削除などの操作は行えません。

お気に入りの管理

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ お気に入り

1 タイトルを選択 → [**メニュー**] → 項目を選択 → → それぞれの操作を行う

表示	情報画面を表示します。
名称変更	タイトルを変更します。 タイトルを編集 →
削除	お気に入りを削除します。 確認画面で
全件削除	すべてのお気に入りを削除します。 確認画面で [YES] → 操作用暗証番号（4 桁）を入力 →

情報画面の画像や音楽をデータフォルダに保存する

情報画面の画像や音楽ファイルなどをダウンロードして、データフォルダに保存します。

情報画面に含まれるファイルを保存する

メインメニューから Yahoo! ケータイ

1 **Yahoo! ケータイ**を選択 →

通信を開始します。

2 情報画面を表示する → [**メニュー**] → **ファイル選択**を選択 →

3 保存するファイルを選択 →

4 **本体**または**メモリカード**を選択 →

保存したファイルの内容によっては、保存後に利用できるメニューが表示される場合があります。

リンクされているファイルを保存する

情報画面によっては、文字列などに設定されているリンクからファイルをダウンロードできるものもあります。

情報画面で、リンクを含む文字列を選択 → → 確認画面で [YES] → **本体**または**メモリカード**を選択 →

16 ウェブ

注意 保存先をメモリカードに設定し、ファイルをダウンロード中に、メモリカードを取り外したり取り付けたりしないでください。

- 情報画面またはリンクからファイルをダウンロード／保存中に電源を切らないで下さい。ファイルが壊れる可能性があります。
- 著作権保護ファイルは保存できないことがあります。

情報画面の電話番号／メールアドレス／URL を利用する

情報画面にある電話番号やメールアドレス、URL のリンクを利用して、電話をかけたり、メールや SMS を送信したり、ウェブに接続して情報画面を表示できます。また、情報画面から直接アドレス帳に登録することもできます。

- アンダーラインが付いていないときは、利用できません。

メインメニューから Yahoo! ケータイ

1 **Yahoo! ケータイ**を選択 →

通信を開始します。

2 電話番号、メールアドレスまたは URL が含まれる情報画面を表示する

3 **電話番号を利用する**

電話番号を選択 → → **音声**、**TV コール**または**アドレス帳**を選択 →

音声または **TV コール**を選択した場合、電話がかかります。

アドレス帳を選択した場合、アドレス帳登録画面が表示されます。（☞P.4-4）

メールアドレスを利用する

メールアドレスを選択 → → **メール**、**SMS** または**アドレス帳**を選択 →

メールまたは **SMS** を選択した場合、新規作成画面が表示されます。（メールの場合 ☞P.15-6 ／ SMS の場合 ☞P.15-9）

アドレス帳を選択した場合、アドレス帳登録画面が表示されます。（☞P.4-4）

URL を利用する

URL を選択 →

ウェブに接続します。

動画／音楽をストリーミングする

動画や音楽のデータをダウンロードしながら同時に再生します。（ストリーミング）

- ストリーミングできるのは、ストリーミング対応データだけです。
- ダウンロードしたデータは、706Pやメモリカードには保存されません。

メインメニューから Yahoo! ケータイ

1 **Yahoo! ケータイ**を選択 → [決定]

通信を開始します。

2 情報画面を表示する → データを選択 → [決定]

メディアプレイヤーが起動し、動画や音楽のストリーミングが始まります。

- 一時停止するには：[決定] → 再開するには [決定]
- その他再生中の操作について（☞P.9-8）

3 ストリーミングを終了するときは、[HLD]

- ストリーミング中はウェブに接続しています。一時停止中もウェブへの接続は切断されません。（一時停止中でも通信料は発生します。）
- ストリーミングとウェブ接続の状態は、画面右上に表示されるアイコン（☞P.1-13）で確認できます。

- 一時停止が3分以上続くと、自動的にストリーミングが終了することがあります。
- 海外のネットワーク(GSM／GPRS)においては、ネットワーク状況により再生されないことや動作に制限が出る場合があります。

表示サイズの変更

動画のストリーミング中に、画像の表示サイズを変更できます。[わきん]を押すとフルスクリーン（全画面）表示になり、画像が右に90度回転します。もう一度[わきん]を押すと通常表示に戻ります。

- ストリーミング中の操作については、メディアプレイヤーの再生中の操作（☞P.9-8）を参照してください。

ストリーミング中に着信があると

音声電話がかかってくるとストリーミングは一時停止します。

- ストリーミング中はTVコール着信はできません。

情報表示中の操作

情報画面表示中に ✉[**メニュー**] を押すと、次の操作ができます。

進む	次の画面に進みます。(☞P.16-5)
ブックマーク	情報画面の URL をブックマークに登録します。また、登録されているブックマークを一覧表示から選んで情報画面へアクセスできます。
お気に入り	情報画面そのものをお気に入りに登録します。また、登録されているお気に入りを一覧表示から選んで情報画面を表示できます。
ファイル選択	選択したファイルの保存や再生を行います。(☞P.16-9)
更新	表示中の情報画面を最新の内容に更新します。
Yahoo! ケータイ	ウェブ上の Yahoo! ケータイのメインメニューを開きます。
サブ機能	**URL 入力**:URL を直接入力して、情報画面へアクセスできます。 **URL 表示**:閲覧中の情報画面の URL を表示します。 **URL 送信**:情報画面の URL をメール／SMS に挿入して送信します。 **サーバー証明書**:セキュリティで保護されている情報画面を表示しているとき、使用されている証明書の内容を確認できます。

その他の機能

ブラウザ関連の設定

文字サイズを変更する

【お買い上げ時】中

表示画面の文字サイズを変更します。

メインメニューから **Yahoo! ケータイ** ▶ **ブラウザ設定** ▶ **文字サイズ**

1 **大**、**中**または**小**を選択 → ●

画像や音楽の取得を拒否する（テキストブラウズ）

【お買い上げ時】画像取得／音楽取得：ON

画像や音楽を取得せずに、文字情報だけを表示できます。画像だけを取得しない、または音楽だけを取得しないようにも設定できます。

メインメニューから **Yahoo! ケータイ** ▶ **ブラウザ設定** ▶ **テキストブラウズ**

1 **画像取得**または**音楽取得**を選択 → ●

2 **ON**（取得する）または **OFF**（取得しない）を選択 → ●

キャッシュ /Cookie を消去する

キャッシュメモリ（☞P.16-2）と Cookie（☞P.16-14）を消去します。

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ キャッシュ /Cookie 消去

1 確認画面で

ブラウザプロファイルを確認／設定する

ブラウザ起動時のウェブページの設定を確認、変更、編集できます。

- 編集できないプロファイルもあります。

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ ブラウザプロファイル

ブラウザプロファイル一覧が表示されます。現在使用中のプロファイルは「 ◉ 」で選択されています。

1 プロファイルを選択 → **[メニュー]**

- 設定や編集などができます。
- プロファイルを新しく追加する場合：**<未登録>**を選択 → → 各項目を設定 → **[保存]**

- 通常は設定を変更／編集する必要はありません。特定の接続先に接続するときなどに設定してください。
- 設定を編集するとウェブへの接続ができなくなることがあります。

16 ウェブ

セキュリティ設定

製造番号通知を設定する

【お買い上げ時】OFF

706P の製造番号（接続認証のための情報）を自動的に送信するかどうかを設定します。

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 製造番号通知

1 **ON**（送信する）または **OFF**（送信しない）を選択 →

Cookie を設定する

【お買い上げ時】ON

Cookie とは、サーバー側でお客様を識別するための情報で、706P に自動的に保存されます。Cookie の保存を許可するかどうかを設定できます。

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ Cookie 設定

1 **ON**（許可）または **OFF**（拒否）を選択 →

補足
保存された Cookie は消去できます。（☞P.16-13）

ルート証明書を確認する

706P に登録されている、認証機関が発行した電子的な証明書を確認します。

メインメニューから Yahoo! ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ ルート証明書

1 項目を選択 →

証明書の詳細が表示されます。

S! アプリ

S! アプリをご利用になる前に

S! アプリはソフトバンク携帯電話専用に開発された Java™ アプリケーションです。S! アプリを提供する情報画面からゲームなどをダウンロードして 706P で楽しむことができます。

- S! アプリの利用には、別途ご契約が必要です。（お買い上げ時に登録されている S! アプリは、そのまま利用できます。）
- 登録されている S! アプリの操作方法については、各 S! アプリのヘルプを参照してください。

通信料など詳細については「サービスガイド（3G）」を参照してください。

ネットワーク接続型 S! アプリ

S! アプリには 706P にダウンロードすれば利用できるものと、利用時にネットワーク（ウェブ）に接続する必要があるもの（**ネットワーク接続型 S! アプリ**）があります。

- ネットワーク接続型 S! アプリは利用するたびにウェブの通信料がかかります。

ライセンス情報を確認するには

メインメニューから S! アプリ ▶ インフォメーション

S! アプリをダウンロードする

S! アプリは本体とメモリカードに各最大 100 件までダウンロードできます。

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリライブラリ

1 **S! アプリダウンロード**を選択 →

ウェブに接続後、S! アプリを提供する情報画面が表示されます。

2 S! アプリを選択 →

選択した S! アプリの情報が表示されます。

3 画面の表示に従ってダウンロードの操作をする

4 保存先として**本体**または**メモリカード**を選択 →

- ダウンロードには多少時間がかかる場合があります。
- ダウンロードが完了すると自動的に保存されます。

5 起動するには **[YES]**

ダウンロードした S! アプリが起動します。

- 起動しない場合： **[NO]**

S! アプリの利用

S! アプリを起動する

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリライブラリ

1 S! アプリを選択 → ●

S! アプリが起動し、「 」が表示されます。

- 操作方法については、ダウンロードしたウェブの情報画面などを参照してください。
- メモリカード内の S! アプリを選択する場合は、手順 1 の前に でメモリカードタブを選択してください。

補足

- データフォルダからも S! アプリを起動できます。
  メインメニューから データフォルダ ▶ S! アプリ ▶ S! アプリを選択する
- S! アプリ起動中に電話などの着信があると、S! アプリは一時停止し、着信画面が表示されます。
- Bluetooth® 通信を利用した S! アプリで一時停止した場合や、周囲の通信環境によっては、エラーメッセージが表示されることがあります。いったん S! アプリを終了し、再起動してください。
- コンテンツ・キーをバックアップすることによって、機種変更などをしてもダウンロードした S! アプリを利用することができます。（☞P.12-7）ただし、ダウンロードしたときと同じ USIM カードを使用する必要があります。

ネットワーク接続型 S! アプリを起動するには
ネットワーク型 S! アプリを起動するときは、手順 1 のあとにネットワーク接続の確認画面が表示されます。

S! アプリを終了／一時停止／再開する

S! アプリを終了／一時停止する

1 S! アプリ利用中に HLD

一時停止確認画面が表示されます。

2 **終了**または**一時停止**を選択 → ●

一時停止した場合は、「 」が表示されます。

一時停止中の S! アプリを再開／終了する

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリライブラリ

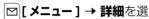
再開確認画面が表示されます。

1 **再開**または**終了**を選択 → ●

再開すると、一時停止したところから続けることができます。

S! アプリを管理する

S! アプリのプロパティ（詳細情報）を確認する

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリライブラリ

1 S! アプリを選択 →
[**メニュー**] → **詳細**を選択 → ●

S! アプリの名前、バージョン、ベンダー名（S! アプリの提供元）、保存サイズなどが表示されます。

S! アプリを移動する

S! アプリを本体とメモリカードの間で移動できます。

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリライブラリ

1 S! アプリを選択 → ✉[**メニュー**] → **移動**を選択 → ● → 移動先を選択 → ●

S! アプリによってはメモリカードに移動できないものがあります。

S! アプリを削除する

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリライブラリ

1 S! アプリを選択 → ✉[**メニュー**] → **削除**を選択 → ● → 確認画面で ●

お買い上げ時に登録されている S! アプリは削除できません。

セキュリティレベルを設定する

ネットワーク接続型 S! アプリを起動するときや、S! アプリにてメール／ SMS の送受信などを行うときの確認画面の表示方法や動作を許可するかどうかを設定します。

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリライブラリ

1 S! アプリを選択 → ✉[**メニュー**] → **セキュリティレベル設定**を選択 → ●

2 次の項目より選択 → [center key]

ネットワークアクセス	ネットワークへの接続
メール	メール／ SMS の送受信
アプリケーション自動起動	アプリケーションの起動
ユーザデータ読込	アドレス帳やスケジュールなどの読み込み
ユーザデータ書込／削除	アドレス帳やスケジュールなどの書き込み
Bluetooth	Bluetooth® 通信の利用

3 次の項目より選択 → [center key]

全て許可	確認画面を表示しません。
初回要求時確認	S! アプリ初回起動時だけ確認画面を表示します。
毎回確認	手順 2 で選択した機能を実行するたびに確認画面を表示します。
許可しない	手順 2 で選択した機能が実行できません。

S! アプリによってはセキュリティレベルを設定できないことがあります。

S! アプリの設定

音量設定

【お買い上げ時】レベル 4

S! アプリの効果音などの音量を調節します。

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリ設定 ▶ 音量設定

1 [up key] または [down key] で音量を調節（**サイレント**、**レベル 1 ～ 6**）→ [center key]

- **サイレント**に設定すると、効果音は鳴りません。

マナーモード（☞P.2-19）に設定しているときは、マナーモードの設定が優先します。

バックライト設定

【お買い上げ時】通常設定連動

S! アプリ起動中のバックライトの点灯方法を設定します。

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリ設定 ▶ バックライト設定

1 項目を選択 →

常時点灯	S! アプリからの指示どおりにバックライトを点滅します。指示がないときはディスプレイを明るくします。
通常設定連動	通常のバックライト点灯時間の設定（☞P.7-6）に従います。
常時消灯	S! アプリからの指示どおりにバックライトを点滅します。指示がないときはディスプレイを少し暗くします。

バイブレーション設定

【お買い上げ時】ON

S! アプリのバイブレーション動作を有効にするかどうかを設定します。

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリ設定 ▶ バイブ設定

1 **ON** または **OFF** を選択 →

自動中断時間設定

【お買い上げ時】OFF

何も操作しない状態で、S! アプリが一時停止するまでの時間を設定します。

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリ設定 ▶ 自動中断時間設定

1 **OFF**、**15 分**、**30 分**、**1 時間**、**2 時間**または **6 時間**を選択 →

メモリカードシンクロ

メモリカードを他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用したときは、メモリカードの S! アプリの情報を更新する必要があります。

メインメニューから S! アプリ ▶ S! アプリ設定 ▶ メモリカードシンクロ

Abridged English Manual

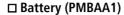
For more information about handset operations and functions, please go to the SOFTBANK MOBILE Corp. Website (http://www.softbank.jp) for the full manual* or dial 157 from a SoftBank handset for Customer Service.

* Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check SoftBank Website again at a later date.

Package Contents

☐ Handset

☐ Battery (PMBAA1)

☐ AC Charger (PMCAA1)

☐ microSD™ Memory Card (64MB)★
microSD™ Memory Card Adapter★

☐ Operating Instructions
☐ First Step Guide (Japanese Only)
☐ Utility Software (CD-ROM)*

★Complimentary Sample
* Utility software updates/upgrades may become available on SoftBank website (http://www.softbank.jp) without prior notification. Please check for the newest versions of utility applications and download if required.

- For further information about accessories, please contact SoftBank Customer Centre, General Information (☞P.18-50).
- Optional battery and AC Charger are available for separate purchase.
- microSD™ Memory Card is referred to as “Memory Card” in this manual.

Safety Precautions

- Before use, read these safety precautions carefully and use your handset properly. Keep this manual in a safe place for future reference.
- These safety precautions contain information intended to prevent bodily injury to the user and to surrounding people, as well as damage to property, and must be observed at all times.
- These symbols indicate exposure levels to bodily harm from failure to observe cautions or improper usage:

⚠	**Danger**	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠	**Warning**	Risk of death or serious injury from improper use
⚠	**Caution**	Risk of injury or damage to property from improper use

■Symbol Explanations

Symbol	Meaning
	Prohibited Action
	Disassembly Prohibited
	Avoid Moisture
	Always Dry Hands First

Symbol	Meaning
	Compulsory Action
	Disconnect Power Source

Handset, Battery & Charger

Danger

Use specified battery, charger and holder.
The use of devices other than those specified may result in malfunction of handset or battery. Leaking, overheating, explosion or fire may occur.
Battery PMBAA1, Desktop Holder PMEAA1, AC Charger PMCAA1, In-Car Charger PMJAA1

Do not get handset, battery and charger wet.
If liquids such as water or pet urine get into battery and charger, they may cause overheating, electric shock or malfunction. Be careful where and how you use handset.

Do not disassemble or modify handset.
May cause accidents such as fire, bodily injury, electric shock or equipment malfunction.

Warning

Do not place handset, battery or charger inside cooking appliances, such as microwave ovens or high-pressure containers.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire, and handset and charger may overheat, emit smoke or catch fire. The internal circuit may also be damaged.

Do not throw or otherwise subject to strong force or impacts.
Battery may leak, overheat, explode, catch fire, or cause damage to handset.

Do not use or leave handset or related hardware in locations subject to high temperatures, such as near an open flame/heater, in sunlight or inside a car on an extremely hot day.
Do not charge, leave, use, or be carrying handset or related hardware in a warm place or where heat collects, such as under a kotatsu (blanketed warming table) or electric blanket, next to a kairo (worn warming patch), etc.
Battery may leak, overheat, explode, or ignite. Handset or related hardware may deform or malfunction. Part of the casing may also become hot and cause burns.

Keep handset off and charger disconnected near filling stations or places with fire/explosion risk.
Handset use near petrochemicals or other flammables may lead to fire or explosion.

Caution

Do not store handset in humid or dusty places, or in high temperature environments.
May cause malfunction.

Keep handset out of the reach of young children.
May be swallowed or cause other bodily injury.

If for use by child, guardian should teach proper handling and ensure handset is used as directed.
May result in bodily injury.

Battery

Danger

See battery label to confirm battery type.

Label	Battery Type
Li-ion	Lithium-ion

Do not throw battery into fire.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Do not pierce battery with a nail or other sharp object, hit it with a hammer, or step on it.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Do not use excessive force to attach battery to handset even when you cannot attach it successfully. Also, check that battery is the right way round when you attach it.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Do not use or leave battery in places where it is exposed to high temperatures, such as near an open flame or heating appliance.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Do not touch terminals with metallic objects or carry/store battery with metal jewelry, etc.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

If battery fluid gets into eyes, do not rub; flush with clean water and see a doctor immediately.
Failure to do so may cause blindness.

Warning

If battery does not charge after specified time, stop charging.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

If battery leaks or emits an unusual odour, immediately stop use and move it away as far as possible from any flame or fire.
Battery fluid is flammable and could ignite, causing fire or explosion.

If battery leaks or emits an unusual odour, immediately remove it away from handset.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

If battery fluid comes into contact with your skin or clothing, stop using handset immediately and rinse it off with clean water.
Battery fluid is harmful to your skin.

Caution

Do not dispose of battery with ordinary refuse.
May cause fire and environmental damage. Place tape over the terminals to insulate battery, and take it to a SoftBank retailer or institution that handles used batteries in your area.

Handset

Warning

Keep USIM Card, microSD™ Memory Card and microSD™ Memory Card adapter out of the reach of young children.
May be swallowed or cause other bodily injury.

Do not use handset while driving a vehicle.
Doing so may interfere with safe driving and cause an accident. Stop your vehicle to park in a safe place before using handset. Drivers using handsets while driving are subject to prosecution.

Turn off handset near high-precision electronic devices or devices using weak electronic signals.
Handset may possibly cause these devices to malfunction.
*Electronic devices that may be affected: Hearing aids, implantable cardiac pacemakers, implantable cardioverter defibrillators, other medical electronic devices, fire alarms, automatic doors and other automatically controlled devices.
Persons using an implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator, or other electronic medical devices, should consult the device manufacturer or vendor for advice on possible radio wave effects.

Do not point light directly at someone's eyes.
May damage eyesight or cause accidents due to momentary sight loss or surprise.

Do not turn up the headphone volume to a level where you cannot hear the sounds around you while you are walking. Also, look out for the surrounding traffic and road surface conditions.
May cause an accident.

Turn off handset where use is prohibited, such as aboad aircraft or in hospitals.
Handset may interfere with the operation of sensitive devices and electronic medical equipment.
Follow the instructions given by the respective medical facilities regarding the use of mobile phones on their premises. In addition, actions such as speaking on a mobile phone aboard aircraft are prohibited and may be punishable by law.

If you are using electronic medical equipment, do not put handset in your breast pocket or in the inside pocket of your jacket.
Using handset in close proximity to electronic medical equipment may cause the equipment to malfunction.

If you have a weak heart, take extra precautions when setting functions such as Vibration or Ringtone volume for incoming transmissions.

Do not aim the infrared port at eyes when using infrared communication.
Doing so may affect eyes. Also, aiming it towards other infrared devices may interfere with the operation of these devices.

Caution

Handset may become hot while in use. Avoid prolonged skin contact that may result in burns.

Using handset in a vehicle may sometimes affect the electronic equipment of some models.

In such cases, stop using handset, as this could impede safe driving.

Do not swing handset by its strap, etc.

Handset may strike you or others resulting in injury or damage to handset or other property.

Do not place your ear too close to the speaker while ringer sounds or sound files play.

May impair hearing.

Do not turn up the volume unnecessarily high when using headphones.

Using headphones with volume turned up for an extended period may impair hearing or injure ears.

Do not use One-push Open button to open handset near your or another person's face.

Handset may cause accident and injury.

Handset use may cause itching, rashes, eczema or other symptoms depending on the user's physical condition. In this case, immediately stop use and seek medical treatment.

In a thunderstorm, immediately turn off handset and seek shelter.

There is a risk of being struck by lightning and suffering electric shock.

Do not place a magnetic card near or in handset.

The stored magnetic data in cash cards, credit cards, telephone cards and floppy disks, etc. may be erased.

Do not expose camera lens to direct sunlight or a powerful light source for an extended period.

Lens may focus the beam, causing fire or malfunction.

Do not touch broken display/camera lens glass.
Display and camera lens are designed not to shatter, however, touching the broken glass may cause injury.

Avoid closing handset on fingers or objects, or pinching fingers in hinge when opening it.
May result in injury or damage to display.

When using One-push Open button, avoid pinching fingers or objects in hinge.
May result in injury or damage to display.

Charger

Warning

Do not use if charger cord is damaged.
May cause electric shock, overheating, or fire.

Place charger and Desktop Holder on a stable surface during charging. Do not cover or wrap charger or Desktop Holder.
May cause overheating, fire or malfunction.

Do not use AC Charger or Desktop Holder in humid or steamy locations such as a bathroom.
May result in electric shock.

Do not handle charger with wet hands.
May result in electric shock.

Always use the specified power supply/voltage.
Using incorrect voltage may cause malfunction/fire.
AC Charger: AC100V-240V
In-Car Charger: DC12V, 24V
(vehicles with a negative earth only)

Do not use handset/charger in thunderstorms.
There is a risk of being struck by lightning and suffering electric shock.

Do not short-circuit or touch charging terminals.
May result in fire, electric shock, equipment malfunction or bodily injury.

Use In-Car Charger in vehicles with a negative (-) earth. Do not use In-Car Charger if vehicle has a positive (+) earth.
May cause fire.

Avoid wires and other metal objects and secure the plug when plugging in AC outlet.
May cause electric shock, short-circuiting or fire.

Unplug AC Charger during periods of disuse.
May cause electric shock, malfunction or fire.

If In-Car Charger fuse blows, always replace it with specified fuse.
Using the incorrect fuse may cause fire or malfunction. Refer to the respective manuals for information on the correct fuse specifications.

If liquid such as water or pet urine get into charger, unplug it immediately.
May cause electric shock, smoke emission or fire.

Wipe off any dust on the plug.
May cause fire.

Caution

Do not place heavy objects on charger cord.
May cause electric shock or fire.

Always unplug charger before cleaning it.
May result in electric shock.

Pull plug (not cord) to unplug charger.
Pulling on the cord may damage the cord and cause electric shock or fire.

Do not charge battery if it is wet.
May cause battery to overheat, catch fire or explode.

Near Electronic Medical Equipment

 Warning

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

	If you use an implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator, keep handset more than 22 cm away from the implant at all times. Handset radio waves may affect implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator operations.
	Observe the following in medical facilities. • Do not take handset into operating rooms, Intensive Care Units or Coronary Care Units. • Turn off handset inside hospital wards. • Turn off handset even outside hospital wards (in hospital lobbies, etc.); electronic medical equipment may be in use nearby. • Where a medical facility has specific instructions prohibiting the carrying and use of mobile phones, observe those instructions strictly.
	Turn off handset in crowded places such as rush hour trains; implantable cardiac pacemakers or cardioverter defibrillators may be in use nearby. Handset radio waves may affect implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator operations.
	Persons using electronic medical equipment outside medical facilities should consult the vendor about possible radio wave effects.

Handling Precautions

General Notes

- SoftBank is not liable for damages from accidental loss/ alteration of handset/Memory Card information (Phone Book entries, images/sound files, etc.). Back-up important information.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- Beware of eavesdropping.

  Digital signals reduce interception, however transmissions may be overheard. Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.
  "eavesdropping" means radio communication is received by another receiver deliberately or accidentally.

Handling in Vehicles

- Do not use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect vehicle electronic equipments.

Handling Aboard Aircraft

- Never use handset aboard aircraft. (Keep handset power off.) Handset use may impair aircraft operation.

Electromagnetic Waves

- For body worn operation, this mobile phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

  (1) This device may not cause harmful interference, and
  (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.768 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.324 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID UCE206001A.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.850 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.477 W/kg. As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.
** Please see General Note (Electromagnetic Waves) on page 18-12 for important notes regarding body worn operation.

Declaration of Conformity

CE0168

We, Panasonic Mobile Communications Development of Europe Ltd., declare that SoftBank 706P conforms with the essential and other relevant requirements of the directive 1999/5/EC.
A declaration of conformity to this effect can be found at **http://panasonic.co.jp/pmc/products/en/support/index.html**

- This product is only intended for sale in Japan.
- The European RTTE and US FCC approval of this product is limited to the use of the SoftBank 706P handset with accessories Battery PMBAA1, AC Charger EB-CAX800 (Overseas), In-Car Charger PMJAA1.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damages.
- Use handset within temperatures of 5°C to 35°C and humidity 35% to 85%. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Handset may become warm during use or charging. This is not malfunction.
- Exposing lens to direct sunlight may damage colour filter and affect image colour.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Soiled terminals may cause poor connection and loss of power. If the terminals are dirty, use a dry cloth or cotton swab to wipe them clean.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- 706P is a radio communication device assembled with precision components. Never disassemble or modify handset.
- Avoid forceful rubbing or scratching handset displays.

- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the Display.
- Be conscious of sound bleed from headphones.
- 706P is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Do not expose handset to precipitation.
  - Air conditioned air may condense causing corrosion.
  - Do not put handset in damp places like bathrooms.
  - On the beach, keep handset away from sun and surf.
  - Perspiration in handset may cause malfunction.
- Do not subject handset to excessive force; may cause malfunction or bodily injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Do not remove nameplate; doing so invalidates warranty.
- Always turn off handset before removing battery. If battery is removed while saving or sending mail, data may be altered or lost.
- LCD is manufactured with high precision technology, however, some pixels may appear darker/brighter.
- Connect only specified products to Earphone Port.

Function Usage Limits

These functions are disabled after handset replacement/upgrade or service cancellation: Camera; Media Player; S! Applications.
After a period of disuse, these functions may become unusable; retrieve Network Information (☞P.18-28).

Copyrights

Sounds, images, computer programmes, databases, other copyrighted materials, their respective works and copyright holders are protected by copyright laws. Duplicated materials are limited to private use only. If duplications (including conversion of data types), modifications, transfer of duplicates or distribution on networks are made without permission of copyright holders, this constitutes "Literary Piracy" and "Infringement of Copyright Holder Rights" and a criminal action for reparations and criminal punishment may be filed. If duplicates are made using handset, please observe the copyright laws. 706P is equipped with a camera. Materials captured with the camera are also subject to the above.

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide. Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theatres, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, lifts, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or vehicle traffic.

Manner-related Features

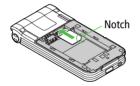
Manner Mode	Press Manner key (☞P.18-21) to mute 706P tones and activate vibration for incoming transmissions.
Vibration Mode	Activate in public places, meetings, etc. for silent call/message alerts.
Ringer Volume	Mute call/message tones or S! Appli sounds.
Offline Mode	Suspend all 706P transmissions; when active, all calls/messages and incoming information are temporarily blocked.
Answer Phone	Use to handle incoming calls when inappropriate/unsafe to answer.

USIM Card

Universal Subscriber Identity Module (USIM) Card is an IC card containing customer and authentication information, including handset number, and limited Phone Book entry and SMS message storage. USIM must be inserted to use 706P or Network services (calling, messaging, Web, etc.). Turn handset off before inserting/removing USIM Card.

● Remove battery (☞P.18-19) then follow steps below.

Inserting

1 With IC chip down, slide in USIM Card

Removing

1 Slide out USIM Card as shown

- If 706P is dropped/subjected to shock, ***Restarting USIM Please wait*** may appear; 706P returns to Standby. This is not malfunction.
- If ***Insert USIM*** appears, clean and properly reinsert USIM Card then restart 706P.
- Do not force USIM Card into or out of 706P as it may damage handset/USIM Card.
- Be careful not to lose the removed USIM Card.
- Avoid touching USIM Card terminals or IC chip; doing so may hinder performance.
- If USIM Card/706P (USIM Card inserted) is lost/stolen, contact SoftBank Customer Centre (☞P.18-50) immediately to prevent misuse.
- Some downloaded files may be inaccessible after repairs, USIM Card replacement or handset upgrade/replacement.
- USIM Card specifications/performance may change without prior notice.
- Pre-installed S! Applications (ComicSurfing, Near Chat, etc.) may be unusable while a different or replacement USIM Card is inserted into 706P.

Charging Battery

Battery & Charger

Charge battery before use or after a period of disuse.

Battery Life

- Use or store battery between 5°C - 35°C.
- Use specified charger only. Battery may deteriorate, overheat or cause fire.
- Replace battery if operating time shortens noticeably.

Charging

- Do not use charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger, battery and handset may become warm during charging.
- Move charger away from TV/radio if interference occurs.

Precautions

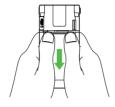
- Clean 706P, battery & charger with dry cotton swab.
- Charge battery at least once every six months.
- Use a case when carrying battery separately.

Battery Disposal

- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a SoftBank shop. Follow local regulations regarding battery disposal.

Battery Installation & Removal

- Always turn off handset power before opening handset to remove battery (☞P.18-28).

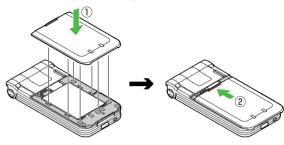
1 Slide battery cover, then lift to remove

2 **Insert Battery**

Align battery contacts with handset pins.

Remove Battery

Lift battery out as shown.

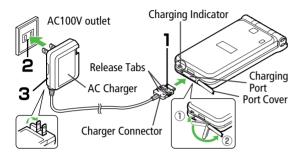
3 Replace battery cover

Cover should click into place.

When battery is removed just after changing handset settings, changes may not take affect.

Lithium-ion batteries are valuable and recyclable resources.

- Recycle used lithium-ion battery at a shop displaying the symbol shown to the right.
- To avoid fire or electric shock, do not:
  - Short-circuit battery
  - Disassemble battery

Charging Battery

Charging takes approximately 160 minutes.

1 Connect AC Charger to handset

Gently pull Port Cover and rotate it as shown above.

Insert Charger Connector (printed side up) into Charging Port.

2 Plug AC Charger into AC outlet

Extend Charger blades. (Fold back when not in use.)

Charging Indicator illuminates and charging starts.

When Charging is complete, Charging Indicator goes out.

3 When charging is complete, unplug AC Charger from AC outlet, and then disconnect AC Charger from handset

Squeeze Release Tabs to remove Charger Connector, and replace Port Cover.

- Use only the specified charger.
- Do not pull, bend or twist AC Charger cord.
- AC Charger is compatible with household currents between AC 100V and 240V.
- SoftBank is not liable for problems resulting from charging 706P abroad.

Desktop Holder and In-Car Charger are available for separate purchase.

Handset Parts & Functions

External

Infrared Port
Transfer data via Infrared
External Display
External Camera
Photo Light
Serves as a strobe for image capturing
Strap Eyelet
Memory Card Slot
Insert microSD™ Memory Card here
Charging Terminals
Charging Port/External Port
Connect AC Charger or other accessories here
One-push Open Button
Press as shown to open handset
● Close handset manually.
Antenna
Speaker
Side Key
While 706P is ringing, press to mute ringer
Press and hold to toggle Photo Light on/off
Earphone Port
Connect earphone/ microphones here
SoftBank
706P

Display

Display Indicators

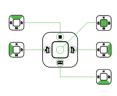
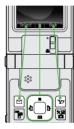
● Upon closing handset, External Display lights for 15 seconds. Use Side Key to toggle Display.

Manner Mode
User Mode
Outdoor Mode
Drive Mode
Mute Active
Vibration Active
Mute & Vibration Active
Software Updating/Notification of Software Update
Memory Card Inserted
Unusable Memory Card
Unsupported Memory Card
Unread Mail/SMS
Secret Mode Active
Alarm Set
Schedule Set
Received Full; Server Mail Saved
SMS Memory Full
Bluetooth® Enabled
Bluetooth® Device Connected
706P Visible
Infrared Enabled
Call Forwarding or Voice Mail Active
Voice Message
S! Application Active
S! Application Paused
Roaming
GPRS Connection Established
GPRS Connection Established on PC
CSD Connection Established on PC
Secure Content
Video Call
Streaming
Streaming Paused
BGM Playing
BGM Paused
USB Connected
Answer Phone Active
Answer Phone Full
New Message Recorded
New Message Recorded Answer Phone Full

External Display Indicators

Using This Manual

Multi Selector & Softkeys

Use Multi Selector to select items, navigate menus, etc. Softkeys correspond to functions/commands appearing at the bottom of Display.

Menu Navigation

In this manual, handset operations before steps are described as shown below.

Example)

Enter Main menu, then move through sub menus. " ▶ " means "scroll through the menu and select the menu item, then press [key] ".

Quick Keys

In Standby

	Key	Function
Short Press	[Center key]	Open Main Menu/ Release Keyguard
	[Down key]	Open Phone Book
	[Mail key]	Open Messaging menu list
	[Yahoo! key]	Access Yahoo! Keitai top menu
	[Send key]	Open Call Log
	[クリア/メモ key]	Open Answer Phone Message List
	[Camera key]	Open Camera

	Key	Function
Long Press (more than one second)	[Center key]	Activate Keyguard
	[End/HLD key]	Press and hold for a few seconds to turn handset power on or off
	[1 key]	Dial Voice Mail Centre
	[0 key]	Enter + (International Code)
	[# key]	Activate or cancel Manner mode
	[クリア/メモ key]	Toggle Answer Phone ON/OFF
	(Side Key)	Toggle Photo Light ON/OFF

Handset Security

USIM PINs

PIN1 & PIN2

PIN1	Prevent unauthorised 706P use.
PIN2	Required to clear Total Call Cost or set Cost Limit and Price/unit.

- PIN1 & PIN2 are 9999 by default.
- PIN1 & PIN2 can be changed.
- When PIN Entry is ***ON***, PIN1 (4-8 digits) is required each time 706P is turned on (with USIM Card inserted).

PIN Lock & Cancellation (PUK)

PIN1 Lock or PIN2 Lock is activated if PIN1 or PIN2 is incorrectly entered three times. Cancel PIN Lock by entering the Personal Unblocking Key (PUK).

- For information on PUK, contact SoftBank Customer Centre, General Information (☞P.18-50).

- If PUK is incorrectly entered ten times, USIM Card is locked and handset is disabled. Write down PUK.
- For procedures required to unlock USIM Card, contact SoftBank Customer Centre, General Information (☞P.18-50).
- When PIN Entry is ***ON***, emergency numbers (110, 119, 118) cannot be dialled without entering PIN1.

Codes

Handset Code

[Default] 9999

Required to use/change some handset functions.

- ⚹ appears when Handset Code is entered.

Centre Access Code

4-digit number specified at initial subscription; required to access Voice Mail via landlines or subscribe to fee-based information.

Call Barring Password

4-digit number specified at initial subscription, required to restrict handset services.
If entered incorrectly three times, Call Barring settings lock; Call Barring Password & Centre Access Code must be changed. Reach SoftBank Customer Centre, General Information (☞P.18-50) for details.

- Write down Handset Code, Centre Access Code and Call Barring Password.
- Do not reveal Handset Code, Centre Access Code or Call Barring Password. SoftBank is not liable for misuse or damages.
- For further information about Codes, contact SoftBank Customer Centre, General Information (☞P.18-50).

Basic Operations

Power On/Off

1 Press and hold [HLD] for more than three seconds to turn power on

2 To turn power off, press and hold [HLD] for more than two seconds

Retrieving Network Information

When [●], [✉], [Y!] or [○] is pressed for the first time, 706P initiates Network Information retrieval; [●] to retrieve it.

- Update Network Information manually: **Main Menu ▶ Settings ▶ Connectivity ▶ Retrieve NW Info**

Language (言語設定)

Main menu ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ Language

1 **自動** , ***English*** or **日本語** → [●]

My Phone Number

1 In Standby, [●] [わをん]

Date & Time

Main menu ▶ Settings ▶ Phone Settings ▶ Date & Time ▶ Home Clock ▶ Date & Time

1 Enter date → → Enter time →

Network Settings

Main menu ▶ Settings ▶ Connectivity ▶ Network Settings ▶ Select Network

1 *Automatic*, *3G* or *GSM* →

Voice Calls

Making Voice Calls

1 In Standby:

Standard Dialling

Enter a phone number and

Calling from Phone Book

→ Select an entry → → Select a phone number →

Calling from Call Log

→ to switch to *All Calls*, *Outgoing*, *Missed Calls* or *Incoming* → Select a record →

International Dialling

Enter a phone number → **[Menu]** → *International Call* → → Select a country → →

2 to end call

Answering Voice Calls

1 When a call is received, to talk

2 to end call

Call Time & Call Cost

Viewing Call Time

Main menu ▶ Settings ▶ Call Settings ▶ Total Call Time

- クリア/メモ to return to Call Settings menu

Viewing Call Charges

Main menu ▶ Settings ▶ Call Settings ▶ Service Charges ▶ Total Call Cost

- クリア/メモ to return to Service Charge menu

Manner Mode

1 In Standby, press and hold #
- To cancel, press and hold # again.

Answer Phone

Record up to eight voice messages on 706P.
- Unavailable when handset is off, out-of-range or Offline.
- Answer Phone is not available for incoming Video Calls.

Setting/Cancelling Answer Phone

1 In Standby, press and hold クリア/メモ
- To cancel, press and hold クリア/メモ again.

Playing Messages

When a new message is recorded, appears in Standby.

1 In information window, ***Answer Phone*** →

2 Select a message →

Playback starts.

- To delete a message/all messages: Select a message → **[Menu]** → ***Delete*** or ***Delete All*** → → **[YES]**

Abridged English Manual 18

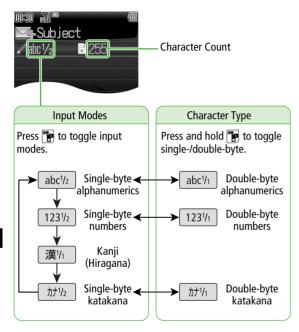
Text Entry

Key Assignments

Key	Input Modes	
	Alphanumerics	Numbers
1	. - @ _ / : ~ 1	1
2 ABC	a b c A B C 2	2
3 DEF	d e f D E F 3	3
4 GHI	g h i G H I 4	4
5 JKL	j k l J K L 5	5
6 MNO	m n o M N O 6	6
7 PQRS	p q r s P Q R S 7	7
8 TUV	t u v T U V 8	8
9 WXYZ	w x y z W X Y Z 9	9
0	Single-byte space/0	0
		[Press and hold] + *
*	Symbol List/ Pictograph List	*
	[Press and hold] Mail Address & URL List	
#	, ! ? ¥ & ( ) * # " ' = ^ + ;	# - , ! ? ¥ & ( ) " ' = ^ + ;

Key	Input Modes	
	Alphanumerics	Numbers
文字	Toggle input modes	
	Press and hold to toggle single-byte and double-byte characters	
✕	Line break	
A/a	Toggle upper and lower case characters	
クリア/メモ	Press to delete one character after cursor (Delete one character before cursor when cursor is at the end of a sentence)	
	Press and hold to delete all characters after cursor (Delete all characters before cursor when cursor is at the end of a sentence)	

* Available only in single-byte mode

Character Input Modes

Symbols & Pictographs

1 In alphanumeric mode, [key] to open Symbols

- [key] to toggle Symbols and Pictographs.
- Log list may appear first.

2 [key] to select a list → [key] to select a symbol or pictograph → [key]

3 [key] **[Close]** to close list

Copy/Cut & Paste

Copy or cut text and paste it into text entry windows.

1 In a text entry window, [key] **[Menu]** → ***Copy*** or ***Cut*** → [key]

2 Place cursor before (or after) text to copy/cut → [key] → Place cursor after (or before) text to copy/cut → [key]

3 Place cursor at target location to paste text → [key] **[Menu]** → ***Paste*** → [key]

Phone Book

Phone Book Entry Items

Save up to 500 entries in Phone Book. Save phone numbers or mail addresses etc. in USIM Card Phone Book (maximum number of savable entries varies by card).

Item	Description	706P	USIM Card
Last Name / First Name	Enter up to 25 single-byte alphanumerics (12 double-byte characters) (When saving to USIM Card, enter last name and first name in ***Name***.)	○	○
Reading	Holds up to 25 single-byte alphanumerics (12 single-byte katakana) (Automatically entered when ***Last Name*** and ***First Name*** are entered)	○	○
Phone Number	Save up to 3 entries in Phone Book; 2 in USIM Card Phone Book	○	○
Email Address	Save up to 3 entries in Phone Book; 1 in USIM Card Phone Book	○	○
Birthday	Enter birth date	○	-
Address	Enter postal code, country, state/province, city, street address, additional information	○	-
Note	Enter up to 32 characters	○	-
Voice Call Ringtone	Set incoming Voice Call ringtone	○	-
Video Call Ringtone	Set incoming Video Call ringtone	○	-
Message Ringtone	Set incoming message ringtone	○	-
Illuminations	Set incoming call/message light colour	○	-
Picture	Save a still image to appear for incoming calls	○	-
Group	Sort Phone Book entries by groups	○	○
Secret Setting	Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret Mode entries	○	-

Note

Back-up Important Information
Keep a separate copy of Phone Book entry information. When battery is exhausted or removed for extended periods, entries may be lost. Handset damage may also affect data recovery. SoftBank is not liable for damages from lost/altered entries.

New Phone Book Entries

Main menu ▶ **Phone Book** ▶ **Create New Entry**

1 Select an item → ● → Enter text → ●
- Repeat Step 1 to fill in other fields.
- Fill in at least one of the following fields: ***Last Name***, ***First Name***, ***Phone Number*** and ***Email Address***.

2 ✉**[Save]**

Editing Phone Book Entries

1 In Standby, ○ → Select an entry → ✉**[Menu]** → ***Edit*** → ●

2 Select an item → ● → Edit → ● → ✉**[Save]**

Saving Numbers from Call Log

1 In Standby, ↘ → ○ to switch to ***All Calls***, ***Outgoing***, ***Missed Calls*** or ***Incoming***

2 Select a record → ✉**[Menu]** → ***Add to Phone Book*** → ●

3 New Entry

Create New Entry → ● → Add name, etc.

Add to Existing Entry

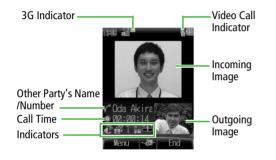
Select a Phone Book entry → ●

4 ✉**[Save]**

Video Call

Exchange video/sound with video call-compatible mobiles.

● Only available within 3G network coverage (3G appears).

Video Call Window

Making Video Calls

1 In Standby, enter a phone number →

2 HLD to end call

Answering Video Calls

1 When a video call is received, A/a or

2 **Send Internal Image**

[YES]

Send Alternative Image

Y! [NO]

3 HLD to end call

Video Call Operations

● To adjust volume:

● To zoom outgoing image in or out:

● To toggle Internal Camera and External Camera:

Selecting a File for Alternative Image

Main Menu ▶ Settings ▶ Video Call ▶ Alternative Picture → Select a file → **[Decide]**

Camera

Capturing Still Images

Main menu ▶ **Camera** ▶ **Camera** tab

1. Frame subject → ● to capture the image
2. To save the image, ✉ **[Save]**
3. HLD to exit

Recording Video

Main menu ▶ **Camera** ▶ **Video Camera** tab

1. Frame subject → ● to start recording
2. ● to end recording
3. To save the video clip, ***Save to Data Folder*** → ●
4. HLD to exit

Media Player

Playing Media Files

Main menu ▶ **Entertainment** ▶ **Media Player**

1. **Playing Music Files**

   Audio → ● → ***All Music List***, ***Music***, ***Ring Song*** or ***Playlist*** → ●

   Playing Video Files

   Video → ● → ***List All***, ***Video Folder*** or ***Playlist*** → ●

2. Select a file → ●

   Playback starts.

Key Assignments

Item	Operation
Adjust Volume	(Increase) / (Decrease)
Replay Track	
Play Previous	twice
Play Next	
Rewind*1	Press and hold
Forward*1	Press and hold
Pause/Resume	
Stop	Music: twice or → Video: or
Show Full Screen*2	

*1 Rewind/Forward may not be available when playing files directly from Data Folder, etc.

*2 Supported during video playback only

Memory Card

Save captured images, recorded clips or downloaded files.

- SoftBank is not liable for damages from accidental loss/alteration of Memory Card information. Keep a copy of Phone Book entries, etc. in a separate place.

Format Memory Card

- Memory Cards formatted on other devices may not be used. Format Memory Card on 706P before use.
- Do not remove Memory Card or battery while formatting; may damage handset or Memory Card.

Main menu ▶ Settings ▶ Memory Card Settings ▶ Format Memory Card

1

→ Enter 4-digits Handset Code →

- Handset Code: ☞P.18-27

Data Folder

Save captured images, recorded clips, downloaded files, etc. here.

Folder	File Format	Icons
Pictures	JPEG (.jpg/.jpeg/.jpe/.jfif)	
	GIF (.gif)	
	BMP (.bmp)	
	WBMP (.wbmp)	
	PNG (.png)	
Sounds	SMAF (.mmf)	
	SP-MIDI (.mid/.midi)	
	AMR-NB (.amr)	
	MPEG-4 (.3gp/.mp4)	
	Mobile XMF (.mxmf)	
S!Appli	Java	
Music	MPEG-4 (.3gp/.mp4)	
Videos		
Books	CCF (.ccf)	
Templates	Text file (.txt)	

Viewing Data Folder

Main menu ▶ Data Folder

1 Select a folder →

Pictures and Videos appear in Thumbnail view by default.

To Download Site
To Memory Card Folder
To Digital Camera Folder

Pictures (Thumbnail)

Sounds (List)

2 Select a file →

File appears/plays.

Connectivity

Transfer Phone Book/Schedule entries and Data Folder files between 706P and compatible devices wirelessly via infrared or Bluetooth®, or connect 706P to PCs via USB Cable.

Some downloaded files may be protected under copyright laws. These files should not be sent.

Infrared

- Place handset and other device within the effective range of 20 cm, and align the infrared ports.

Infrared is cancelled if no transmission is made within three minutes or handset power is turned off.

Sending

1 Select an item → [Menu] → ***Send*** →

2 Prepare recipient device

3 ***Infrared*** →

Transfer starts.

Receiving

Main menu ▶ **Settings** ▶ **Connectivity** ▶ **Infrared**

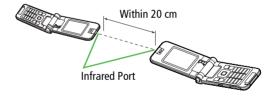
1 ***ON*** → → HLD to return to Standby

appears in Standby.

- Acquire infrared transmission within three minutes.

2 When sender starts transfer, confirmation appears →

3 ***Phone*** or ***Memory Card*** →

- For Phone Book or Schedule entries: **[Save]**

Bluetooth®

- Wireless transmission security protocols comply with Bluetooth® specifications. However, always take care when transferring files via Bluetooth®; security may be compromised by operating environment/configuration.

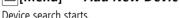
Searching & Pairing Devices

Main menu ▶ **Settings** ▶ **Connectivity** ▶ **Bluetooth** ▶ **Paired Devices**

1 **When No Paired Devices are Listed**

When Previously Paired Devices are Listed

[Menu] → *Add New Device* →

Device search starts.

2 Select a device → → Enter Bluetooth® Passcode (4-16 digits) →

Sending

1 Select an item → [Menu] → *Send* → → *Bluetooth* →

If Paired Device list is empty, device search starts.

2 Prepare recipient device

3 Select a device →

Transfer starts.

- When selecting an unpaired device, enter Bluetooth® Passcode (4-16 digits) for handset and the other device →

Receiving

Main menu ▶ **Settings** ▶ **Connectivity** ▶ **Bluetooth** ▶ **Settings** ▶ **ON/OFF**

1 *ON* → → HLD

appears in Standby.

2 Connection is requested → →

3 *Phone* or *Memory Card* →

- For Phone Book or Schedule entries: **[Save]**

USB Cable

Connect 706P to PCs to transfer Data Folder files.

- Install Utility Software on PC before connecting handset.
- See "Utility Software Set Up Guide" for installation/usage details.

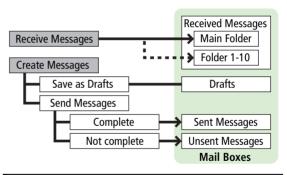
Optional Services

Call Forwarding	Forward unanswerable calls to a preset number when 706P is off/out-of-range.
Voice Mail	Unanswered calls are forwarded to Voice Mail Centre as set or when 706P is off/out-of-range. ● Missed Call Notification SMS is delivered for calls missed while 706P was off, out-of-range, etc.
Call Waiting*	Place the current call on hold and answer a second, or alternate between calls.
Multiparty Call*	Call another party during a call and alternate between calls. Add other parties to talk on up to five lines simultaneously.
Call Barring	Restrict calls by condition.
Caller ID	Show or hide your number when calling.

* Separate subscription required

Messaging

SoftBank messaging services are available in Japan and overseas.

Mail	Exchange longer text messages of up to 5000 characters with SoftBank or e-mail compatible handsets, PCs, etc.; attach image/sound files.
SMS	Exchange short text messages of up to 70 alphanumerics with SoftBank handsets.

- Separate subscription required to use Mail and to receive e-mail.
- The Centre resends undeliverable messages at regular intervals until delivered. Messages not delivered by specified expiry are deleted.

Customizing Handset Address

Change your mail address (alphanumerics before @) to reduce the risk of receiving spam.

Main menu ▶ Messaging ▶ Settings

1 *Email Address Settings* → ◉

Follow onscreen instructions.

Sending Mail & SMS

Sending Mail Messages

Main menu ▶ Messaging ▶ Create New Mail

1 Enter an address

Add Address → ◉ → Select a Phone Book entry → ◉ → Select a SoftBank handset number or mail address → ◉

- To enter an address directly: *Add Address* → ◉ → *Enter Number* or *Enter Address* → ◉ → Enter a SoftBank handset number or mail address → ◉

2 Enter a subject

Add Subject → ◉ → Enter subject → ◉

3 Enter a message

Input Text → ◉ → Enter text → ◉

4 Attach a file

Add Attachment → ◉ → *Pictures*, *Sounds*, *Videos* or *Music* → ◉ → Select a file → ✉ **[Decide]**

5 *Send* → ◉

Sending SMS Messages

Main menu ▶ Messaging ▶ Create New SMS

1 **Enter an address**

Add Address → ● → Select a Phone Book entry → ● → Select a SoftBank handset number → ●

- To enter an address directly: ***Add Address*** → ● → ***Enter Number*** → ● → Enter a SoftBank handset number → ●

2 **Enter a message**

Input Text → ● → Enter text → ●

3 ***Send*** → ●

Receiving Mail & SMS

When a new message is received, Information window appears in Standby.

Reading Mail & SMS

1 In Information window, ***Mail*** → ●

2 ***Main Folder*** → ●

3 Select a message → ●

Retrieving Complete Mail

When the Centre sends the initial portion of a message, follow these steps to retrieve the complete message.

Main menu ▶ Messaging ▶ Received Messages

1 Select a folder → ●

2 **From a Received Messages List**

Select a message with or → ✉ **[Menu]** → ***Retrieve*** → ●

From an Incomplete Message

Select a message with or → → At the end of message text, highlight ***There are sequels*** →

Reply & Forward

Replying to Messages

Main menu ▶ **Messaging** ▶ **Received Messages**

1 Select a folder →

2 Select a message → **[Menu]** → ***To Sender*** →

- Step 2 is also available in Message window.
- To reply to a Cc/Bcc Mail: ***Reply*** → → ***To Sender*** or ***Reply to All*** →

3 Complete message → ***Send*** →

Forwarding Messages

Main menu ▶ **Messaging** ▶ **Received Messages**

1 Select a folder →

2 Select a message → **[Menu]** → ***Forward*** →

- Step 2 is also available in Message window.
- Attachments are also forwarded.

3 Enter recipient's address and complete message → ***Send*** →

Messages with copy protected attachments may not be forwarded.

Web (Yahoo! Keitai Web)

Access the Mobile Internet directly from 706P. Browse or download image or sound files as well as information.

Accessing the Mobile Internet

Opening Yahoo! Keitai Main Menu

Main menu ▶ **Yahoo! Keitai** ▶ **Yahoo! Keitai** ▶ **English**

1. Select a menu item → [key]
2. Repeat Step 1 as required
3. To end the session, [HLD] → [key]

Yahoo! Keitai Main menu content is subject to change.

Entering URL

Main menu ▶ **Yahoo! Keitai** ▶ **Enter URL** ▶ **Direct Entry**

1. Enter URL → [key]
2. Select a menu item → [key]
3. Repeat Step 2 as required
4. To end the session, [HLD] → [key]

Using URL History

Main menu ▶ **Yahoo! Keitai** ▶ **Enter URL** ▶ **URL History List**

1. Select URL → [key]
2. Select a menu item → [key]
3. Repeat Step 2 as required
4. To end the session, [HLD] → [key]

Web Options Menu

In Yahoo! Keitai, press ✉**[Menu]** for these options:

Forward	Go to next page
Bookmarks	View Bookmarks list or add a new bookmark to the list
Saved Pages	View Saved Pages list or add a new saved page to the list
Select & Save	View or play files, or save them to Data Folder
Reload Page	Update information
Yahoo! Keitai	Open Yahoo! Keitai Main Menu
More	**Enter URL**: Enter URL directly to access websites **View Current URL**: View URL **Send Current URL**: Send URL via Mail/ SMS **Server Certificate**: View electronic certificates for a secure page

S! Appli

S! Appli are Java™-based applications designed to run on SoftBank handsets. Download games and other real-time applications for use on 706P.

Downloading S! Appli

Main menu ▶ **S!Appli** ▶ **S!Appli Library**

1. ***Download S!Appli*** → ●
2. Select an S! Application → ●
3. Follow onscreen instructions
4. ***Phone*** or ***Memory Card*** → ●
   - After downloading, S! Application is saved to Data Folder automatically.
5. ✉**[YES]** to activate
   - To exit: Y!**[NO]**

Using S! Appli

Activating S! Appli

Main menu ▶ S!Appli ▶ S!Appli Library

1 Select an S! Application →

For operations, see application Help menu.

Terminating/Pausing S! Appli

1 While running an S! Application,

2 ***Terminate*** or ***Suspend*** →

Resuming/Terminating Paused S! Appli

Main menu ▶ S!Appli ▶ S!Appli Library

1 ***Resume*** or ***Terminate*** →

Near Chat

Exchange text messages with other SoftBank handsets or compatible devices wirelessly via Bluetooth®. Transmission/connection fees do not apply.

- Effective range is approximately ten metres.
- Range may vary with ambient signal conditions.
- Requires pre-installed Near Chat S! Application.

Main menu ▶ Entertainment

1 ***Near Chat*** →

- See application Help menu for usage information.

2 To end Near Chat, → ***Suspend*** or ***Terminate*** →

- To resume: Start Near Chat → ***Resume*** →

Note

When Bluetooth® is active, compatible Bluetooth® device names appear. Unsolicited device connection requests may be received; reject unwanted requests.

Software Update

Check for 706P software updates and download as required.

- Connection fees do not apply to updates (including checking for updates, downloading and rewriting).
- Fully charge battery beforehand. Even if [battery icon] appears, low battery message may appear. In this case, charge battery until Charging Indicator goes out.
- Select a place where signal is strong and stable.
- Do not remove battery during the update. Update will fail.
- Other functions are not available during Software Update.
- 706P is disabled until the update is complete. The update may take some time.

Main menu ▶ Tools ▶ Software Update ▶ Start

1 Follow onscreen instructions

After download is complete, 706P automatically turns off and restarts before Software Update begins. (This process takes approximately 15 seconds).

Checking Update Results

- In Information window, select ***Update Results***.
- In Standby, **Main menu ▶ Tools ▶ Software Update ▶ Information**

Scheduled Update

Follow onscreen instructions for setup.
Confirmation appears at scheduled update time.
Press [key] or wait ten seconds for update to start.

- Software Update will not start while 706P is in use. Continuing handset usage for ten minutes or more cancels Scheduled Update.

- Software Update failure may disable 706P. Contact SoftBank Customer Centre, Customer Assistance (☞P.18-50).
- Software Update does not affect Phone Book entries, files saved in Data Folder or other content, but it is recommended that you create a backup, as appropriate, of any important information and data (note that some files cannot be copied).
- SoftBank is not liable for damages resulting from loss of data, information, etc.
- Update automatically cancels Keyguard.

For further information, visit SoftBank website (http://www.softbank.jp).

Abridged English Manual 18

Specifications

706P

Weight (including battery)		Approx. 110 g
Dimensions (closed)		Approx. 50 x 101 x 16.2 mm
Standby Time (closed)	3G	Approx. 350 hours
	GSM	Approx. 290 hours
Talk Time	3G	Approx. 190 minutes
	Video Call	Approx. 90 minutes
	GSM	Approx. 200 minutes
Charging Time	AC Charger	Approx. 160 minutes
	In-Car Charger	Approx. 160 minutes
Maximum Output	3G	0.25 W
	GSM	2.0 W

- Talk Time is an average measured with a new, fully charged battery, with stable signals.
- Standby Time is an average measured with a new, fully charged battery, with handset closed without calls or operations, in Standby with stable signals.
- Talk Time and Standby Time may vary by environment (battery status, temperature, etc.).
- Talk Time and Standby Time may decrease when a S! Application is active.
- Talk Time and Standby Time decrease with handset use in poor signal conditions.

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	800 mAh
Dimensions	Approx. 35.5 x 4.5 x 46.3 mm

AC Charger

Power Source	AC 100 V - 240 V, 50/60 Hz
Input Current	0.12 A
Output Voltage/Current	DC 6.0 V / 650 mA
Charging Temperature	5°C- 35°C
Dimensions (excluding protrusions and cord)	Approx. 49 x 20 x 53 mm

- Specifications subject to change without notice.

Customer Service

If you have questions about SoftBank handsets or services, please call General Information.
For repairs, please call Customer Assistance.

SoftBank Customer Centres

From a SoftBank handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

SoftBank International Call Centre

From outside Japan, dial +81-3-5351-3491
(Please take care to dial the correct number.
International charges will apply to this call.)

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription area	Service centre	Phone number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

各機能の左にある番号（1 など）のダイヤルボタンを押すと、その機能を直接選択できます。

例）S! アプリの音量設定を選ぶには：1（S! アプリ）→ 2（S! アプリ設定）→ 1（音量設定）

2 Yahoo! ケータイ

番号	機能	番号	機能	参照
1	Yahoo! ケータイ			☞P.16-3
2	ブックマーク			☞P.16-7
3	お気に入り			☞P.16-7
4	URL 入力	1	直接入力	☞P.16-3
		2	URL 履歴一覧	☞P.16-4
5	最終ページアクセス			☞P.16-4
6	ブラウザ設定	1	文字サイズ	☞P.16-12
		2	テキストブラウズ	☞P.16-12
		3	キャッシュ／Cookie 消去	☞P.16-13
		4	セキュリティ設定	☞P.16-14
		5	ブラウザプロファイル	☞P.16-13

3 カメラ

タブ	機能	参照
タブ 1	カメラ	☞P.6-4
タブ 2	ビデオカメラ	☞P.6-5

1 S! アプリ

番号	機能	番号	機能	参照
1	S! アプリライブラリ	タブ 1	本体	☞P.17-3
		タブ 2	メモリカード	☞P.17-3
2	S! アプリ設定	1	音量設定	☞P.17-5
		2	バックライト設定	☞P.17-6
		3	バイブ設定	☞P.17-6
		4	自動中断時間設定	☞P.17-6
		5	メモリカードシンクロ	☞P.17-6
3	インフォメーション			☞P.17-2

4 メール
1 受信ボックス ☞P.15-11
2 新規作成 ☞P.15-6
3 新着メール受信 ☞P.15-11
4 下書き ☞P.15-10
5 送信済みボックス ☞P.15-3
6 未送信ボックス ☞P.15-3
7 サーバーメール操作
▶ 1 メールリスト ☞P.15-13
▶ 2 サーバーメール全削除 ☞P.15-14
8 SMS 新規作成 ☞P.15-9
9 設定
▶ 1 メールアドレス設定 ☞P.15-6
▶ 2 メール・SMS 共通設定 ☞P.15-23
▶ 3 メール設定 ☞P.15-25
▶ 4 SMS 設定 ☞P.15-26
⁎ メモリ容量確認
▶ 1 メール ☞P.15-4
▶ 2 SMS ☞P.15-4
6 エンタテイメント
1 メディアプレイヤー
▶ 1 オーディオ ☞P.9-4
▶ 2 ムービー ☞P.9-6
2 コミックサーフィン ☞P.9-12
3 ちかチャット ☞P.9-13
4 S! ループ ☞P.9-14
10:00
メインメニュー
S!アプリ
Yahoo!ケータイ
カメラ
メール
データフォルダ
エンタテイメント
ツール
アドレス帳
設定
選択
終了

5 データフォルダ

1	ピクチャー	タブ 1	本体※	☞P.10-2
		タブ 2	メモリカード※	☞P.10-2
		タブ 3	デジタルカメラ※	☞P.10-2
2	着うた・メロディ	タブ 1	本体	☞P.10-2
		タブ 2	メモリカード	☞P.10-2
3	S! アプリ	タブ 1	本体	☞P.10-2
		タブ 2	メモリカード	☞P.10-2
4	ミュージック	タブ 1	本体	☞P.10-2
		タブ 2	メモリカード	☞P.10-2
5	ムービー	タブ 1	本体※	☞P.10-2
		タブ 2	メモリカード※	☞P.10-2
		タブ 3	ビデオカメラ※	☞P.10-2
6	ブック	タブ 1	本体	☞P.10-2
		タブ 2	メモリカード	☞P.10-2
7	定型文	☞P.10-18		
8	メモリ容量確認	▶	本体	☞P.10-5
		▶	メモリカード	☞P.10-5

※ お買い上げ時はタブ表示ではなくサムネイル表示です。

7 ツール

1	アラーム	☞P.13-8		
2	カレンダー	☞P.13-2		
3	簡易留守録	▶	1 簡易留守録リスト	☞P.2-8
		▶	2 設定	☞P.2-7
4	電卓	☞P.13-10		
5	ボイスレコーダー	☞P.13-10		
6	ソフトウェア更新	▶	1 開始	☞P.19-11
		▶	2 お知らせ	☞P.19-12

8 アドレス帳

1	アドレス帳	☞P.4-8		
2	新規登録	☞P.4-4		
3	通話履歴	タブ 1	全通話履歴	☞P.2-11
		タブ 2	発信履歴	☞P.2-11
		タブ 3	不在着信履歴	☞P.2-11
		タブ 4	着信履歴	☞P.2-11
4	グループ設定	☞P.4-7		
5	オーナー情報	☞P.4-14		
6	アドレス帳設定	▶ 1	メモリ切替	☞P.4-11
		▶ 2	登録先メモリ	☞P.4-11
		▶ 3	検索方法	☞P.4-9
		▶ 4	スピードダイヤル設定	☞P.4-10
7	アドレス帳管理	▶ 1	メモリ容量確認	☞P.4-6
		▶ 2	本体への全件コピー	☞P.4-13
		▶ 3	USIM への全件コピー	☞P.4-13
		▶ 4	メモリカードバックアップ	☞P.10-22
		▶ 5	本体全件削除	☞P.4-12
8	サービスダイヤル※	☞P.4-2		

※ お使いの USIM カードによっては表示されない場合があります。

9 設定

				参照
1	一般設定	1	モード設定	☞P.7-9
		2	Language	☞P.7-6
		3	日時設定	☞P.1-23、P.7-2
		4	誤操作防止	☞P.12-4
		5	イルミネーション	☞P.8-2
		6	キー設定	☞P.8-3
		7	オフラインモード	☞P.2-20
2	音・バイブ設定	1	メロディ選択	☞P.7-7
		2	着信音量	☞P.7-7
		3	メール着信音鳴動時間	☞P.7-8
		4	エラー音	☞P.7-8
		5	バイブレーション	☞P.7-8
		6	キー確認音	☞P.8-2
		7	キー確認音量	☞P.8-2
3	ディスプレイ設定	1	壁紙	☞P.7-2
		2	メインメニューアイコン	☞P.7-4
		3	配色パターン	☞P.7-5
		4	明るさ	☞P.7-5
		5	バックライト点灯時間	☞P.7-6
		6	事業者名表示	☞P.7-6
4	通話設定	1	累積発信通話時間	☞P.2-13
		2	通話料金表示	☞P.2-14
		3	発着信規制	☞P.14-8
		4	発信者番号通知	☞P.14-10
		5	エニーキーアンサー	☞P.8-3
		6	オープン／クローズ設定	☞P.8-4
		7	自動応答	☞P.8-5
		8	転送電話	☞P.14-2

9 設定（つづき）

4	通話設定（つづき）	9	留守番電話	☞P.14-4
		＊	割込通話	☞P.14-6
		0	着信拒否	☞P.12-5
		#	国際設定	☞P.8-4
5	TV コール	1	画像／音声設定	☞P.5-7
		2	バックライト設定	☞P.5-8
		3	受信画質	☞P.5-8
		4	代替画像	☞P.5-8
6	外部接続	1	赤外線通信	☞P.11-2
		2	Bluetooth	☞P.11-4
		3	ネットワーク設定	☞P.2-16
		4	ウェブ設定	☞P.11-11
		5	ネットワーク自動調整	☞P.1-22
7	セキュリティ設定	1	PIN 入力	☞P.12-2
		2	PIN2 変更	☞P.12-3
		3	リセット	☞P.12-8
		4	暗証番号変更	☞P.12-2
		5	キー操作ロック	☞P.12-4
		6	シークレットモード	☞P.12-6
		7	コンテンツ・キー	☞P.12-7
8	メモリカード管理	1	メモリカードフォーマット	☞P.10-21
		2	メモリカードチェック	☞P.10-22

故障かな？と思ったら

症状	確認すること／処置
電源が入らない	・ 〔HLD〕を長く（3 秒以上）押していますか？ ・ 電池切れになっていませんか？ ・ 電池パックは正しく取り付けられていますか？（☞P.1-18）
電源を入れたのに操作できない	・ PIN コード入力画面が表示されていませんか？ PIN1 入力設定が **ON** になっています。PIN1 コードを入力してください。（☞P.12-2）
電源を入れたときや機能の操作時に「USIM 未挿入です」、「有効な USIM を挿入してください」などと表示される	・ USIM カードを正しく取り付けていますか？（☞P.1-7） ・ 指定された USIM カードをお使いですか？（☞P.1-6） 使用できないカードが取り付けられている可能性があります。 ・ USIM カードの IC 部分に指紋などの汚れがついていませんか？ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。
ボタン操作ができない	・「　」が表示されていませんか？ 誤操作防止が設定されています。（☞P.12-4）　を押して、誤操作防止を解除してください。 ・「　」が表示されていませんか？ キー操作ロックが設定されています。（☞P.12-4）操作用暗証番号（4 桁）（☞P.1-26）を入力して、ボタン操作禁止を解除してください。
電話や TV コールがつながらない、またはメール／ SMS やウェブが利用できない	・「圏外」が表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ・ 海外でご利用ではありませんか？ 海外でご利用になる場合は、事業者や海外設定の変更が必要です。（☞P.2-16） ・「　」が表示されていませんか？（☞P.2-20）
電話や TV コールがかけられない	・ 市外局番からかけていますか？ ・ 発信規制設定を **ON** に設定していませんか？（☞P.14-8）

19
付録

症状	確認すること／処置
ダイヤルしても話中音（プープー…）が鳴ってつながらない	・市外局番からかけていますか？
アドレス帳を使って電話がかけられない	・かけたい相手のアドレス帳のシークレット登録を**表示しない**にしていませんか？ シークレットモードを **ON** にしてください。（☞P.12-6）
アドレス帳に名前を登録しているのに、通話履歴や保存されているメール／ SMS の宛先などに名前がでない	・電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間、通話履歴や保存されているメールや SMS の宛先などは、アドレス帳に名前を登録していても、電話番号やメールアドレスで表示されます。この場合は、一度待受画面に戻り、しばらくしてから再確認すると名前が表示されます。
アドレス帳に登録した相手から音声電話や TV コールを受けても、登録内容どおりの着信動作にならない	・電源を入れた直後は、アドレス帳が起動するまで少し時間がかかる場合があります。その間に音声電話や TV コールを受けると、アドレス帳に相手の名前、着信音、イルミネーション、画像を登録していても、電話番号で表示され、着信音とイルミネーションは通常設定連動となり、画像は表示されません。この場合、通話中も電話番号が継続して表示されます。
通話が途切れたり、切れたりする	・「圏外」が表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。
充電できない	・急速充電器の接続コネクターが 706P または卓上ホルダー（オプション品）に確実に差し込まれていますか？（☞P.1-19、P.1-20） ・急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ・電池パックが 706P に取り付けられていますか？（☞P.1-18） ・706P が卓上ホルダー（オプション品）に確実に装着されていますか？（☞P.1-20） ・706P、電池パック、卓上ホルダー（オプション品）の充電端子や急速充電器の接続コネクター、卓上ホルダーの接続端子、706P の外部機器端子が汚れていませんか？ 端子部をきれいにしてください。 ・周囲温度が 5 ℃～ 35 ℃以外になると、充電できないことがあります。 ・電池パックの寿命、または電池パックの異常です。 新しい電池パックと交換してください。

症状	確認すること／処置
熱くなる	・ 充電中に、急速充電器や卓上ホルダー（オプション品）が発熱することがあります。 また、長時間利用すると、706P が熱くなることがあります。 手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、706P を長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。
電池の消耗が早い	・ 使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。 「充電時間と利用可能時間の目安」（☞P.1-15）、「電池パックの持ちについて」（☞P.1-16）を参照してください。

補足 以上を確認して、それでも正常に戻らない場合は、お問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。

こんなときはご利用になれません

症状	処置
「圏外」が表示されている	サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるためです。 受信電波の強さを示すバーが 1 本以上表示される場所へ移動してください。
「」が表示されている	誤操作防止が設定されています。（☞P.12-4） ボタン操作をするためには、誤操作防止を解除してください。ただし、設定中でもかかってきた電話に出ることはできます。
「」が表示されている	キー操作ロックが設定されています。（☞P.12-4） 706P を使用するためには、キー操作ロックを解除してください。ただし、設定中でもかかってきた電話に出ることはできます。
電池残量が不足している旨のメッセージが表示され、電池アラーム音が鳴っている	電池残量がなくなっています。（☞P.1-12） 電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

19 付録

ソフトウェア更新

706P のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合にはウェブに接続して更新を行います。更新方法には、更新したいときに手動で行う方法と、更新日時を予約して自動で行う方法（予約更新）があります。

- ソフトウェア更新には通信料はかかりません。
- ソフトウェア更新は、電池がフル充電の状態（充電しても充電ランプが点灯しない状態）で行ってください。なお、「▥」が表示されていても、電池残量が不十分な旨のメッセージが出る場合があります。この場合はフル充電の状態にしたあと、再度本機能を実行してください。
- ソフトウェア更新は、電波状態が良い場所で移動せずに行ってください。
- 更新中は絶対に電池パックを取り外さないでください。取り外すと、ソフトウェアの更新が正常に行われません。
- 更新中は他の機能を使用できません。
- 更新完了までに時間がかかることがあります。

メインメニューから ツール ▶ ソフトウェア更新 ▶ 開始

1 画面の指示に従い、操作する

更新に必要なデータのダウンロードが完了すると、自動的に電源が切れたあと再び電源が入り、ソフトウェア更新が開始されます。(この間、約 15 秒程度時間がかかります。)

更新が完了すると、自動的に電源が切れたあと再び電源が入り、更新完了のインフォメーションが表示されます。（この間、約 15 秒程度時間がかかります。）

既に最新のソフトウェアに更新済みのときは

更新の必要がない旨のメッセージが表示されます。このままご利用ください。

19
付録

更新結果を確認するには

インフォメーションが表示されている場合は、**ソフトウェア更新結果**を選択して を押します。

- インフォメーションが表示されていない場合は、**メインメニューから ツール ▶ ソフトウェア更新 ▶ お知らせ** で確認できます。

予約更新を利用するには

ソフトウェア更新を画面に従って進めると、予約更新の設定ができます。

設定後、予約時刻になると、ソフトウェア更新開始の確認画面が表示されます。

を押すか、約 10 秒間そのままにしておくと、自動的にソフトウェア更新が実行されます。

- 他の機能を操作しているときは、ソフトウェア更新は実行されません。（10 分以上他の機能を使用していると、ソフトウェア更新の予約が解除されます。）

- ソフトウェア更新に失敗すると、706P が使用できなくなる場合があります。この場合はお問い合わせ先（☞P.19-32）までご連絡ください。
- ソフトウェア更新は、アドレス帳やデータフォルダに保存されているデータを残したまま行えますが、携帯電話の状態（故障・破損・水漏れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。更新を行う前に、必要なデータはバックアップをとることをおすすめします。（ダウンロードしたデータなど、バックアップをとれないデータもあります。）
- 706P に保存されているデータがソフトウェア更新によって消失した場合、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新を行うと、誤操作防止設定は解除されます。

ソフトウェアの更新については、ソフトバンクのホームページ「http://www.softbank.jp」でもご案内しています。

区点コード一覧

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
					【あ】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
					【い】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
					【う】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
					【え】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
					【お】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
					【か】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
					【き】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
					【く】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
					【け】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
					【こ】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
					【さ】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
					【し】					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
					【す】					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
					【せ】					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
					【そ】					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
					【た】					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
					【ち】					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
					【つ】					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
					【て】					
366							亭	低	停	偵

19 付録

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
					【と】					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
					【な】					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
					【に】					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
					【ぬ】					
390									濡	
					【ね】					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					【の】					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
					【は】					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
					【ひ】					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
					【ふ】					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
					【へ】					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
					【ほ】					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
					【ま】					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					【み】					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					【む】					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					【め】					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					【も】					
444							摸	模	茂	妄

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					【や】					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					【ゆ】					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					【よ】					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					【ら】					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					【り】					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					【る】					
466	瑠	塁	涙	累	類					
					【れ】					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					【ろ】					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					【わ】					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

記号一覧

全角 1～13

	、	。	，	．	・	：	；	？	！
゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ
ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐
／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“
”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈
〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋
－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧
∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄
￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★
○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽
▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋
⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒
⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒
≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰
♯	♭	♪	†	‡	¶	◯	ゐ	ゑ	ヰ
ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ
Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π
Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α	β

γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ
ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ
ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж
З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р
С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ
Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г	д
е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч
ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─	│
┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━
┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋
┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ
㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗
㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎
㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤

㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
∵	∩	∪							

半角 1～2

<table>
<tr><td></td><td>!</td><td>"</td><td>#</td><td>$</td><td>%</td><td>&</td><td>'</td><td>(</td><td>)</td></tr>
<tr><td>*</td><td>+</td><td>,</td><td>-</td><td>.</td><td>/</td><td>:</td><td>;</td><td><</td><td>=</td></tr>
<tr><td>></td><td>?</td><td>@</td><td>[</td><td>¥</td><td>]</td><td>^</td><td>_</td><td>`</td><td>{</td></tr>
<tr><td>|</td><td>}</td><td>~</td><td>｡</td><td>｢</td><td>｣</td><td>､</td><td>･</td><td>ｰ</td><td>ﾞ</td></tr>
<tr><td>ﾟ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

絵文字一覧

絵文字 1 ～ 16

- [ ] 部分は動く絵文字です。
- 絵文字を入力したメールや SMS などを送信した場合、絵文字非対応のソフトバンク携帯電話や E メールでは表示されません。

- 一部の絵文字および動く絵文字は、相手のソフトバンク携帯電話の機種により正しく表示されない場合があります。
- 一部の絵文字および動く絵文字は、サブディスプレイに正しく表示されません。

メモリ容量一覧

メール	メール	最大1000件/約5MB
	SMS	最大500件

データフォルダ	ピクチャー	最大1000件/約12MB※ (S!アプリは1つのアプリにつき3～6件分を消費します。)
	着うた・メロディ	
	S!アプリ	
	ミュージック	
	ムービー	
	ブック	
	定型文	

※ S!アプリライブラリはデータフォルダとメモリを共有しています。

ウェブ	お気に入り	最大20件/600KB
	ブックマーク	最大50件
	履歴(URL)	最大20件
	キャッシュ	最大600KB

スケジュール	最大100件

アドレス帳	最大500件

- 保存可能件数はデータ量により変動します。

主な仕様

706P

項目		仕様
質量（電池パック装着時）		約 110g
サイズ（折りたたみ時）		約 50 X 101 X 16.2mm
連続待受時間（折りたたみ時）	3G	約 350 時間
	GSM	約 290 時間
連続通話時間	3G	約 190 分
	TV コール	約 90 分
	GSM	約 200 分
充電時間	急速充電器	約 160 分
	シガーライター充電器	約 160 分
最大出力	3G	0.25W
	GSM	2.0W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波を正常に送受信できる状態で算出した、通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、706P を折りたたんだ状態で通話や操作をせず、電波を正常に受信できる状態で算出した、時間の目安です。
- 電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境や利用場所の電波状態などにより、ご利用可能時間が変動します。
- S! アプリを起動させた状態での通話時間および待受時間は著しく短くなることがあります。

電池パック

項目	仕様
電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	800mAh
サイズ	約 35.5 X 4.5 X 46.3mm

急速充電器

項目	仕様
電源電圧	AC100V-240V、50 ／ 60Hz 共用
入力電流	0.12A
出力電圧／出力電流	DC6.0V ／ 650mA
充電温度範囲	5 ～ 35 ℃
サイズ	約 49 X 20 X 53mm（突起部とコードを除く）

- 定格／仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

索引

英数字

あ

い

う

え

し

す

せ

そ

た

ち

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

む

め

19 付録

も

ゆ

よ

り

る

れ

ろ

わ

保証とアフターサービス

保証について

SoftBank 706P本体をお買い上げいただいた場合は保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」（☞P.19-8）をお読みの上、もう一度お確かめください。
それでも異常がある場合はご契約いただいた各地域の故障受付（☞P.19-32）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクお客さまセンター		
総合案内	ソフトバンク携帯電話から	157（無料）
紛失・故障受付	ソフトバンク携帯電話から	113（無料）

ソフトバンク国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡 ＋81-3-5351-3491（有料）

■ 一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	フリーコール 0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	フリーコール 0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	フリーコール 0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	フリーコール 0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-250-113（無料）

SoftBank 706P 取扱説明書

2012年3月　第2版発行
ソフトバンクモバイル株式会社

※ ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank 706P
製造元：パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※　回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※　プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳、通話履歴、メール等）は、事前に消去願います。

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。